

授業科目名	日本語表現技法　Xクラス			科目コード	G5701P01
英文名	Structural Elements of Japanese Expressions				
科目区分	教養科目 - 人間理解科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	社会で生活する際に、コミュニケーション能力は不可欠であり、日本語を使うことは、私たちにとって一生関わっていかねばならないことです。この授業では、大学生活を送るうえで必要な様々なスキルを習得しながら、日本語を使って「読み・書き・話し・聴く」能力を全般的に高めます。				
キーワード	日本語	レポート	論文	スピーチ	
到達目標	敬語、文法、語彙、表記、漢字などの面から、正しい日本語を意識して使うことができる。				
	レポートや小論文を、適切なルールにしたがって書くことができる。				
	聞き手にとって分かりやすいスピーチをすることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業内容についてのオリエンテーション。 日本語能力を高める(1)。敬語の正しい使い方を学ぶ。助動詞の「れる」「られる」。「お(ご)～になる」と「お(ご)～する」。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 シラバス簡易版日本語検定対策講座（敬語）配付資料	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第2回	日本語能力を高める(2)。動詞の種類と「れる」「られる」、「せる」「させる」。「ら抜き言葉」と「さ入れ言葉」。 スピーチの仕方についての説明。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 (文法) 配付資料	
	【予習】「ら抜き言葉」とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第3回	日本語能力を高める(3)。語彙について学ぶ。類義語と対義語。二語の関係を正しく把握する。 学生によるスピーチ(1)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 (語彙) 配付資料	
	【予習】二語の関係を表す、包含、用途、原料、部分の関係とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第4回	日本語能力を高める(4)。「言葉の意味」から日本語を考える。熟語の意味、多義的な言葉、慣用句など。 学生によるスピーチ(2)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「言葉の意味」配付資料	
	【予習】国語辞書を使って、動詞が文脈によって多義的な意味を持つことを確認しておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第5回	日本語能力を高める(5)。日本語の「表記」について学ぶ。送り仮名、仮名遣い、同音異義語。 学生によるスピーチ(3)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「表記」配付資料 送り仮名の付け方・仮名遣い	
	【予習】「じ」と「ぢ」の使い分けはどのようにするのかを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第6回	日本語能力を高める(6)。間違えやすい漢字について。漢字の部首。 学生によるスピーチ(4)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「漢字」配付資料 文字を書かないと・・・	
	【予習】「へん」や「つくり」などの漢字の成り立ちを調べる。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分

第7回	これまでの総まとめ。中間テストと解説。 「総合」(X)配付資料	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第8回	対人関係とプラス思考。他者とコミュニケーションをしていく上で、いたずらに不安を強めない考え方を学ぶ。 学生によるスピーチ(5)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 授業レジュメ 『考えすぎない』	
	【予習】認知療法とは何かを調べておく。	30分
	【復習】認知療法における「自動思考」のうち、自分に当てはまるものは何かを考える。	40分
第9回	文章表現の基本を学ぶ。話し言葉と書き言葉。 学生によるスピーチ(6)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 レジュメ(例題) 正確でわかりやすい文章の書き方 添削例/平仮名で書いたほうがよい表現	
	【予習】「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて、具体的な例を自分で調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第10回	小論文・レポートの型について学ぶ。 学生によるスピーチ(7)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 小論文・レポートの論理構成	
	【予習】作文と小論文との違いは何か、調べておく。	30分
	【復習】授業で学んだ型に沿って、興味のあるテーマについて小論文の要約を書いてみる。	40分
第11回	マッピングをする。発想の可視化。 学生によるスピーチ(8)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 配付資料	
	【予習】シンプルマッピングとは何か調べる。	30分
	【復習】興味のあるテーマについてマッピングを試みる。	40分
第12回	プレゼンテーションの基本を学ぶ。 何のためのプレゼンテーションか。プレゼンスピーチの基本技術。	
	【予習】	30分
	【復習】	40分
第13回	レポート・論文の書き方。「守るべきルール」。引用の仕方、注の付け方。 学生によるスピーチ(9)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】他者の作品などを引用する際、どうすれば著作権侵害にならないのかを調べておく。	30分
	【復習】実際にレポートを書く場面を想定し、引用作法にしたがってレポートの骨格を描いてみる。	40分

第14回	様々な言語表現。図形や画像を言葉で表現する。 学生によるスピーチ(10)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 地図を説明する	
	【予習】数学の図形の定義（例. 直線、円、平行・・・）について調べておく。	30分
	【復習】授業中に行った問題について復習する。	90分
第15回	メモを取るトレーニング。聞き取った言葉をできるだけ多く文章化する。またNewsを聞いてメモを取る。 学生によるスピーチ(11)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 シラバス簡易版	
	【予習】メモを取る利点とは何かについて考えておく。	30分
	【復習】開講中の他の授業で、実際にできるだけメモを取ってみる。	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、課題の提出と期末試験により評価します。（60％） 到達目標 2 については、期末試験により評価します。（30％） 到達目標 3 については、授業中のスピーチにより評価します。（10％） なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 人間性：80％、 社会性：20％		
使用資料 <テキスト>	・『大学生生活のためのツールブック』	使用資料 <参考図書>	授業中、随時指摘します。
授業外学修等	授業で扱った問題を復習すること。		
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。		
オフィス・アワー	月曜日 2 時限、324 研究室		

授業科目名	日本語表現技法　Yクラス			科目コード	G5701P01
英文名	Structural Elements of Japanese Expressions				
科目区分	教養科目 - 人間理解科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	社会で生活する際に、コミュニケーション能力は不可欠であり、日本語を使うことは、私たちにとって一生関わっていかねばならないことです。この授業では、大学生活を送るうえで必要な様々なスキルを習得しながら、日本語を使って「読み・書き・話し・聴く」能力を全般的に高めます。				
キーワード	日本語	レポート	論文	スピーチ	
到達目標	敬語、文法、語彙、表記、漢字などの面から、正しい日本語を意識して使うことができる。				
	レポートや小論文を、適切なルールにしたがって書くことができる。				
	聞き手にとって分かりやすいスピーチをすることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業内容についてのオリエンテーション。 日本語能力を高める(1)。敬語の正しい使い方を学ぶ。助動詞の「れる」「られる」。「お(ご)～になる」と「お(ご)～する」。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 シラバス簡易版日本語検定対策講座（敬語）配付資料	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第2回	日本語能力を高める(2)。動詞の種類と「れる」「られる」、「せる」「させる」。「ら抜き言葉」と「さ入れ言葉」。 スピーチの仕方についての説明。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 （文法）配付資料	
	【予習】「ら抜き言葉」とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第3回	日本語能力を高める(3)。語彙について学ぶ。類義語と対義語。二語の関係を正しく把握する。 学生によるスピーチ(1)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 （語彙）配付資料	
	【予習】二語の関係を表す、包含、用途、原料、部分の関係とは何かを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第4回	日本語能力を高める(4)。「言葉の意味」から日本語を考える。熟語の意味、多義的な言葉、慣用句など。 学生によるスピーチ(2)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「言葉の意味」配付資料	
	【予習】国語辞書を使って、動詞が文脈によって多義的な意味を持つことを確認しておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第5回	日本語能力を高める(5)。日本語の「表記」について学ぶ。送り仮名、仮名遣い、同音異義語。 学生によるスピーチ(3)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「表記」配付資料 送り仮名の付け方・仮名遣い	
	【予習】「じ」と「ぢ」の使い分けはどのようにするのかを調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第6回	日本語能力を高める(6)。間違えやすい漢字について。漢字の部首。 学生によるスピーチ(4)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 「漢字」配付資料 文字を書かないと・・・	
	【予習】「へん」や「つくり」などの漢字の成り立ちを調べる。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分

第7回	これまでの総まとめ。中間テストと解説。 「総合」(X)配付資料	
	【予習】	
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第8回	対人関係とプラス思考。他者とコミュニケーションをしていく上で、いたずらに不安を強めない考え方を学ぶ。 学生によるスピーチ(5)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 授業レジュメ 『考えすぎない』	
	【予習】認知療法とは何かを調べておく。	30分
	【復習】認知療法における「自動思考」のうち、自分に当てはまるものは何かを考える。	40分
第9回	文章表現の基本を学ぶ。話し言葉と書き言葉。 学生によるスピーチ(6)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 レジュメ(例題) 正確でわかりやすい文章の書き方 添削例/平仮名で書いたほうがよい表現	
	【予習】「話し言葉」と「書き言葉」の違いについて、具体的な例を自分で調べておく。	30分
	【復習】授業中に扱った問題について復習する。	40分
第10回	小論文・レポートの型について学ぶ。 学生によるスピーチ(7)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 小論文・レポートの論理構成	
	【予習】作文と小論文との違いは何か、調べておく。	30分
	【復習】授業で学んだ型に沿って、興味のあるテーマについて小論文の要約を書いてみる。	40分
第11回	マッピングをする。発想の可視化。 学生によるスピーチ(8)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 配付資料	
	【予習】シンプルマッピングとは何か調べる。	30分
	【復習】興味のあるテーマについてマッピングを試みる。	40分
第12回	プレゼンテーションの基本を学ぶ。 何のためのプレゼンテーションか。プレゼンスピーチの基本技術。	
	【予習】	30分
	【復習】	40分
第13回	レポート・論文の書き方。「守るべきルール」。引用の仕方、注の付け方。 学生によるスピーチ(9)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。	
	【予習】他者の作品などを引用する際、どうすれば著作権侵害にならないのかを調べておく。	30分
	【復習】実際にレポートを書く場面を想定し、引用作法にしたがってレポートの骨格を描いてみる。	40分

第14回	様々な言語表現。図形や画像を言葉で表現する。 学生によるスピーチ(10)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 地図を説明する	
	【予習】数学の図形の定義（例. 直線、円、平行・・・）について調べておく。	30分
	【復習】授業中に行った問題について復習する。	90分
第15回	メモを取るトレーニング。聞き取った言葉をできるだけ多く文章化する。またNewsを聞いてメモを取る。 学生によるスピーチ(11)。 理解度を自己確認できるようにするため、授業中に Google Form を使った小テストを行います。 シラバス簡易版	
	【予習】メモを取る利点とは何かについて考えておく。	30分
	【復習】開講中の他の授業で、実際にできるだけメモを取ってみる。	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、課題の提出と期末試験により評価します。（60％） 到達目標 2 については、期末試験により評価します。（30％） 到達目標 3 については、授業中のスピーチにより評価します。（10％） なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 人間性：80％、 社会性：20％		
使用資料 ＜テキスト＞	・『大学生生活のためのツールブック』	使用資料 ＜参考図書＞	授業中、随時指摘します。
授業外学修等	授業で扱った問題を復習すること。		
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。		
オフィス・アワー	月曜日 2 時限、324 研究室		

授業科目名	哲学			科目コード	G5706L02
英文名	Philosophy				
科目区分	教養科目 - 人間理解科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	哲学というと、あなたはどのような学問だと思いますか。抽象的で難解な言葉を弄する学問で、自分とは関係がないと思っているでしょうか。実際には哲学は、あなたが日々の生活を生きていく中でぶつかり、疑問に思うようなことを、じっくりと腰をおちつけて考える学問なのです。 この授業では、日常の身の回りの事物や出来事を頻繁に例として取り上げ、「～とは何か」、「なぜ～なのか」という疑問をもちながら哲学的に考えることの面白さにふれたいと思います。				
キーワード	人間	身体	心	笑い	幸福
到達目標	自分の考えを自分に明らかにし、筋道立てて考えることができる。				
	「なぜ」、「～とは何か」という疑問を大切にすることができる。				
	「よく生きる」とはどのような生き方なのかについて深く考えることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。「哲学」とはどのような学問か。 「哲学」という学問は、何を対象にしているのかを中心に説明します。「哲学」の特徴としては、「よりよく生きる」とはどのような生き方なのかを考え、物事の根幹を深く考えようとする事が挙げられます。そして哲学する姿勢についても説明します。	
	【予習】	
	【復習】「哲学」という学問が様々な領域に関わることを、「～哲学」と名のつく言葉を調べることによって確認する。	50分
第2回	人間とは何か(1)。階層構造説。カントの人間論・人格論。パーソン論。 自然界の中での人間の位置づけをアリストテレスの考え方を例に挙げて考えます。カントが人間をどのように捉えたかを「人格」や「義務」という点から考えます。そして、「パーソン論」を取り上げ、人間とは何かを考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】「パーソン論」という語句の意味を調べ、その考えは人間の人間たる所以をどのように捉えているかを考える。	40分
	【復習】第2回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第3回	人間とは何か(2)。安楽死、射水市民病院の問題について考える。 よりよい生き方を考えるとき、人生の幕引きをどのようにすればよいかという問題があります。2006年に問題となった富山県の射水市民病院での問題を取り上げて、延命治療について考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】自分の家族と、家族の延命治療の在り方について話し合う。	40分
	【復習】第3回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第4回	「笑い」について考える(1)。笑いについて考えた哲学者たち。 笑いについて考察してきたのは昔から哲学者が多く、人はなぜ笑うか、笑いの構造はどうなっているかを、哲学者などの有名な理論を挙げて説明します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】人はなぜ笑うのか、自分なりの考えをまとめておく。	40分
	【復習】第4回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第5回	「笑い」について考える(2)。笑いについて考えた哲学者たち。 日本人の笑いについて考察します。日本人にはユーモアのセンスがないのか、外国人から見て奇異に映る日本人の笑いとは何か、日本の中で特徴的な大阪の笑いとは何かについて解説します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】おもてなしに代表される日本人のサービス精神が、どのような場面で見られるか、具体例を考えておく。	40分
	【復習】第5回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第6回	「笑い」について考える(3)。笑いについて考えた哲学者たち。 「ユーモア」について考えます。ユーモアは、ウィットやエスプリとどう違うのか、ユーモアと人格との関係、ユーモア精神で生きるとはどのような生き方かを解説します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】ユーモアという言葉で何を連想するか、考えておく。	40分
	【復習】第6回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第7回	「幸せな生き方」について考える。哲学者の幸福論。 幸福な生き方とは何かを、幸福の定義から考え、文明社会の中でどのように生きることが幸福につながるかを考えます。また、過去の哲学者たちが強調してきたこととして、自分の考え方を変えることの大切さについても解説します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】自分は今幸福かを理由とともに考えておく。	40分
	【復習】第7回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分

第8回	「自己チュー」について考える。エゴイズムの問題。他者や社会との関わり方について考える。 人間はどこまで自己中心的なのかを考えます。各種のエゴイストを考察するとともに、私たちが社会を形成する理由を、「社会契約説」を取り上げて説明します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】「エゴイスト」、「エゴイズム」という語句の意味を調べ、自分は該当するのか、考えておく。	40分
	【復習】第8回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第9回	いかに決断し生きるかを考える。古代ギリシアの懐疑論。決断すること・自分に枠をはめること。ヘーゲル、サルトルの哲学。 人生では様々な場面で決断を求められます。判断を保留し決断しない生き方の典型として古代ギリシアの懐疑論を取りあげます。一方、決断し行動することの大切さを説いた哲学者として、ヘーゲルとサルトルの考え方を例に挙げて解説します。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】これまでの人生で自分が下してきた大きな決断について、その時の選択肢や決断した理由等を考えておく。	40分
	【復習】第9回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第10回	「キレル」人間について考える。感情とどう向き合うか。感情と知性の関係。デカルトの『情念論』。 感情をコントロールしながら生きるのは常に人間の課題です。怒りや恐怖などの情念に振り回されずに生きていくにはどうすればよいのか。デカルトの『情念論』を取り上げながら考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】自分は感情に振り回されやすいか否かを、理由とともに考えておく。	40分
	【復習】第10回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第11回	「自由」について考える。人間はどこまで自由なのか。「自由と必然」。決定論。スピノザの哲学。 人生を生きていくとき、既に決まっただけで変えられないことと、自由に変える余地のあることがあります。すべてが運命的に決定されているという決定論を紹介し、自由に生きるとはどのようなことなのかを考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】「自由に生きる」という場合、どのような生き方をイメージするか、考えておく。	40分
	【復習】第11回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第12回	「見る」と「触る」ことについて考える。パークリーの哲学。 哲学には「見る、聞く、感じる、考える」という認識を扱う分野があります。パークリーは「見る」と「触る」ことを深く考えた哲学者です。これらの感覚について改めて考え、普段の生活を見直してみましょう。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】「ヘレン・ケラー」がどのような人物であるか、その生涯について調べておく。	40分
	【復習】第12回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第13回	「身体」について考える。メルロ＝ポンティの身体論。 人間の身体は精巧な機械であると考えたのがデカルトです。身体は本当に機械と言えるのかについて、身体論で有名なメルロ＝ポンティの考えを取り上げて、身体の働きや道具を使いこなせる意味などを考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】人間の身体的機能を補助する道具に、どのようなものがあるのか調べておく。	40分
	【復習】第13回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第14回	「心」について考える。脳の立場から見た心と身体。 人間の心の働きを脳の機能として説明するということはどういうことなのかを考えます。特に養老孟司氏の「唯脳論」を取り上げて、心と体の関係を考えます。 課題として送付した「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、フィードバックを行います。	
	【予習】「唯物論」とはどのような考え方であるのか調べ、その意味をできるだけ理解しておく。	40分
	【復習】第14回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分

第15回	考えることのすすめ。「よりよく考える」ことについて。 哲学が何よりも大切にするのは、自分の頭で考えることです。では考え方には「悪い考え方」があるのか、あるとすればどのような考え方を、代表的な精神療法である認知療法を紹介しながら説明します。	
	【予習】「認知療法」とはどのような精神療法であるのか、調べておく。	40分
	【復習】第15回の授業内容に関連したテーマの「哲学通信」を作成する。	50分
第16回	期末試験。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標1と2については、毎回授業内容に関連したテーマで作成する「哲学通信」を中心に評価します。(50%) 到達目標3については、期末筆記テストを中心に評価します。(50%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 人間性：80%、 社会性：20%		
使用資料 <テキスト>	特に使用しません。	使用資料 <参考図書>	授業中、随時指定します。
授業外学修等	毎回の授業で与えられる、授業内容に関連したテーマで「哲学通信」を作成し、授業担当者に提出すること。 送付された「哲学通信」は、次回の授業の冒頭で内容の紹介や解説をして、双方向授業を行う。		
授業外質問方法	オフィスアワー等を利用して、直に質問をしてください。		
オフィス・アワー	月曜日2時限、324研究室		

授業科目名	心理学			科目コード	G5706P03
英文名	Psychology				
科目区分	教養科目 - 人間理解科目				
職名	准教授	担当教員名	大平 泰子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	心理学の初修者を対象に、脳の機能としての心の働きを、感覚と知覚、記憶、学習といった認知的過程と情動的過程、パーソナリティ、社会的行動について分かりやすく解説する。				
キーワード	知覚	性格	社会的行動		
到達目標	心理学の基本的知見を身につけ、心に対する科学的アプローチの観点について理解することができる。(100%)				
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	心理学PPT(01) 歴史と対象 心理学の前史 ・心理学の起源・心理学の発展と対象		
	【予習】心理学の歴史と対象について、事前に調べる。		90分
	【復習】心理学の歴史と対象について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第2回	心理学PPT(02) 心を探究する方法の発展 科学的心理学の成立 ・生態学的心理学・進化心理学的アプローチ・認知行動科学・行動遺伝学		
	【予習】心を探究する方法について、事前に調べる。		90分
	【復習】心を探究する方法について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第3回	心理学PPT(03) 心の生物学的基盤 ・脳の構造・神経機能・遺伝		
	【予習】心の生物学的基盤について、事前に調べる。		90分
	【復習】心の生物学的基盤について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第4回	心理学PPT(04) 感情・動機づけ・欲求 ・感情の仕組み・機能・動機づけ理論		
	【予習】感情・動機づけ・欲求について、事前に調べる。		90分
	【復習】感情・動機づけ・欲求について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第5回	心理学PPT(05) 感覚・知覚 ・知覚の情報処理過程・感覚モダリティ・アフォーダンス		
	【予習】感覚・知覚について、事前に調べる。		90分
	【復習】感覚・知覚について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第6回	心理学PPT(06) 学習・行動 ・馴化・鋭敏化・古典的条件づけ・道具的条件づけ		
	【予習】学習・行動について、事前に調べる。		90分
	【復習】学習・行動について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第7回	心理学PPT(07) 認知 ・記憶・注意・思考・認知バイアス		
	【予習】認知について、事前に調べる。		90分
	【復習】認知について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第8回	心理学PPT(08) 個人差 ・知能・パーソナリティ		
	【予習】個人差について、事前に調べる。		90分
	【復習】個人差について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分

第9回	心理学PPT(09) 人と環境と生涯発達 ・対人関係・集団・組織・自己・発達の定義・ライフステージと発達課題	
	【予習】人と環境と生涯発達について、事前に調べる。	90分
	【復習】人と環境と生涯発達について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第10回	心理学PPT(10) 心の発達の基盤 ・認知発達理論・言語発達・アタッチメント理論・道徳性の発達・レジリエンス・首尾一貫感覚（SOC）	
	【予習】心の発達の基盤について、事前に調べる。	90分
	【復習】心の発達の基盤について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第11回	心理学PPT(11) 心の不適応 ・不適応の理論・ストレス理論（コーピングを含む）・燃え尽き症候群・トラウマ・依存症	
	【予習】心の不適応について、事前に調べる。	90分
	【復習】心の不適応について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第12回	心理学PPT(12) 心理アセスメント ・心理アセスメントの方法・事例定式化	
	【予習】心理アセスメンについて、事前に調べる。	90分
	【復習】心理アセスメンについて振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第13回	心理学PPT(13) 心理的支援の基本的技法 ・ソーシャルワークにおける心理的支援・支持的精神療法・マイクロカウンセリング・動機づけ面接	
	【予習】心理的支援の基本的技法について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理的支援の基本的技法について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第14回	心理学PPT(14) 心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要 ・精神分析・認知行動療法（SSTを含む）・応用行動分析・家族療法・ブリーフ・セラピー・対人関係療法	
	【予習】心理療法におけるアセスメントと介入技法について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理療法におけるアセスメントと介入技法について、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第15回	心理の専門職 ・公認心理師	
	【予習】心理の専門職について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理の専門職について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第16回	期末レポートの課題とフォーマットを配布します 期末レポート課題 期末レポートフォーマット	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 について、期末レポートで評価する。(100%) なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 人間性：100%		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント等を配布する。	使用資料 <参考図書>	なし
授業外学修等	別途指示		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 ohira@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	授業終了後		

授業科目名	情報科学概論			科目コード	G5801L01
英文名	Introduction to Information Science				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	教授 准教授	担当教員名	新森 昭宏 河野 信		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	情報科学概論では、コンピュータ、情報端末、ネットワークなどの情報技術やインフラと私たちの社会との関わりについて、身近な事例を通して仕組み学び、社会を支える情報システムについて学ぶ。日常生活で無意識に利用している情報システムや情報機器などの仕組みの一端に触れながら、コンピュータ、ネットワークと情報化が現在の情報社会にどのような影響を与えているかを学ぶ。また、ビッグデータ、データサイエンス、人工知能（ＡＩ）、IoT（モノのインターネット）、デジタルトランスフォーメーションなど、最近の話題も盛りこんで、「情報とは何か」「情報科学とは何か」を学ぶ。講義にはスマートホン・タブレットを使用し、情報科学に対する理解を深める。（担当教員：企業での実務経験あり（新森・河野））				
キーワード	コンピュータ	インターネット	セキュリティ	データサイエンス	人工知能
到達目標	情報をとりまく技術について説明できる（30％）				
	情報をとりまくルールや制度について説明できる（30％）				
	学生・社会人としての最低限の情報リテラシーを身につける（40％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス・授業の進め方・評価方法 社会で起きている変化 社会で起きている変化を知り、情報科学を学ぶことの意義を理解する。（河野）		
	【予習】シラバスを読んでおくこと		10分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第2回	コンピュータの仕組みと歴史 コンピュータを動かすハードウェアの仕組みと、現在までの歴史について理解する（新森）		
	【予習】コンピュータの仕組みと歴史について調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第3回	オペレーティングシステム・ソフトウェア コンピュータを動かすオペレーティングシステム・ソフトウェアの仕組みについて理解する（新森）		
	【予習】オペレーティングシステム・ソフトウェアについて調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第4回	プログラム・アルゴリズムとデータ構造 プログラムとアルゴリズムの基礎について理解する（河野）		
	【予習】プログラム・アルゴリズムとデータ構造について調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第5回	インターネットの仕組み インターネットを通じてどのように情報が伝達されるかを理解する（河野）		
	【予習】インターネットの仕組みについて調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第6回	画像・音声・動画メディア コンピュータの中で画像データや音声データ、動画データなどがどのようなしくみで扱われているかを理解する（河野）		
	【予習】音声・動画メディアについて調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第7回	著作権とプライバシー 情報を扱い活用する上で注意すべきルールについて理解する（新森）		
	【予習】著作権とプライバシーについて調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分
第8回	暗号 情報を守るための技術とその限界について理解する（河野）		
	【予習】暗号について調べること		30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること		60分

第9回	情報セキュリティ 情報を扱い活用する上で注意すべき行動について理解する（新森）	
	【予習】情報セキュリティについて調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第10回	これまでのデータベースとブロックチェーン これまで使われてきたデータを整理する手段と、これから普及が期待される新しい技術の概要について理解する（河野）	
	【予習】データベースとブロックチェーンについて調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第11回	データサイエンス どんなデータが集められ、どのように活用されているかを理解する。さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを理解する（河野）	
	【予習】データサイエンスについて調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第12回	データリテラシー データを適切に読み解き、説明する方法について理解する（河野）	
	【予習】データの表現方法（棒グラフや折れ線グラフなど）について調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第13回	IoT（Internet of Things）・クラウド データを収集、蓄積、活用するための新しい技術について理解する（新森）	
	【予習】IoT（Internet of Things）・クラウドについて調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第14回	人工知能（AI）・ビッグデータ データ・AIを活用するために使われている技術の概要を理解する。データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれているかを理解する。（河野）	
	【予習】人工知能（AI）・ビッグデータについて調べること	30分
	【復習】授業の講義資料を再確認し、ウェブで出題される課題を提出すること	60分
第15回	情報通信技術による社会の変化（まとめ） データ・AI活用における最新動向（デジタルトランスフォーメーションなど）を理解する。データ・AIを活用した新しいビジネス/サービスを理解する（高木）	
	【予習】これまでの授業の講義資料を再確認しておくこと	30分
	【復習】これまでの授業の講義資料を再確認しておくこと	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各回の課題提出内容にて評価する（100％） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	各回で資料を配布する	使用資料 ＜参考図書＞	樋口知之ほか（著）北川源四郎・竹村彰通 （編）「教養としてのデータサイエンス」
授業外学修等	本講義ではスマートフォンもしくはタブレット端末を利用する。両方とも持っていない者はPCを持参すること。（あらたにスマートフォンを購入する必要はありません）		
授業外質問方法	メールもしくはオフィス・アワーで対応		
オフィス・アワー	月曜2限		

授業科目名	経済の基礎			科目コード	G5806L04
英文名	Fundamentals of Economics				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	客員教授	担当教員名	川田 文人		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	3限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	経済の仕組みや動きについて学ぶ講座です。経済学の基礎理論の学習を主な内容とします。経済学は基礎理論を学ぶことが極めて重要です。様々な分野において、問題を経済理論的に考察し解決する力が求められています。そうしたより理論的かつ深い考察力の修得を目指す授業です。				
キーワード	企業行動	消費者行動	GDP	IS/LM曲線	財政金融政策
到達目標	「生産者である企業あるいは消費者である家計の行動に関する基礎的な考え方を説明することができる」力を身につける。				
	「日本の経済状況および政府の経済政策の効果について説明することができる」力を身につける。				
	日本経済の課題を理解することができる」力を身につける。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上			専門分野に共通する基礎知識の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 経済を学ぶことの意義、目的、学習方法等について取り上げます。また、授業の進め方や評価方法等についての ガイダンスを行います。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	市場と価格メカニズム（1） 需要と供給による価格・数量決定についての基礎理論を取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第3回	市場と価格メカニズム（2） 消費者行動について取り上げます。具体的には「効用（満足度）の最大化」について取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第4回	市場と価格メカニズム（3） 生産者行動について取り上げます。「費用の概念」について取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第5回	市場と価格メカニズム（4） {独占}、「寡占」、「完全競争」について取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第6回	GDPについて GDPの考え方、国民所得体系、「実質」と「名目」の違いについても学びます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第7回	GDPはどう決まるか ケインズ経済学の考え方、有効需要を中心に取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第8回	IS・LM曲線分析 IS曲線、LM曲線を使って経済の分析の仕方について学びます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分

第9回	財政政策 有効需要を変化させる財政政策の役割について取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第10回	金融政策 中央銀行の役割、銀行システムを中心に金融政策について取り上げます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第11回	銀行の役割、株式市場	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第12回	外国為替市場とは？ 円高・円安について	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第13回	日本経済の現状 短期・長期に分けて課題を概観し、人口減少、財政赤字、やるべきことなどについて学びます。	
	【予習】	30分
	【復習】	30分
第14回	北陸の産業構造 地域経済の現状について学びます、	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	第1回～第14回におけるテーマの総まとめ、復習を行う。	
	【予習】	
	【復習】	30分
第16回	学期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	宿題、期末試験、授業中の発言等によって評価します。		
使用資料 <テキスト>	適宜、資料・論文等を配布します。	使用資料 <参考図書>	適宜指示する
授業外学修等	経済専門紙を日々、読んでおくことを求めます。無作為に指名し、読んだ記事について、授業の冒頭で発表を求めます。		
授業外質問方法	オフィスアワーはもとより、研究室在室中は、随時受け付けます。また、出席カードに質問欄を設けます。		
オフィス・アワー	水曜日 4 時限		

授業科目名	社会学			科目コード	G5806L05
英文名	Sociology				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	講師	担当教員名	一井 崇		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	社会というものは目に見える形で存在するものなのか。社会というものは、目に見える(視覚的に認識できる)人という存在によって形成される一方で、社会そのものはそれらの人同士の目に見えない関係性によって成り立っている。この目に見えない、けれども確かに存在する社会というものを様々なテーマから捉えていこうとする学問が社会学と言える。学生諸氏の内なる興味や関心にしたいがい、社会というものについて考える視座を養ってもらいたい。				
キーワード	社会	個人	関係性		
到達目標	社会学の基礎的素養を身につける。				
	社会学の領域において、自分が興味や関心のあるテーマを発見する。				
	社会学を学ぶ意義について考える。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		現代社会に必要な基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 15回の授業の進め方、評価手法について説明する。社会学の基礎についてのイントロダクション	
	【予習】特になし	
	【復習】受講前の1週間の新聞記事から、気になったトピック(内容)についていくつかピックアップしてみる。	
第2回	【社会学とはどんな学問なのか】 「越境する知」という言葉から社会学の概念について考える。	
	【予習】「越境する知」という言葉から何が想像できるか考えてみる。	30分
	【復習】社会学の中で自分が関心をもったテーマについて調べてみる。	60分
第3回	【社会を形成する個人とその行為の分析 】 「アイデンティティと他者性」というキーワードから考える。	
	【予習】自分自身のアイデンティティとは何か、について考えてみる。	30分
	【復習】アイデンティティと社会とのかかわりについて考える。	60分
第4回	【社会を形成する個人とその行為の分析 】 「スティグマ」というキーワードから考える。	
	【予習】ある行動が原因で、その人(あるいはその人々を「〇〇な人(人々)」と決めつけてしまうような身近な事例について考えてみる。	30分
	【復習】スティグマが社会に与える影響について整理する。	60分
第5回	【社会を形成する個人とその行為の分析 】 「選別と排除の構造」というキーワードから考える。	
	【予習】普段の生活の中で、あるいは社会の中で選別や排除の構図はどのように生じるのか、様々な事例から考えてみる。	30分
	【復習】排除を生み出す構造についてまとめる。	60分
第6回	【社会を形成する個人とその行為の分析 】 「選別と排除の構図」というキーワードから考える。	
	【予習】普段の生活の中で、あるいは社会の中で選別や排除の構図はどのように生じるのか、様々な事例から考えてみる。	30分
	【復習】排除を生み出す構造についてまとめる。	60分
第7回	【社会秩序の解説 】 「ジェンダー(男であること、女であること)」というキーワードから考える。	
	【予習】性的な違いによって生じる社会矛盾について、事例を通じて考えてみる。	30分
	【復習】ジェンダーと社会構造との関係についてまとめる。	60分
第8回	【社会秩序の解説 】 「ジェンダー(男であること、女であること)」というキーワードから考える。	
	【予習】性的な違いによって生じる社会矛盾について、事例を通じて考えてみる。	30分
	【復習】ジェンダーと社会構造との関係についてまとめる。	60分
第9回	【社会秩序の解説 】 「社会の中の権力(姿を見せる権力、姿を見せない権力)」について考える。	
	【予習】権力とはどのような力なのか、について考えてみる。	30分
	【復習】姿を見せる権力、姿を見せない権力とはどんな権力なのか、についてまとめる。	60分

第10回	【社会秩序の解説】 「格差社会」というキーワードから考える。	
	【予習】格差社会を生み出す社会構造やその背景について考えてみる。	30分
	【復習】格差と不平等の問題との関係についてまとめる。	60分
第11回	【これからの社会の構想】 「グローバル化」というキーワードから考える。	
	【予習】グローバル化のイメージとはどのようなものか、考えてみる。	30分
	【復習】グローバル化の実情についてまとめる。	60分
第12回	【これからの社会の構想】 「福祉国家」というキーワードから考える。	
	【予習】国家のあり方や社会の現状を福祉、労働、自立などのキーワードから読み解く。	30分
	【復習】国家と福祉の関係性について整理する。	60分
第13回	【これからの社会の構想】 「民主主義」というキーワードから考える。	
	【予習】民主主義と国家に関するトピックを中心に、今後の国のあり方について考える	30分
	【復習】民主主義の孕む問題性についてまとめてみる。	60分
第14回	【これからの社会の構想】 「日本の政治」について考える。	
	【予習】日本の政治システムやその意味について理解し、考える。	30分
	【復習】政治と私たちの暮らしや社会とのつながりについてまとめてみる。	60分
第15回	【まとめ】 社会学を学ぶ意義について考える。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席・コミュニケーション・ペーパー(Google Formなどによる授業の感想)(60%)、期末課題(40%)により総合的に判断する。 ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	講義時に適宜紹介します。
授業外学修等	期末以外、特に課題等を課すことはありませんが、授業を通じて疑問に思ったこと、関心を持ったことなどは主体的に学ぶ習慣を身につけてください。予習、復習を行うことで、授業内容がより深く理解できるようになります。		
授業外質問方法	授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。		
オフィス・アワー			

授業科目名	ジェンダー論			科目コード	G5806L06
英文名	Gender Studies				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	社会的・文化的な性のありようを意味するジェンダーは、時代や地域、社会によって意識や変化がみられる。ジェンダーの概念はどのような社会のなかで成立し、国・地域の制度や法に影響を与えてきたのだろうか。日本では第5次男女共同参画社会基本計画が閣議決定されたが「ジェンダー平等」はどこまで実現したか。また、性的マイノリティの人々を支える施策について、諸外国の事例と比較し検討してみよう。				
キーワード	ジェンダー平等	ポジティブ・アクシ	隠れたカリキュラム	DV	性的マイノリティ
到達目標	ジェンダーの概念について、説明できる（20％）。				
	これまで普遍的だとされていた考え方に対し異なる視点があることを、理解できる（40％）。				
	「ジェンダー不平等」が生じる社会的・政治的背景を考え、解決する方法について議論できる（40％）。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス——「ジェンダー」とはなにか。「両性の平等」原則と現実とのギャップを日本、世界の現状から考える。	
	【予習】「ジェンダー」概念について、文献やネットの情報を活用して調べておく。	60分
	【復習】現代社会でみられる日本と世界のジェンダー差別について整理する。	60分
第2回	近代日本における性差別と今日の動向を整理する——「男／女」（性別二元論）に基づく社会制度はどう変更しているか？	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】多様な性の存在を認める諸外国の制度について整理しておく。	60分
第3回	教育——学校教育におけるジェンダー・バイアス、「隠されたカリキュラム」について考える。 （理解度を自己確認できるように、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】文部科学省の通達の内容を理解し、望ましい教育現場の在り方について自分の意見をまとめる。	60分
第4回	家族——現代に残る「家制度」、変容する家族のあり方を考える。	
	【予習】民法（家族法）の関係条文を、テキストを活用して予習しておく。	60分
	【復習】家庭生活における男女平等が実現した部分、そうでない部分を整理しておく。	60分
第5回	契約——「いのちの値段」と男女格差、「レディース・デー」は男性排除かを考える。	
	【予習】身近で行われている「レディース・デー」「マン・デー」の内容とねらいを調べておく。	60分
	【復習】逸失利益による男女差別の歴史についてまとめる。	60分
第6回	労働——男女雇用機会均等法の歴史と展開をまとめる。 「セクハラ」、「マタハラ」の定義と裁判例から時代の変化を読み解く。 （理解度を自己確認できるように、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】「セクハラ」・「パワハラ」等をめぐる最近の事例について調べておく。	60分
	【復習】「セクハラ」・「パワハラ」に関する事件について近年の裁判例をまとめる。	60分
第7回	社会保障——家族モデルの変化と社会保障制度の未来について考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読し、日本の現行制度を調べておく。	60分
	【復習】日本の社会保障制度と諸外国のそれとの違いをまとめる。	60分
第8回	性暴力・その1——刑法上の犯罪はどのように変容してきたかを考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】刑法における罪の種類が変更したことについてまとめる。	60分

第9回	性暴力・その2——ドメスティック・バイオレンス（DV）、デートDV、児童虐待の「いま」を学ぶ。 （外部講師・自治体の相談支援員による講義）	
	【予習】DVが生じる理由と子どもに与える影響について、他の授業科目で学んだことも活用しながら整理する。	60分
	【復習】講師の話を聞いて感想をまとめる。 （理解度を自己確認できるようにするため、Google Formで投稿する。）	60分
第10回	産む自由／産まない自由——「リプロダクティブ・ライツ」（性的自己決定権）の歴史と内容を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】宗教や文化を背景に、諸外国の制度に違いがあることを理解する。	60分
第11回	性表現——ポルノグラフィと「性表現の自由」、わいせつ罪との関係を考える。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】日本国憲法と子どもの権利条約を根拠に、どこまでが「表現の自由」として認められるかを考える。	60分
第12回	政策決定——政治・行政における女性参加の促進、「ポジティブ・アクション」という方法を理解する。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】女性の政治参加が顕著な諸外国の制度とその効果についてまとめる。	60分
第13回	司法——犯罪被害者・犯罪加害者とジェンダーの関係性を考える。 性被害者に対する報道による「二次被害」の深刻さ、「加害者に対する教育」にはどのようなものがあるか。	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】犯罪被害者と加害者の報道の仕方について、新聞やネットニュースを比較しながらまとめてみる。	60分
第14回	男性にとつてのジェンダー——ワーク・ライフ・バランス（WLB）の実現と課題	
	【予習】テキストの該当箇所を通読する。	60分
	【復習】男女平等の実現を男性の視点から考察する重要性を理解する。	60分
第15回	世界のなかの性差別——児童婚、持参金制度（インド）、女子割礼（アフリカ諸国）等、人権侵害と指摘される文化的慣習について考える。	
	【予習】これまで学んだ諸外国の性差別について整理しておく。	60分
	【復習】授業内容について、「子どもの権利」の保障という視点からも深められるようにする。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 では、期末レポートで評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	犬伏由子・君塚正臣・井上匡子編『レクチャー ジェンダー法』（法律文化社）	使用資料 ＜参考図書＞	テーマにあわせ適宜資料を配布する。
授業外学修等	・授業のはじめに今日生起している法的社会的ニュースを取り上げるので、各自新聞をよく読んでくること。 ・授業テーマについては、テキストや資料・文献等を参考に復習を心がけること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜3限		

授業科目名	日本国憲法			科目コード	G5806P02
英文名	The Constitution of Japan				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	「憲法」とは、国家をどのように治め、いかなる仕事をどのような方法で行うかを定めた国家の基本法です。国家権力は常に濫用される危険性があるため、近代憲法は、権力担当者に対し、権を保障する義務を課すとともに、予め権力に縛りをかけました。授業では、こうした立憲主義の概念を理解し、多様化する現代の人権状況と、その人権を守るべき統治システムについて考えていきます。				
キーワード	基本的人権	平和主義	国民主権	グローバリゼーション	統治機構
到達目標	日本国憲法の成立過程とその特徴について理解を深めることができる（20％）。				
	具体的な裁判事件を基に人権の種類を把握し、憲法原理と現実とのギャップを考えることができる（40％）。				
	国民主権原理と政治部門との関係、人権を守る「砦」として裁判所の役割を理解することができる（40％）。				
ディプロマポリシー	1. 「人」としての資質・能力（人間性の向上）		4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス——「憲法」ってなんだろう？ 私たちの生活と日本国憲法の関係性を概観する。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、憲法に関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第2回	日本国憲法の制定過程について学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第3回	「平等原則」と「平等権」について、理論と判例を考える。 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第4回	「信教の自由」の定義と歴史、具体的判例について考える。 配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第5回	「表現の自由」が保障された歴史的背景、制約的原理について学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第6回	「経済的自由権」が保障されるようになった歴史的背景、「職業選択の自由」の概念と学説、判例を学ぶ。 配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】授業アンケートに回答する（鉛筆マーク）。 (7)の質問項目に、学籍番号と名前を記入すること		60分
第7回	「社会権」の成立と「生存権」をめぐる課題について考える。 「朝日訴訟」を例に、日本国憲法25条の学説を整理する。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第8回	日本国憲法と国際法の関係を「子どもの権利条約」を通じて学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		
	【復習】教科書を読んで復習する。		

第9回	身体的自由と「適正手続きの保障」について考える。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】DVDを観た感想をまとめる。	60分
第10回	統治機構の役割について、「国会」と「内閣」の関係から考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報を利用して、日本の政治状況を調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第11回	統治機構の役割について、「内閣」の組織と権能から考える。	
	【予習】日本の選挙制度について調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第12回	「裁判員制度」の成立経緯と現代的課題を、ビデオの視聴を通して考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】ビデオの感想をまとめて、Webシラバスに投稿する。	60分
第13回	統治機構の役割について、「裁判所」から考える。 「司法権の独立」原則を理解する。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第14回	裁判所が有する「司法権」の一つである、「違憲審査制」の内容と特徴を学ぶ。	
	【予習】教科書を利用して、「違憲審査制」の概要を捉えておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第15回	日本国憲法の「平和主義」の特徴について考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 Ⅰでは、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 Ⅱ及びⅢでは、期末筆記テストで評価する（50％）。 1.人間性：50％、2.社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	小林武・石埼学編『いま日本国憲法は〔第6版〕』（法律文化社）	使用資料 ＜参考図書＞	テーマに合わせ適宜資料配布
授業外学修等	・授業冒頭で社会的事件に関する憲法的解説を行うので、常に新聞やインターネットニュースに目を通し、問題関心を持つたうえで参加してほしい。 ・授業テーマについては、テキストを中心とした予習、ノート等による復習を継続すること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	授業終了後。		

授業科目名	法学			科目コード	G5806P03
英文名	Law				
科目区分	教養科目 - 社会理解科目				
職名	客員教授		担当教員名	後藤 智	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	水曜日		時限	3限目	
開講時期	1年・2年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	この授業では、法学という学問分野を初めて学ぶという学生を対象とし、法とは何かということについての検討を通じて、法制度に関する基本的知識を得ることと法的なもののみかたや考え方の基本を修得することをねらいとしています。人権保障の意味についての正確な理解にも努めます。まずは法や法学についての基礎的知識を得ることから始め、時には具体的な事例を素材にして、「法学的に考える」ための訓練をしていきます。				
キーワード	法の役割	法の機能	法と権利	人権保障	法の歴史的展開
到達目標	法と人権保障の関係についての理解を行うことができる。（40％）				
	自分自身の生活とのかかわりで「法」を捉え、自分が社会生活を送る上で必要な法制度の基本的意味が理解できる。（40％）				
	「暗記する(覚える)」学習にとどまるのではなく、実際の具体的事例を踏まえつつ、客観的に問題の所在を把握し、論理的に考える力を養うための学習ができるようになる。（20％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス、受講上の諸注意—事前学習（予習）のすすめ 「法を学ぶ」ということの意味について	
	【予習】「授業外学習等」欄参照（第2回以下同じ）。	30分
	【復習】「授業外学習等」欄参照（第2回以下同じ）。	30分
第2回	1 私たちと法のかかわり 法とは何か—社会規範としての法、法と規範（ルール）、法と他の社会規範との異同、権利の体系としての法	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	1 私たちと法のかかわり（続き） （続）法とは何か—法の目的・機能・役割、国家の存在意義、法の存在形式（法源）、法の効力関係 * 法規範の特質と機能	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	2 法の歴史的展開—前近代から近代そして現代へ （1）西欧的近代法の成立、その意義・内容と展開...国民主権主義、民主主義、立憲主義、法治主義という概念	
	【予習】	30分
	【復習】	
第5回	2 法の歴史的展開—前近代から近代そして現代へ（続き） （2）近代法から現代法へ * あらためて、法の役割とは？ * 法と統治機構 * 国家や多数者によっても侵害できない基本的人権 * 人権保障と実質的平等	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	2 法の歴史的展開—前近代から近代そして現代へ（続き） （3）日本における法の歴史と法意識 * とくに第2次世界大戦前と後の違い * 日本人の法意識	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	3 法学の学び方 （1）法解釈と価値判断 * 法的価値判断の基準とは？ * 法解釈の意味、その主体	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	3 法学の学び方（続き） (2) 法を学ぶことの意義、法的思考とは * 客観的事実に基づく論理的思考 * 結論に至るプロセスや価値判断の重要性 * 法的に保護される価値としての人権	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	4 憲法はなぜ必要なのか (1) 憲法の究極の価値 (2) 最高法規とは	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	4 憲法はなぜ必要なのか（続き） (3) 民主主義と少数者の人権 * 多数意思による少数者の人権侵害・人権抑圧の防止と憲法	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	4 憲法はなぜ必要なのか（続き） (4) 「憲法改正ができる仕組み」の持つ意味とは * 憲法改正手続...なぜ国会議員の「過半数」ではなく「3分の2以上」なのか。	
	【予習】資料	
	【復習】	
第12回	5 法と正義 (1) 正義と法的安定 (2) 正義の概念および正義論の特質	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	5 法と正義（続き） (3) 法的安定性とは * 法の明確性 * 罪刑法定主義と法の安定 * 法の解釈と法的安定性 * 日本の現実と法的安定性	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	6 裁判と法 (1) 権利救済・実現の制度としての裁判・司法	
	【予習】	
	【復習】	

第15回	6 裁判と法（続き） (2) 日本の裁判制度 ＊裁判・裁判所の種類 ＊裁判の仕組み ＊刑事裁判における裁判員制度	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	原則として、期末筆記試験(70%)と受講態度(30%)によって評価します。 授業において課題を課した場合には、その提出状況および内容をも加味した評価を行います（期末筆記試験配点分の一部をそちらの評価分に充てます。その場合の配点については、授業中に明示します）。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 ディプロマポリシー配分比率： 人間性50% 社会性35% 専門性15%		
使用資料 <テキスト>	伊藤真『伊藤真の法学入門補訂版』(日本評論社、2017年)。	使用資料 <参考図書>	渡辺洋三『法とは何か 新版』(岩波新書、1998年)、村上英明他編『なるほど！法律学入
授業外学修等	配付資料やテキストを事前に読んで予習ノートを作成することなどが必要です。次回に授業で取り上げる箇所はわかるはずですから、必ず事前学習をしておきましょう。事前学習をもとに発表をしてもらうこともあります。上に示した参考図書以外にも図書館には法学入門的なテキストはいくつかあります。図書館へ通って、そうした文献を見つけ、読む努力もしてください。 また、授業では実際に進行中の社会現象を取り上げて説明することもあります。その際には、新聞記事を利用することも		
授業外質問方法	メール等での質問も受け付けますが、原則としては、直接会ってやりとりをしたいと思います。そのほうが的確に対応できるからです。時間調整のために事前にメール等で問い合わせてほしいと思います。メールアドレスは、授業時間中に伝えます。		
オフィス・アワー			

授業科目名	生活の科学			科目コード	G5906P01
英文名	Human Life Science				
科目区分	教養科目 - 自然理解科目				
職名	教授 客員教授		担当教員名	高橋 ゆかり 尾畑 納子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	水曜日		時限	1限目	
開講時期	1年・2年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	急速な科学・技術の進歩によって、私たちの生活は身近な衣・食・住について便利で快適になり、またこのことが今では当たり前と感じるようになっていく。しかし、こうした日常生活は、一方では環境問題や資源の枯渇など将来の地球全体に関わる課題を引き起こしている。大学教育における初年時教養科目として、暮らしの中の身近な現象や関連物質についての基礎的な内容を解説し理解を深める。【SDGs：目標3、12】（担当教員：実務経験あり）				
キーワード	健康な暮らし	衣・住環境	食環境	物質の科学	持続可能性
到達目標	現代社会における諸問題を暮らしの視点から理解でき、説明できる（70％）。				
	自立した人間として、生活におけるさまざまなことについて考えることができる（30％）。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2021年度オリエンテーション 日常生活での科学的視点の重要性について	
	【予習】	
	【復習】	15分
第2回	生活と科学（尾畑） 資料	
	【予習】授業中に指示する	15分
	【復習】暮らしを科学的視点から捉えることについて自分の考えをまとめる	30分
第3回	生活史（尾畑） 特に戦後の生活の変化と経済や環境への影響に触れる。生活に必要な健康について触れる	
	【予習】戦後から現在までの経済変化でその特徴について調べる	
	【復習】生活の変化と環境問題との関わりについて整理する	
第4回	食生活と環境（尾畑） 青年期における食生活について	
	【予習】授業中に指示する	15分
	【復習】食の安全についてまとめる	30分
第5回	食生活と健康（尾畑） 健康と食の関わりについて	
	【予習】授業中に指示する	15分
	【復習】自分の食生活を分析する	30分
第6回	衣生活・住生活と健康（尾畑） 衣料素材やそれに関連する事象、住環境と健康について	
	【予習】授業中に指示する	15分
	【復習】自宅における住環境での問題を調べる	20分
第7回	生活と水（尾畑） 生活に使用する水、富山の水について	
	【予習】授業中に指示する	15分
	【復習】富山の名水を調べる	30分
第8回	キッチンの科学（高橋） 家庭の台所には食材や調味料などの化学物質がある。これらを科学的に見ていく。	
	【予習】	15分
	【復習】授業中に出された課題に取り組む。	30分

第9回	生活の中の高分子化合物（高橋） 私たちの生活用品にはさまざまなプラスチック類が使われている。プラスチックの種類や特徴についての理解を深めるとともに、プラスチックによる問題についても考える。	
	【予習】プラスチックの種類や特性について調べておく。	15分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	30分
第10回	生活の中の金属類（高橋） 身の回りの製品には、さまざまな金属が使われている。一般的な金属類、レアメタルなどについて理解を深める。	
	【予習】携帯電話やスマートフォンの部品としてどのような金属が使用されているか調べてくる。	15分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	30分
第11回	元素のはなし これまで学んできたあらゆるものは元素で構成されている。身近な元素について、理解を深める。	
	【予習】	15分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	30分
第12回	放射性物質と生活（外部講師による授業）	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	化学物質の光と影 私たちが日常的に使う化学物質は、私たちの生活を豊かにしてくれる一方で、使い方を誤ると危険な場合もある。このような物質について理解を深めるとともに、どのように化学物質と付き合っていったらよいか考える。	
	【予習】	15分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	30分
第14回	科学と疑似科学（高橋） 世の中には、科学のように見えるが、科学とは呼べないものが存在する。科学と疑似科学の違いは何かについて、具体例を通して学ぶことにより、科学的な考え方を学ぶ。	
	【予習】身近にある疑似科学について調べておく	30分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。	30分
第15回	総括 生活を科学することの意義について考える	
	【予習】	
	【復習】試験対策	120分
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢・授業中の課題（40％），授業中以外での課題（20％），試験（40％） 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：100％		
使用資料 ＜テキスト＞	必要に応じてプリント資料を配布する	使用資料 ＜参考図書＞	藤城敏幸：新編生活科学（東京教学社）他 新しい物質の科学（オーム社）
授業外学修等	授業中に課題を提示します。		
授業外質問方法	授業終了後または電子メール【高橋（y-takahasi@tuins.ac.jp）もしくは尾畑（obata@tuins.ac.jp）】		
オフィス・アワー	月曜日4時限（高橋）440研究室		

授業科目名	数学			科目コード	G5906P02
英文名	Mathematics				
科目区分	教養科目 - 自然理解科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	新夕 義典		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	3限目		
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	自分の中にある既得数学知識・技能について省察し、その構造について発見的に再確認することにより、数学的な見方・考え方やクリティカルシンキングを含む社会で有用（転移可能）なコンピテンシー（資質・能力）の育成を目指す。				
キーワード	数学的な見方・考え	クリティカルシンキ	コンピテンシー		
到達目標	数学的な見方・考え方やクリティカルシンキングを含む社会で有用（転移可能）なコンピテンシー（資質・能力）を育成することができたか。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・オリエンテーション ・小・中・高校時代の数学の授業と数学の既習知識についてふり返る（個人記述）。	
	【予習】・小・中・高校時代の数学の授業と数学の既習知識について記述したい内容を絞り込んでおく	120分
	【復習】・個人記述を完成させる	120分
第2回	・第1回の授業で課した個人記述をグループ（3～4人）で発表し合い、数学と数学教育に対する認識を共有すると共に、各自の問題点や数学と数学教育に関する本質について絞り込む。 ・全体発表　；グループで出た意見や内容について全体で発表する。	
	【予習】・第1回の授業で課した個人記述の内容を精査し、グループ（3～4人）での発表に備える	120分
	【復習】・グループや全体発表で出た意見について、自分の経験や状況などと照らし合わせ、考えをまとめておく	120分
第3回	・全体発表　；グループで出た意見や内容について全体で発表する ・数学及び数学教育と、自分との関係（認知、認知方法、活用や有用性）について、本質に迫る（個人省察、グループ協議）。	
	【予習】・前時のグループや全体発表に対して自分でまとめた考えをもとに、課題や第3回の授業で扱いたい内容を絞り込む	120分
	【復習】・自分にとっての数学や数学教育とは何だったのかについて考えをまとめる	120分
第4回	・数学及び数学教育と、自分との関係（認知、認知方法、活用や有用性）について、グループ協議の内容を全体で発表すると共に全体で協議し、数学及び数学教育の本質に迫る（数学や数学教育は必要か、それは何故か？）。	
	【予習】・自分にとっての数学や数学教育とは何だったのかについてまとめた考えをもとに、課題や第4回の授業で協議したい内容を絞り込む	120分
	【復習】・数学及び数学教育の本質についてさらに深く考え、まとめておく	120分
第5回	・数学及び数学教育の本質について明らかになったことをもとに、小・中・高校での具体的な既習内容について、クリティカルシンキングを基盤に、数学的見方・考え方を適用し、捉え直す（再構築を行う）。	
	【予習】・数学及び数学教育の本質についてさらに深く考えた内容をもとに、各自で授業に臨むめあてを設定する	120分
	【復習】・数学及び数学教育の本質について明らかになったことをもとに、小・中・高校での具体的な既習内容について、クリティカルシンキングを基盤に、数学的見方・考え方を適用し、捉え直す（再構築を行う）やり方（方法）を把握し、確認する	120分
第6回	・数と式領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・数と式領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第7回	・数と式領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・数と式領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第8回	・関数領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・関数領域に関する具体的内容　について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分

第9回	・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直す。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第10回	・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第11回	・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第12回	・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第13回	・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第14回	・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第15回	・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第16回	・到達目標の達成状況を把握するための試験を実施する。	
	【予習】・今までの授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・問題をもとに、さらに深く考えてみる	120分

評価方法	毎回の“ふり返し（記述）”及び不定期の“課題レポート”（60％）、定期考査（第16回目充当）（40％）で評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	講義プリントは毎時間配付する。	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて提示する。
授業外学修等	毎回、授業終了後に“ふり返し”を書き、メールに添付して提出してもらいます。提出してもらった“ふり返し”の中からいくつかを次の時間の最初に紹介します。また、必要に応じて“課題レポート”の提出をを課します。		
授業外質問方法	提出する“ふり返し”に質問内容を記述することもできます。		
オフィス・アワー	授業前または修了後、非常勤講師控え室で対応。		

授業科目名	健康とスポーツ演習			科目コード	G6006L01
英文名	Health and Sports				
科目区分	教養科目 - 領域を超えて学ぶ科目				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	生涯に渡って運動・スポーツに親しみ、継続的に実践するための基礎的知識を身に付ける。 「運動の楽しさ」「仲間との交流・協力」「運動技術の向上」「運動量の確保」をキーワードに、学生自身がグループでの運動・スポーツ実践を計画・立案し、計画した活動の実践を通して、よりより運動実践の在り方について考える。 実務経験のある科目担当者から、生涯的な運動実践の方法について学ぶ。				
キーワード	スポーツ	健康	運動技術	協調性	ゲーム形式
到達目標	運動・スポーツを通して、生涯に渡って健康を維持するための基礎知識、方策について理解することができる。				
	「楽しさ」「交流・協力」「運動技能」「運動量」を考慮した運動・スポーツ活動の計画、立案をすることができる。				
	健康の維持・増進および体力の向上を図るための、今後の自身の行動について考えることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【オリエンテーション】授業概要説明 【講義】現代を生きる青年世代に求められる健康・スポーツとは何か。	
	【予習】	
	【復習】自身のこれまでの運動経験と運動習慣を振り返る。	20分
第2回	【実技】ビーチボール	
	【予習】ビーチボールの基本的なルールを理解する。	20分
	【復習】自身が取り組みたい運動・スポーツ種目について、ルール・実践方法などを調べる。	30分
第3回	【実技】バドミントン ・基本技術の習得【サービス、ハイクリア、ドライブ、ドロップ、スマッシュ、ヘアピン】 ・シングルスゲーム	
	【予習】バドミントンのルールを調べて、理解する。	20分
	【復習】	
第4回	【実技】バドミントン ・基本技術の習得【サービス、ハイクリア、ドライブ、ドロップ、スマッシュ、ヘアピン】 ・ダブルスゲーム	
	【予習】バドミントン・ダブルスのルールを調べて、理解する。	20分
	【復習】	
第5回	【実技】タグラグビー ・基本ルールの理解 ・ゲーム実践	
	【予習】タグラグビーのルールを調べて理解する。	30分
	【復習】	
第6回	【講義】運動・スポーツを継続して実践するための体育・スポーツ学的基礎知識 【演習】グループによる運動・スポーツ活動計画・立案	
	【予習】自分が計画・立案したいスポーツ活動、運動実践について原案を作成する。	30分
	【復習】	
第7回	【講義】集団で運動・スポーツを実践するための、計画・立案について 【演習】グループによる運動・スポーツ活動計画・立案	
	【予習】自分が計画・立案したいスポーツ活動、運動実践について原案を作成する。	30分
	【復習】グループでの運動・スポーツ活動計画を進める。	60分
第8回	【実技・演習】グループで計画した運動・スポーツ活動実践	
	【予習】グループで計画した活動に必要な用具等の準備	30分
	【復習】グループ活動の反省、フィードバック	20分

第9回	【実技・演習】グループで計画した運動・スポーツ活動実践	
	【予習】グループで計画した活動に必要な用具等の準備	30分
	【復習】グループ活動の反省、フィードバック	20分
第10回	【実技・演習】グループで計画した運動・スポーツ活動実践	
	【予習】グループで計画した活動に必要な用具等の準備	30分
	【復習】グループ活動の反省、フィードバック	20分
第11回	【講義】自身の体力・健康維持を目的とした活動を実践するための基礎的知識について 【演習】自分の体力・健康の現状に応じたトレーニング計画の作成	
	【予習】自分の運動目標、取り組みたい活動について原案を作成する。	20分
	【復習】活動実践・レポート提出：自分で計画した運動・トレーニングを実践し、自己評価をする。	60分
第12回	【実技・演習】グループで計画した運動・スポーツ活動実践	
	【予習】グループで計画した活動に必要な用具等の準備	30分
	【復習】グループ活動の反省、フィードバック	20分
第13回	【実技・演習】グループで計画した運動・スポーツ活動実践	
	【予習】グループで計画した活動に必要な用具等の準備	30分
	【復習】グループ活動の反省、フィードバック	20分
第14回	自己選択スポーツ、トレーニング実践 自分で実施する種目を自主的に選択し、技能の向上に努め、生涯スポーツの実践につなげる。	
	【予習】自分が選択したスポーツ種目のルール、戦術、基本技能について調べる。 自分が選択したトレーニング種目の方法について調べる。	20分
	【復習】自分が選択した活動の評価・フィードバック	20分
第15回	自己選択スポーツ、トレーニング実践 自分で実施する種目を自主的に選択し、技能の向上に努め、生涯スポーツの実践につなげる。	
	【予習】自分が選択したスポーツ種目のルール、戦術、基本技能について調べる。 自分が選択したトレーニング種目の方法について調べる。	20分
	【復習】自分が選択した活動の評価・フィードバック スポーツ・運動活動実戦レポートの提出	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	グループ活動計画の立案・実践に対するグループ内での貢献度（30％）、個人運動・トレーニング計画の内容・評価レポート（30％）、講義内容に対する知識・理解（20％）、授業中の活動に対する関心・意欲・態度を総合的に判断して評価する。 人間性：40％、 社会性：40％、 専門性：20％		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	随時紹介する
授業外学修等	各種目のルールについては、スポーツルールブックや文献、インターネット検索を通して、あらかじめ理解しておくこと。自主的に練習し、各種目の技術の向上に努めること。		
授業外質問方法	メールにて受け付ける。kaneko@tuins.ac.jp オフィス・アワーで対応		
オフィス・アワー	木曜日2限10:40～12:20（体育館管理室）		

授業科目名	とやま地域学			科目コード	G6006P02
英文名	Toyama Regional Studies				
科目区分	教養科目 - 領域を超えて学ぶ科目				
職名	教授	担当教員名	助重 雄久		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中	時限	集中		
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	2015年の北陸新幹線開業以来、富山県は多くのメディアに取り上げられ、国内外から注目されています。一方、少子高齢化が一段と進んで地域活力の低下が懸念されており、2018年から県の新総合計画による対策がスタートしました。皆さんにも新時代に対応したライフスタイルの確立が求められています。 今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的としています。そのために、「富山は日本のスウェーデン」の著書とは別の視点に立ち、富山の自然・歴史や現状、未来について、さまざまな分野の専門家から学びます。富山の魅力を発見し、活力ある富山の地域づくりについて、皆さんの視点から考えてみましょう。				
キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然と災害	富山の産業と生活	地方の未来創生	世界遺産
到達目標	目標1：富山の歴史文化・産業・生活環境などの現状を学び、特色を理解することができる。				
	目標2：富山の自然・農業・災害について学び、持続可能で安全な地域づくりを考えることができる。				
	目標3：政策のプロの講義や現地研修を通し、富山・北陸地域の活性化について考えることができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	
	【復習】	
第2回	授業ガイダンス・日程等に関する説明 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	AI、デジタル化社会から見る富山 富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	富山の観光とその未来 - 北陸新幹線の敦賀延伸と黒部ルートの開通がもたらすもの - 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	データから見る富山の産業と生活 富山地域学研究所所長 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	朝日町の良さを活かした移住・定住促進 朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	富山の農林水産業の新しい姿 富山県副知事 横田 美香 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	町家のリノベーションと地域活性化 グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	富山のくらしと水 富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	富山県の自然と歴史・未来・防災・基幹インフラ・産業・文化・環境・共生・人づくり - 消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	北陸・富山の地形の特徴 - 扇状地や河岸段丘を中心に - 日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	富山市街地の歴史をたどる（レクチャー） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	富山市街地の歴史をたどる（バーチャルフィールドワーク） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	富山市街地の歴史をたどる（ディスカッションと解説） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	まとめ、課題提出について 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修（50％）、レポート（50％）をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>	テキストは無料配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養特別講座			科目コード	G6011L03
英文名	Liberal arts of special course				
科目区分	教養科目 - 領域を超えて学ぶ科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中	時限	集中		
開講時期	1年・2年・3年・4年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	笑いを高度に発達させた生物は人間だけです。その人間の笑いを様々な側面から考察し、笑いの特徴や奥深さについて理解するとともに、ままならぬ人生を前向きに前進する力を身につけます。				
キーワード	笑い	健康	ユーモア	演芸	
到達目標	「笑いの理論」を理解し、この理論から日常の笑いを分析することができる。				
	様々な日本の演芸の特徴を理解し、その魅力を他者に説明することができる。				
	「ユーモア」についての理解を深め、ユーモア精神で人生を歩むことができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上		幅広く多様な専門知識の修得		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本講座の概要、笑いを「笑いの理論」から理解する(1) 本講座の全体的な内容を説明するとともに、人がなぜ笑うのかについて説明した「笑いの理論」のうち、代表的な「優越の理論」、「ズレの理論」について、文献や実例を参照にしながら詳しく解説します。また、笑うのは動物の中で人間だけなのかについて、豊長類学の知見も紹介しながら、人間の笑いについて考えます。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	笑いを「笑いの理論」から理解する(2) 人がなぜ笑うのかについて説明した「笑いの理論」のうち、代表的な「ストレス発散理論」、「愉快な心理的転移説」について、文献や実例を参照にしながら詳しく解説します。また、笑いの一つの特徴である「2元結合」についても説明します。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	日本の芸能の理解を深める(1) 笑いに関する日本の芸能のうち、「漫才」の特徴について解説します。特に「ボケ」と「ツッコミ」について説明し、実例を参照しながら漫才を鑑賞します。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	日本の芸能の理解を深める(2) 笑いに関する日本の芸能のうち、「落語」の特徴について解説します。一人話芸の代表である落語の魅力の説明し、実例を参照しながら落語を鑑賞します。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	1 日目の総復習 笑いの特徴の一つである「二元結合」という点を理解し、言葉の遊びとしてダジャレを作ってみます。また、4コマ漫画のオチを自分で想像する作業をします。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	日本の芸能の理解を深める(3) 笑いに関する日本の芸能のうち、「コント・喜劇・一人芸」の特徴について解説します。実例を参照しながらコント・喜劇・一人芸を鑑賞します。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	大阪の笑いに学ぶ(1) 笑いについて独自の発展を遂げた地域が大阪です。その大阪の笑いの特徴について理解を深めます。大阪の人なら誰もが知る「吉本新喜劇」の笑いについても実例を紹介しながら解説します。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	大阪の笑いに学ぶ(2) 笑いについて独自の発展を遂げた地域が大阪です。その大阪の笑いの特徴について理解を深めます。特に関西地方では有名な長寿番組「探偵！ナイトスクープ」の笑いについても実例を紹介しながらその魅力を解説します。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	人生におけるピンチと笑いについて考える 人生で困難に直面したとき、自分で悩みを深めてしまう生き方でなく、困難を乗り越えるために笑いをうまく活用することについて考えます。フランクルの『夜と霧』、神経症（ノイローゼ）と笑い、自分を笑い飛ばす自虐ネタについて学びます。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	2日目の総復習 困難を笑いに変える方法としての川柳について学びます。自分を笑い飛ばす川柳を作ってみましょう。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(1) 喜劇俳優・渥美清が演じた国民的映画『男はつらいよ』は、一人の俳優が主人公を演じたシリーズ映画としては、異例の48作まで続いたギネス記録にもなっている作品です。この映画について、特に「情」という点から考察しながら、その魅力に迫ります。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	映画『男はつらいよ』に学ぶ人生観(2) 映画『男はつらいよ』の特徴として、喜劇的側面をもつほかに、その時代時代の社会問題をも扱った作品が多く見られます。映画を鑑賞しながら、日本が置かれている社会問題について考えてみましょう。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	「老いと笑い」について考える 少子高齢化社会という日本の現状の中で、老いと笑いについて考えましょう。老いを単に否定的に捉えるのではなく、笑いとの関係で積極的に老いを捉え返すことを学びましょう。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	「幸福と笑い」について考える 笑いは心身の健康に効果的であるため、笑いを健康のために活用する「笑い療法」も存在します。笑いが身体に及ぼす影響について学び、人生で笑うことを忘れないユーモア精神についても学びましょう。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	第3日目の総復習 この集中講義の総まとめとして、ユーモアスピーチをしてみましょう。特に、苦しいときの自分にエールを送るつもりでスピーチの内容を考えてみましょう。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中の課題の提出（50％）、発表（50％）によって評価します。 人間性：80%、 社会性：20%		
使用資料 <テキスト>	授業の時にレジюмеや資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	授業の中で指示します。
授業外学修等	集中講義のため、1日の授業が終了したら、その日の学びの内容について、事後の復習を必ず行ってください。		
授業外質問方法	大谷のメールアドレス(otani@tuins.ac.jp) に随時、質問を送ってください。		
オフィス・アワー	開講期間中随時		

授業科目名	英語 Aクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	渡部 恵子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力		教育支援力
○			/		/
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Food Traditions (Reading skill: Identifying time signals) pages 82-89	
	【予習】 Read pages 82-89, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Preserving Foods pages 90-96	
	【予習】 Read pages 90-96, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 7 Reading 1: Bar Codes (Reading skill: Identifying steps in a sequence) pages 98-105	
	【予習】 Read pages 98-105, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 7 Reading 2: 2-D Bar Codes pages 106-112	
	【予習】 Read pages 106-112, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 8 Reading 1: Museum Theft (Reading skill: Using a dictionary) pages 114-121	
	【予習】 Read pages 114-121, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第8回	Unit 8 Reading 2: A Bold Thief pages 122-128	
	【予習】 Read pages 122-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam.	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Hydroponics (Reading skill: Identifying contrast signals) pages 130-137	
	【予習】 Read pages 130-137, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Farming in Many Places pages 138-144	
	【予習】 Read pages 138-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and past units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Sun, Wind, and Water (Reading skill: Identifying signal words for comparison) pages 146-152	
	【予習】 Read pages 146-152, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Using Renewable Energy Sources pages 153-159	
	【予習】 Read pages 153-159, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Bクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	David Coolidge		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English langauge skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Food Traditions (Reading skill: Identifying time signals) pages 82-89	
	【予習】 Read pages 82-89, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Preserving Foods pages 90-96	
	【予習】 Read pages 90-96, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 7 Reading 1: Bar Codes (Reading skill: Identifying steps in a sequence) pages 98-105	
	【予習】 Read pages 98-105, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 7 Reading 2: 2-D Bar Codes pages 106-112	
	【予習】 Read pages 106-112, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 8 Reading 1: Museum Theft (Reading skill: Using a dictionary) pages 114-121	
	【予習】 Read pages 114-121, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第8回	Unit 8 Reading 2: A Bold Thief pages 122-128	
	【予習】 Read pages 122-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam.	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Hydroponics (Reading skill: Identifying contrast signals) pages 130-137	
	【予習】 Read pages 130-137, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Farming in Many Places pages 138-144	
	【予習】 Read pages 138-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and past units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Sun, Wind, and Water (Reading skill: Identifying signal words for comparison) pages 146-152	
	【予習】 Read pages 146-152, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Using Renewable Energy Sources pages 153-159	
	【予習】 Read pages 153-159, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Cクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授		担当教員名	堀川　真理子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	木曜日		時限	4限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Food Traditions (Reading skill: Identifying time signals) pages 82-89	
	【予習】 Read pages 82-89, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Preserving Foods pages 90-96	
	【予習】 Read pages 90-96, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 7 Reading 1: Bar Codes (Reading skill: Identifying steps in a sequence) pages 98-105	
	【予習】 Read pages 98-105, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 7 Reading 2: 2-D Bar Codes pages 106-112	
	【予習】 Read pages 106-112, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 8 Reading 1: Museum Theft (Reading skill: Using a dictionary) pages 114-121	
	【予習】 Read pages 114-121, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第8回	Unit 8 Reading 2: A Bold Thief pages 122-128	
	【予習】 Read pages 122-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam.	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Hydroponics (Reading skill: Identifying contrast signals) pages 130-137	
	【予習】 Read pages 130-137, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Farming in Many Places pages 138-144	
	【予習】 Read pages 138-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and past units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Sun, Wind, and Water (Reading skill: Identifying signal words for comparison) pages 146-152	
	【予習】 Read pages 146-152, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Using Renewable Energy Sources pages 153-159	
	【予習】 Read pages 153-159, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語 Dクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion and activities. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.		
	【予習】		
	【復習】	Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Solving a Crime with Science: A True Story (Reading skill: Identifying time and sequence words) pages 82-88		
	【予習】	Read pages 82-88, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Forensic Science pages 89-96		
	【予習】	Read pages 89-96, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 7 Reading 1: The Fast-Food Revolution (Reading skill: Reading numerical tables) pages 98-104		
	【予習】	Read pages 98-104, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 7 Reading 2: Franchising pages 105-112		
	【予習】	Read pages 105-112, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7		
	【予習】	Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 8 Reading 1: The Autism Puzzle (Reading skill: Making inferences) pages 114-120		
	【予習】	Read pages 114-120, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第8回	Unit 8 Reading 2: Looking for Answers pages 121-128	
	【予習】 Read pages 121-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Saving the Oceans (Reading skill: Reading statistical tables) pages 130-136	
	【予習】 Read pages 130-136, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Exploring the Deep Ocean pages 137-144	
	【予習】 Read pages 137-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Giving Nature a Hand (Reading skill: Distinguishing fact from opinion) pages 146-153	
	【予習】 Read pages 146-153, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Bionic People pages 154-160	
	【予習】 Read pages 154-160, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語 Eクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師		担当教員名	Jared Winans	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	木曜日		時限	4限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion and activities. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.		
	【予習】		
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.		30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Solving a Crime with Science: A True Story (Reading skill: Identifying time and sequence words) pages 82-88		
	【予習】 Read pages 82-88, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Forensic Science pages 89-96		
	【予習】 Read pages 89-96, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第4回	Unit 7 Reading 1: The Fast-Food Revolution (Reading skill: Reading numerical tables) pages 98-104		
	【予習】 Read pages 98-104, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第5回	Unit 7 Reading 2: Franchising pages 105-112		
	【予習】 Read pages 105-112, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7		
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第7回	Unit 8 Reading 1: The Autism Puzzle (Reading skill: Making inferences) pages 114-120		
	【予習】 Read pages 114-120, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分

第8回	Unit 8 Reading 2: Looking for Answers pages 121-128	
	【予習】 Read pages 121-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Saving the Oceans (Reading skill: Reading statistical tables) pages 130-136	
	【予習】 Read pages 130-136, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Exploring the Deep Ocean pages 137-144	
	【予習】 Read pages 137-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Giving Nature a Hand (Reading skill: Distinguishing fact from opinion) pages 146-153	
	【予習】 Read pages 146-153, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Bionic People pages 154-160	
	【予習】 Read pages 154-160, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語 Fクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion and activities. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.		
	【予習】		
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.		30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Solving a Crime with Science: A True Story (Reading skill: Identifying time and sequence words) pages 82-88		
	【予習】 Read pages 82-88, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Forensic Science pages 89-96		
	【予習】 Read pages 89-96, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第4回	Unit 7 Reading 1: The Fast-Food Revolution (Reading skill: Reading numerical tables) pages 98-104		
	【予習】 Read pages 98-104, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第5回	Unit 7 Reading 2: Franchising pages 105-112		
	【予習】 Read pages 105-112, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7		
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分
第7回	Unit 8 Reading 1: The Autism Puzzle (Reading skill: Making inferences) pages 114-120		
	【予習】 Read pages 114-120, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.		60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.		30分

第8回	Unit 8 Reading 2: Looking for Answers pages 121-128	
	【予習】 Read pages 121-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Saving the Oceans (Reading skill: Reading statistical tables) pages 130-136	
	【予習】 Read pages 130-136, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Exploring the Deep Ocean pages 137-144	
	【予習】 Read pages 137-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Giving Nature a Hand (Reading skill: Distinguishing fact from opinion) pages 146-153	
	【予習】 Read pages 146-153, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Bionic People pages 154-160	
	【予習】 Read pages 154-160, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Gクラス			科目コード	G6101L02
英文名	English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	Kerrie Gray		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion and activities. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English langauge skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction, Rules and Policies. Communicative activities.		
	【予習】		
	【復習】	Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 6 Reading 1: Solving a Crime with Science: A True Story (Reading skill: Identifying time and sequence words) pages 82-88		
	【予習】	Read pages 82-88, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 6 Reading 2: Forensic Science pages 89-96		
	【予習】	Read pages 89-96, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 7 Reading 1: The Fast-Food Revolution (Reading skill: Reading numerical tables) pages 98-104		
	【予習】	Read pages 98-104, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 7 Reading 2: Franchising pages 105-112		
	【予習】	Read pages 105-112, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6 and 7		
	【予習】	Review assignments and vocabulary from Units 6 and 7. Prepare questions for class.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 8 Reading 1: The Autism Puzzle (Reading skill: Making inferences) pages 114-120		
	【予習】	Read pages 114-120, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】	Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第8回	Unit 8 Reading 2: Looking for Answers pages 121-128	
	【予習】 Read pages 121-128, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-8.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 9 Reading 1: Saving the Oceans (Reading skill: Reading statistical tables) pages 130-136	
	【予習】 Read pages 130-136, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 9 Reading 2: Exploring the Deep Ocean pages 137-144	
	【予習】 Read pages 137-144, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 9 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 9. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 10 Reading 1: Giving Nature a Hand (Reading skill: Distinguishing fact from opinion) pages 146-153	
	【予習】 Read pages 146-153, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 10 Reading 2: Bionic People pages 154-160	
	【予習】 Read pages 154-160, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 6-10 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 6-10. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分

第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 6-10.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	中国語 Aクラス			科目コード	G6101L04
英文名	Chinese				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授		担当教員名	湯 麗敏	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 木曜日		時限	3限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	前期に引き続き、中国語の基礎語法、表現を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、またヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。受講者のみなさんに予習と復習を欠かさず、熱心に勉強してほしい、一年間で基礎的な使える中国語を身に付けることを目指します。				
キーワード	基礎文法	作文	応用練習	身につける	
到達目標	正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせることができる。				
	中国語で自己紹介、日常的必要な文章が書けることができる。				
	中国人と会話ができる力、異文化理解力をを身に付くことができる。				
	目標到達を目指して１．課題完成度（予習、復習、宿題）50%、 ２．テストの成績50%で評価する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○			○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	第1課～7課の内容の復習		
	【予習】中国語で作文（夏休みのこと・自分の趣味等）		30分
	【復習】習った単語と本文		30分
第2回	第8課 ポイント 事物の量を表す量詞・時量の言い方		
	【予習】新出語句		30分
	【復習】ポイント 量詞と時量の言い方		30分
第3回	第8課 ポイント 過去の経験を表す・介詞・疑問詞		
	【予習】本文を聞く		30分
	【復習】経験を表す・介詞・疑問詞		30分
第4回	第8課 本文を理解・訳す・朗読・練習問題		
	【予習】本文を聞く・訳す		30分
	【復習】第8課 筆記の練習問題		30分
第5回	第9課 新出語句・ポイント		
	【予習】新出語句		30分
	【復習】ポイント の練習		30分
第6回	本文・ポイント		
	【予習】本文を聞く・熟読する		30分
	【復習】本文を覚えるようにする		30分
第7回	本文を理解・訳す・朗読・練習問題		
	【予習】本文を聞く・訳す		30分
	【復習】筆記の練習問題		30分
第8回	第8・9課の内容によりの実践練習		
	【予習】第8・9課の内容		30分
	【復習】グループワークで活動（会話練習）		30分
第9回	第10課 新出語句・ポイント		
	【予習】新出語句を聞く・読む		30分
	【復習】ポイント の練習		30分

第10回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・熟読する	30分
	【復習】本文を覚えよう	30分
第11回	本文を練習・筆記練習問題	
	【予習】本文を訳す・読む練習	30分
	【復習】本文を理解・訳す・朗読・練習問題	30分
第12回	第11課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句を聞く・読む	30分
	【復習】ポイント の練習	30分
第13回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・読む	30分
	【復習】ポイント の練習	30分
第14回	本文を理解・訳す・朗読・練習問題	
	【予習】本文を訳す・読む	30分
	【復習】筆記の練習問題	30分
第15回	第8課～第11課の総合練習・中間テスト	
	【予習】単語・本文練習・練習問題	30分
	【復習】中間テスト	30分
第16回	第12課 お店での言葉使い方	
	【予習】単語と本文の熟読	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第17回	第十二課 お店での言葉使い方	
	【予習】作文練習	30分
	【復習】会話練習	30分
第18回	お金の言い方	
	【予習】買い物に関する単語調べ	30分
	【復習】文法練習	30分

第19回	お誕生日祝い、プレゼントをする	
	【予習】誕生日に関する表現	30分
	【復習】応用練習	30分
第20回	第13課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第21回	本文・ポイント	
	【予習】文型で作文練習	30分
	【復習】会話練習	30分
第22回	ポイント練習・筆記問題練習	
	【予習】作文練習	30分
	【復習】筆記練習問題	30分
第23回	グループで12・13課の内容によって会話練習	
	【予習】会話練習準備	30分
	【復習】会話発表	30分
第24回	第14課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句を読む・覚える	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第25回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・熟読する	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第26回	応用練習・練習問題	
	【予習】総合練習	30分
	【復習】筆記問題を練習	30分
第27回	実力試しに 4級問題にチャレンジ	
	【予習】総合練習	30分
	【復習】4級問題にチャレンジ	30分

第28回	中国文化を紹介	
	【予習】中国に興味のあることを調べる	30分
	【復習】感想文を書く	30分
第29回	習った内容で口頭発表準備	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】内容を書く・練習	30分
第30回	口頭発表	
	【予習】口頭発表練習	30分
	【復習】口頭発表	30分
第31回	復習	
	【予習】応用練習	60分
	【復習】テスト勉強	60分
第32回	期末テスト	
	【予習】テスト勉強	
	【復習】応用練習、大まとめ	

評価方法	1．授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2．テストの成績50% 3．ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	應 廣建・湯 麗敏『スタート中国語』 白帝社	使用資料 ＜参考図書＞	小学館「中日辞典・日中辞典」
授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。		
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（424湯研究室）		
オフィス・アワー	火曜日 2 限		

授業科目名	中国語 Bクラス			科目コード	G6101L04
英文名	Chinese				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師		担当教員名	銭 輝	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 木曜日		時限	3限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	前期に引き続き、中国語の基礎語法、表現を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、またヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。受講者のみなさんに予習と復習を欠かさず、熱心に勉強してほしい、一年間で基礎的な使える中国語を身に付けることを目指します。				
キーワード	基礎文法	作文	応用練習	身につける	
到達目標	正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせることができる。				
	中国語で自己紹介、日常的に必要な文章が書けることができる。				
	中国人と会話ができる力、異文化理解力を身に付けることができる。				
	目標到達を目指して１．課題完成度（予習、復習、宿題）50%、２．テストの成績50%で評価する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○			○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	第1課～7課の内容の復習		
	【予習】中国語で作文（夏休みのこと・自分の趣味等）		30分
	【復習】習った単語と本文		30分
第2回	第8課 ポイント 事物の量を表す量詞・時量の言い方		
	【予習】新出語句		30分
	【復習】ポイント 量詞と時量の言い方		30分
第3回	第8課 ポイント 過去の経験を表す・介詞・疑問詞		
	【予習】本文を聞く		30分
	【復習】経験を表す・介詞・疑問詞		30分
第4回	第8課 本文を理解・訳す・朗読・練習問題		
	【予習】本文を聞く・訳す		30分
	【復習】第8課 筆記の練習問題		30分
第5回	第9課 新出語句・ポイント		
	【予習】新出語句		30分
	【復習】ポイント の練習		30分
第6回	本文・ポイント		
	【予習】本文を聞く・熟読する		30分
	【復習】本文を覚えるようにする		30分
第7回	本文を理解・訳す・朗読・練習問題		
	【予習】本文を聞く・訳す		30分
	【復習】筆記の練習問題		30分
第8回	第8・9課の内容によりの実践練習		
	【予習】第8・9課の内容		30分
	【復習】グループワークで活動（会話練習）		30分
第9回	第10課 新出語句・ポイント		
	【予習】新出語句を聞く・読む		30分
	【復習】ポイント の練習		30分

第10回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・熟読する	30分
	【復習】本文を覚えよう	30分
第11回	本文を練習・筆記練習問題	
	【予習】本文を訳す・読む練習	30分
	【復習】本文を理解・訳す・朗読・練習問題	30分
第12回	第11課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句を聞く・読む	30分
	【復習】ポイント の練習	30分
第13回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・読む	30分
	【復習】ポイント の練習	30分
第14回	本文を理解・訳す・朗読・練習問題	
	【予習】本文を訳す・読む	30分
	【復習】筆記の練習問題	30分
第15回	第8課～第11課の総合練習・中間テスト	
	【予習】単語・本文練習・練習問題	30分
	【復習】中間テスト	30分
第16回	第12課 お店での言葉使い方	
	【予習】単語と本文の熟読	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第17回	第十二課 お店での言葉使い方	
	【予習】作文練習	30分
	【復習】会話練習	30分
第18回	お金の言い方	
	【予習】買い物に関する単語調べ	30分
	【復習】文法練習	30分

第19回	お誕生日祝い、プレゼントをする	
	【予習】誕生日に関する表現	30分
	【復習】応用練習	30分
第20回	第13課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第21回	本文・ポイント	
	【予習】文型で作文練習	30分
	【復習】会話練習	30分
第22回	ポイント練習・筆記問題練習	
	【予習】作文練習	30分
	【復習】筆記練習問題	30分
第23回	グループで12・13課の内容によって会話練習	
	【予習】会話練習準備	30分
	【復習】会話発表	30分
第24回	第14課 新出語句・ポイント	
	【予習】新出語句を読む・覚える	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第25回	本文・ポイント	
	【予習】本文を聞く・熟読する	30分
	【復習】ポイント の作文練習	30分
第26回	応用練習・練習問題	
	【予習】総合練習	30分
	【復習】筆記問題を練習	30分
第27回	実力試しに 4級問題にチャレンジ	
	【予習】総合練習	30分
	【復習】4級問題にチャレンジ	30分

第28回	中国文化を紹介	
	【予習】中国に興味のあることを調べる	30分
	【復習】感想文を書く	30分
第29回	習った内容で口頭発表準備	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】内容を書く・練習	30分
第30回	口頭発表	
	【予習】口頭発表練習	30分
	【復習】口頭発表	30分
第31回	復習	
	【予習】応用練習	60分
	【復習】テスト勉強	60分
第32回	期末テスト	
	【予習】テスト勉強	
	【復習】応用練習、大まとめ	

評価方法	1．授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2．テストの成績50% 3．ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	應 廣建・湯 麗敏『スタート中国語』 白帝社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。		
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（424湯研究室）		
オフィス・アワー	火曜日 2 限		

授業科目名	韓国語			科目コード	G6101L06
英文名	Korean				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授		担当教員名	高橋 哲郎	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 金曜日		時限	3限目 4限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	韓国語 で学習した内容を復習した後、過去形や仮定形、推量など「韓国語 」では学習できなかった基礎的文法事項を学習する。さらに長文読解や作文文練習を取り入れ、中級学習への方向性も示す。 グループ学習などアクティブラーニングを取り入れる。 オンライン授業（Zoomミーティング）				
キーワード	会話	初級文法	留学案内	韓国文化	
到達目標	基本的な文法事項をマスターする。簡単な会話ができるレベルを目指す。(40%)				
	自己紹介や簡単な会話ができる。(40%)				
	韓国文化について映像を通して理解を深める。(20%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	韓国語 の復習	
	【予習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
	【復習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
第2回	韓国語 の復習（2回目）	
	【予習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
	【復習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
第3回	用言の過去・完了表現	
	【予習】教科書の予習（用言の過去・完了表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の過去・完了表現）	30分
第4回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（用言の過去・完了表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の過去・完了表現）	30分
第5回	用言の意志・推量・婉曲表現	
	【予習】教科書の予習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
第6回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
第7回	「～が好きだ（嫌いだ）」、「～（し）たい」、「～（し）ましょうか」などの表現	
	【予習】教科書の予習（「～が好きだ（嫌いだ）」、「～（し）たい」、「～（し）ましょうか」などの表現）	30分
	【復習】教科書の復習（「～が好きだ（嫌いだ）」、「～（し）たい」、「～（し）ましょうか」などの表現）	30分
第8回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（「～が好きだ（嫌いだ）」、「～（し）たい」、「～（し）ましょうか」などの表現）	30分
	【復習】教科書の復習（「～が好きだ（嫌いだ）」、「～（し）たい」、「～（し）ましょうか」などの表現）	30分
第9回	「～（し）ましょ」、「～（し）ている」などの表現	
	【予習】教科書の予習（「～（し）ましょ」、「～（し）ている」などの表現）	30分
	【復習】教科書の復習（「～（し）ましょ」、「～（し）ている」などの表現）	30分

第10回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（「～（し）ましょう」、「～（し）ている」などの表現）	30分
	【復習】教科書の復習（「～（し）ましょう」、「～（し）ている」などの表現）	30分
第11回	動詞の不可能表現	
	【予習】教科書の予習（動詞の不可能表現）	30分
	【復習】教科書の復習（動詞の不可能表現）	30分
第12回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（動詞の不可能表現）	30分
	【復習】教科書の復習（動詞の不可能表現）	30分
第13回	「～が上手だ」、「～（し）に」、「～に会う」などの表現	
	【予習】教科書の予習（「～が上手だ」、「～（し）に」、「～に会う」などの表現）	30分
	【復習】教科書の復習（「～が上手だ」、「～（し）に」、「～に会う」などの表現）	30分
第14回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（「～が上手だ」、「～（し）に」、「～に会う」などの表現）	30分
	【復習】中間試験対策の勉強。 教科書の復習。	30分
第15回	中間試験	
	【予習】中間試験対策の勉強。 教科書の復習。	120分
	【復習】試験でわからなかった問題の解答を教科書で確認する。	30分
第16回	用言の並列・先行・様態表現	
	【予習】教科書の予習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
第17回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
第18回	用言の逆説表現、仮定表現	
	【予習】教科書の予習（用言の逆説表現、仮定表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の逆説表現、仮定表現）	30分

第19回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（用言の逆説表現、仮定表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の逆説表現、仮定表現）	30分
第20回	ㄹ語幹用言、ㄹ変則用言	
	【予習】教科書の予習（ㄹ語幹用言、ㄹ変則用言）	30分
	【復習】教科書の復習（ㄹ語幹用言、ㄹ変則用言）	30分
第21回	前回の文法事項等の練習問題	
	【予習】教科書の予習（ㄹ語幹用言、ㄹ変則用言）	30分
	【復習】教科書の復習（ㄹ語幹用言、ㄹ変則用言）	30分
第22回	韓国語長文読解（１）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語長文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語長文）	30分
第23回	韓国語長文読解（２）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語長文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語長文）	30分
第24回	韓国語長文読解（３）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語長文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語長文）	30分
第25回	韓国語作文練習（１）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語作文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語作文）	30分
第26回	韓国語作文練習（２）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語作文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語作文）	30分
第27回	韓国語作文練習（３）	
	【予習】配布資料の予習（韓国語作文）	30分
	【復習】配布資料の復習（韓国語作文）	30分

第28回	総復習（１）	
	【予習】教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
	【復習】教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
第29回	総復習（２）	
	【予習】教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
	【復習】教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
第30回	総復習（３）	
	【予習】教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
	【復習】期末試験対策の勉強。 教科書、配布資料の復習（後期学習範囲）	30分
第31回	期末試験	
	【予習】期末試験対策	180分
	【復習】期末試験でわからなかった問題の解答を教科書で確認する。	30分
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	中間試験及び期末試験(50%)、小テスト・受講意欲(50%)により評価する。		
使用資料 <テキスト>	金順玉・阪堂千津子『最新チャレンジ韓国語』白水社	使用資料 <参考図書>	講義中に随時紹介する。
授業外学修等	出席は毎回とる。3分の1以上欠席した者は単位を取得できない。 自宅での予習・復習が肝要である。		
授業外質問方法	オフィス・アワーの他、随時応じる。		
オフィス・アワー	木曜日、1時限、130研究室		

授業科目名	ロシア語			科目コード	G6101L08
英文名	Russian II				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	ロシア語Ⅰの続きとなる。週2回という制約で、基本的なことを繰り返すことによって、ロシア語の語彙を増やし、基本的な会話表現、文法などを学ぶ。ロシア社会や文化の初歩的な知識も学ぶ。				
キーワード	Reading	Writing	Listening	Speaking	Vocabulary
到達目標	基本的なロシア語の文章を音読できる。				
	ロシア語の基本的な文章の構造を理解でき、基本的な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。				
	挨拶などの実用的な表現を覚え、ロシア語で簡単な挨拶、自己紹介などができる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ロシア語 I の復習。	
	【予習】第5課を聴きながら、練習する	30分
	【復習】疑問文・疑問詞の復習。	30分
第2回	第5課。ユーラとお母さんのニーナが話しています。	
	【予習】代名詞	30分
	【復習】第5課を覚えよう。	30分
第3回	人称代名詞および疑問代名詞 к т о の対格。	
	【予習】動詞の変化についての知識を身につける。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第4回	不定詞。不定詞の用法。	
	【予習】第6課を読む。	30分
	【復習】不規則動詞 х о т е т ь	30分
第5回	第6課。文夫がサモワールについてたずねています。	
	【予習】生格	30分
	【復習】第6課を覚えよう。	30分
第6回	生格。ロシア語を使い、話してみよう。タスク中心活動。	
	【予習】対格の練習	30分
	【復習】第6課からの表現を覚えよう。	30分
第7回	対格。ロシア語を使い、話してみよう。タスク中心活動。	
	【予習】前置格の練習	30分
	【復習】第6課からの表現を覚えよう。	30分
第8回	前置格。ロシア語を使い、話してみよう。	
	【予習】与格と造格の練習	30分
	【復習】第6課からの表現を覚えよう。	30分
第9回	与格・造格。応用練習・グループワーク。	
	【予習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
	【復習】与格、造格	30分

第10回	第7課。文夫と美紀の多忙な毎日。	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】生格・与格・対格・造格・前置格の練習	30分
第11回	第7課。文夫と美紀の多忙な毎日の練習（１）	
	【予習】疑問文の練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	第7課。文夫と美紀の多忙な毎日の練習（２）	
	【予習】単語と本文動詞の過去形	30分
	【復習】単語と本文	30分
第13回	с я 動詞。動詞の過去形（１）単語と本文	
	【予習】形容詞の変化。形容詞の短語尾形の予習	30分
	【復習】応用練習	30分
第14回	動詞の過去形（２）形容詞の変化。形容詞の短語尾形	
	【予習】動詞の過去形	30分
	【復習】第5課～第7課の復習	30分
第15回	動詞の過去形（３）	
	【予習】疑問文の作り方。	30分
	【復習】第5課～第7課の復習	30分
第16回	疑問文の作り方。過去形の疑問文。	
	【予習】第8課を読む	30分
	【復習】疑問文の練習	30分
第17回	第8課。ニーナとイーゴリの夫婦が話しています。	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】単語と本文	30分
第18回	第8課。ニーナとイーゴリの夫婦が話していますの練習（１）	
	【予習】疑問詞	30分
	【復習】単語と本文	30分

第19回	第8課。ニーナとイーゴリの夫婦が話していますの練習（ 2 ）	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】単語と本文、会話練習	30分
第20回	動詞の変化の知識を深めよう。第 1 変化動詞と第 2 変化動詞。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】単語と本文	30分
第21回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】単語と本文	30分
第22回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】セリフを読む練習	30分
第23回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】セリフを読む練習	30分
第24回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】セリフを読む練習	30分
第25回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】アニメのセリフを読む。	30分
	【復習】単語と本文	30分
第26回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第27回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】アニメのセリフを読む。	30分
	【復習】セリフを読む練習	30分

第28回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第29回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】アニメのセリフを読む。	30分
	【復習】実用的な表現を覚える。	30分
第30回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚える。	30分
第31回	アニメの内容・実用的な表現の復習。コースまとめ。	
	【予習】単語と本文を覚えるようにする	30分
	【復習】アニメの内容・実用的な表現の復習	30分
第32回	期末テスト	
	【予習】テスト勉強	30分
	【復習】テストまとめ	30分

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(30%) 到達目標 2 については、課題(30%)、期末筆記テスト(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末筆記テストで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%		
使用資料 ＜テキスト＞	古賀義顕・鴻野わか菜 『ロシア語の教科書』（ナウカ出版）	使用資料 ＜参考図書＞	佐藤純一 『NHK新ロシア語入門』（NHK出版）
授業外学修等	ロシアへ交換留学に行くことを高く評価します。		
授業外質問方法	426研究室に相談に来てください		
オフィス・アワー	月曜日1時限		

授業科目名	フランス語			科目コード	G6101L10
英文名	French				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	フランス語 で学習した内容を踏まえながら、さらに複雑なフランス語の表現を学習します。具体的には、未来や過去など、現在以外のことを語る表現について学びます。また、映像によってパリの各所を訪問してその魅力を探るとともに、フランスの代表的な歌（シャンソン）も学びます。				
キーワード	初級文法	初級会話	パリ	シャンソン	
到達目標	基本的なフランス語の文章を音読できる。				
	フランス語の基本的な文章の構造を理解でき、基本的な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。				
	フランスの首都パリの特色（観光名所、歴史的建築物など）を学び、他者に説明することができる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。		
	【予習】		
	【復習】動詞の活用について復習しておく。		30分
第2回	前期の復習 前期で学んだ事項について復習します。		
	【予習】		
	【復習】基本数詞について復習しておく。		30分
第3回	会話「この絵は美術館に来たばかりです」 近接過去venir de について。		
	【予習】		
	【復習】近接過去の表現についての復習。		30分
第4回	会話「それを訳してみよう」 近接未来aller について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】近接未来の表現についての復習。		30分
第5回	補語人称代名詞 「私を（私に）」「あなたを（あなたに）」「彼を（彼に）」などの表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】補語人称代名詞の用法についての復習。		30分
第6回	会話「座りましょう」 代名動詞の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】代名動詞の活用を暗唱し、書けるようにしておく。		30分
第7回	会話「あそこに小さな休憩室があります。」 様々な非人称表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】様々な非人称表現の復習。		30分

第8回	補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現 補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての演習で理解を深めます。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】補語人称代名詞、代名動詞、非人称表現についての復習。	30分
第9回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 過去のことを表す。複合過去形。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】過去分詞の作り方の復習。	30分
第10回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第11回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 様々な複合過去の表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】複合過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第12回	会話「監視人は何と言ったのですか？」 非人称表現（天候、時刻）。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】非人称表現（天候、時刻）の復習。	30分
第13回	「誰かがドアをノックしている」 主語代名詞onの用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】主語代名詞onの用法についての復習。	30分
第14回	「このバッグはあれよりも高い」 比較級、最上級表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】比較級、最上級表現についての復習。	30分

第15回	まとめ。これまでの授業の復習。 特殊な形の比較級・最上級。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】特殊な形の比較級・最上級についての復習。	30分
第16回	中間試験	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	会話「ここが最後の会場、ヨーロッパ絵画の会場です」 前出の名詞を受ける指示代名詞の用法。	
	【予習】	
	【復習】指示代名詞についての復習。	30分
第18回	会話「それは知りませんでした」 直説法半過去形の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】直説法半過去形の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第19回	会話「私たちはそれを誇りに思います」 中性代名詞en, y, leの用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】中性代名詞en, y, leの用法についての復習。	30分
第20回	フランス文化紹介「印象派絵画」 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】「印象派絵画」の作者名、作品名についての復習。	30分
第21回	会話「コーヒーを飲みませんか？」 提案・勧誘表現Si + 直説法半過去？	
	【予習】	
	【復習】提案・勧誘表現についての復習。	30分
第22回	会話「来た時には私たちに知らせてくださいね」 直説法単純未来の用法。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】直説法単純未来の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第23回	会話「私はコーヒーにしたいのですが」 条件法現在の用法。語気緩和。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第24回	会話「あなたがいなければ、今回の訪問はさほど楽しくなかったでしょう」 条件法現在の用法。事実を反する仮定。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】条件法現在の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第25回	様々な動詞の活用の復習 直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての演習問題。	
	【予習】	
	【復習】直説法半過去、直説法単純未来、条件法現在についての復習。	30分
第26回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	
	【復習】シャンソン(1)の歌詞を読めるように復習する。	30分
第27回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	
	【復習】シャンソン(1)の歌詞の日本語訳を考える。	30分
第28回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	
	【復習】シャンソン(2)の歌詞を読めるように復習する。	30分
第29回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	
	【復習】シャンソン(2)の歌詞の日本語訳を考える。	30分
第30回	フランス文化紹介（フランス語で歌いましょう） フランスの有名なシャンソン(1)・(2)を紹介します。できれば一緒に歌いましょう。	
	【予習】	
	【復習】	

第31回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(20%) 到達目標 2 については、毎回の小テスト(40%)、期末筆記テスト(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末筆記テストで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%		
使用資料 ＜テキスト＞	田村弘行『フランス語で＜ようこそ＞』三修社。	使用資料 ＜参考図書＞	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。		
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。		
オフィス・アワー	月曜日 3 限、324研究室		

授業科目名	Intensive English			科目コード	G6101L12
英文名	Intensive English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	This class focuses on the four skills of English with an emphasis on cultivating academic English skills for university work and study abroad. Through reading, discussion, and short writing assignments, students will gain confidence in using English while increading their fluency. Students will compile what they have learned into a major fieldwork project about how to convey local culture in English to international visitors.				
キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Discussion
到達目標	1 Improve listening, speaking, reading, and writing skills.				
	2 Gain confidence in English conversation and discussion.				
	3 Develop English presentation skills using visual aids.				
	4 Become an " international person " with flexible communication skills.				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力		教育支援力
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction; rules and policies. Introduce project on making a map of specialized attractions/businesses/restaurants in Toyama for foreign residents.	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	How to make a questionnaire (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第3回	How to make a questionnaire (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第4回	Practicing the questionnaire	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第5回	Carrying out the questionnaire (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第6回	Carrying out the questionnaire (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第7回	Questionnaire results: how to read and compile	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第8回	Questionnaire results: analysis and planning the next step	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第9回	Deciding the scope of the English map	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第10回	Research on restaurants/shops included in the map (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第11回	Research on restaurants/shops included in the map (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第12回	Making shop profiles (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第13回	Making shop profiles (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第14回	Fieldwork: basics of interviewing (1)	
	【予習】 Practice for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Bring any questions or concerns about the presentation to the next class	30分
第15回	Fieldwork: basics of interviewing (2)	
	【予習】 Practice for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Evaluate presentation result: how could it be improved?	30分
第16回	Fieldwork: into the field, with classroom support (1)	
	【予習】 Prepare for exam using class notes and materials from the teacher	60分
	【復習】 Reflect on the term: write a self-evaluation	30分
第17回	Fieldwork: into the field, with classroom support (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第18回	Fieldwork: into the field, with classroom support (3)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第19回	Fieldwork: into the field, with classroom support (4)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第20回	Exchanging and confirming interview information	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第21回	Follow-up interview research	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第22回	Basic concepts of map making (maps as communicative tools in English) (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第23回	Basic concepts of map making (maps as communicative tools in English) (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第24回	Making the map (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第25回	Making the map (2): evaluations and discussion	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第26回	Making reports and setting up the blog	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第27回	Working with Instagram and YouTube in English	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第28回	Prepare for map publication and presentation (1)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第29回	Prepare for map publication and presentation (2)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Pre-write: review and summary of the semester	30分
第30回	Map publication (paper/site/app etc.)	
	【予習】 Prepare for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Bring any questions or concerns about the presentation to the next class	30分
第31回	Community presentation: a presentation about the map project in English, open to the public	
	【予習】 Prepare for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Evaluate presentation result: how could it be improved?	30分
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Project participation and result 60% Homework and other activities 20% Final presentation 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日 1限目 Wednesday first period		

授業科目名	英語 Aクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	渡部 恵子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1: Occupations pages 10-15	
	【予習】 Read pages 10-15, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1: Occupations pages 16-19	
	【予習】 Read pages 16-19, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 : At the Dinner Table pages 20-25	
	【予習】 Read pages 20-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 : At the Dinner Table pages 26-29	
	【予習】 Read pages 26-29, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Unit 3: Sports Pages 30-35	
	【予習】 Read pages 30-35, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 : Sports Pages 36-39 and do the assigned exercises	
	【予習】 Read pages 36-39, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 4: Health pages 40-43	
	【予習】 Read pages 40-43, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Unit 4: Health	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Changing a Traditional Way of Life (Reading skill: Identifying cause and result) pages 50-56	
	【予習】 Read pages 50-56, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Changing the Future pages 57-64	
	【予習】 Read pages 57-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: Skyscrapers (Reading skill: Identifying examples) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: The Growth of Cities pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Bクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	David Coolidge		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: An Early Brain Map (Reading skill: Previewing) pages 3-8	
	【予習】 Read pages 3-8, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Brain Mapping Today pages 9-16	
	【予習】 Read pages 9-16, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: What Time Is It? (Reading skill: Pronoun reference) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Time Zones pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: Harmful and Helpful Bacteria (Reading skill: Identifying definitions) Pages 34-40 and do the assigned excercises	
	【予習】 Read pages 34-40, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: Fighting Bacteria pages 41-48	
	【予習】 Read pages 41-48, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Changing a Traditional Way of Life (Reading skill: Identifying cause and result) pages 50-56	
	【予習】 Read pages 50-56, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Changing the Future pages 57-64	
	【予習】 Read pages 57-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: Skyscrapers (Reading skill: Identifying examples) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: The Growth of Cities pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email: crashae86@gmail.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Cクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	堀川　真理子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: An Early Brain Map (Reading skill: Previewing) pages 3-8	
	【予習】 Read pages 3-8, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Brain Mapping Today pages 9-16	
	【予習】 Read pages 9-16, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: What Time Is It? (Reading skill: Pronoun reference) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Time Zones pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: Harmful and Helpful Bacteria (Reading skill: Identifying definitions) Pages 34-40 and do the assigned excercises	
	【予習】 Read pages 34-40, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: Fighting Bacteria pages 41-48	
	【予習】 Read pages 41-48, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Changing a Traditional Way of Life (Reading skill: Identifying cause and result) pages 50-56	
	【予習】 Read pages 50-56, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Changing the Future pages 57-64	
	【予習】 Read pages 57-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: Skyscrapers (Reading skill: Identifying examples) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: The Growth of Cities pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語 Dクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	: Increase confidence when reading and speaking in English.				
	: Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: The History of Bicycles (Reading skill: Previewing) pages 3-9	
	【予習】 Read pages 3-9, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Segway Into the Future pages 10-16	
	【予習】 Read pages 10-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: The Battle Against Malaria (Reading skill: Finding the main idea) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Searching for New Medicines pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2.	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: They Know What You Want (Reading skill: Scanning) pages 34-41	
	【予習】 Read pages 34-41, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: What 's in a Name? pages 42-48	
	【予習】 Read pages 42-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Who Are You? (Reading skill: Identifying examples) pages 50-57	
	【予習】 Read pages 50-57, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Symbolic Clothing pages 58-64	
	【予習】 Read pages 58-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: What is Success? (Reading skill: Identifying definitions) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: I Love Me pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Eクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師		担当教員名	Jared Winans	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	木曜日		時限	4限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: The History of Bicycles (Reading skill: Previewing) pages 3-9	
	【予習】 Read pages 3-9, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Segway Into the Future pages 10-16	
	【予習】 Read pages 10-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: The Battle Against Malaria (Reading skill: Finding the main idea) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Searching for New Medicines pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2.	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: They Know What You Want (Reading skill: Scanning) pages 34-41	
	【予習】 Read pages 34-41, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: What 's in a Name? pages 42-48	
	【予習】 Read pages 42-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Who Are You? (Reading skill: Identifying examples) pages 50-57	
	【予習】 Read pages 50-57, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Symbolic Clothing pages 58-64	
	【予習】 Read pages 58-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: What is Success? (Reading skill: Identifying definitions) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: I Love Me pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Fクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: The History of Bicycles (Reading skill: Previewing) pages 3-9	
	【予習】 Read pages 3-9, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Segway Into the Future pages 10-16	
	【予習】 Read pages 10-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: The Battle Against Malaria (Reading skill: Finding the main idea) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Searching for New Medicines pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2.	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: They Know What You Want (Reading skill: Scanning) pages 34-41	
	【予習】 Read pages 34-41, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: What 's in a Name? pages 42-48	
	【予習】 Read pages 42-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Who Are You? (Reading skill: Identifying examples) pages 50-57	
	【予習】 Read pages 50-57, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Symbolic Clothing pages 58-64	
	【予習】 Read pages 58-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: What is Success? (Reading skill: Identifying definitions) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: I Love Me pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語　Gクラス			科目コード	G6101P01
英文名	English I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	Kerrie Gray		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.				
キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
到達目標	： Improve reading, writing, speaking, and listening skills.				
	： Increase confidence when reading and speaking in English.				
	： Develop academic English language skills for university and career success.				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			/	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: The History of Bicycles (Reading skill: Previewing) pages 3-9	
	【予習】 Read pages 3-9, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Segway Into the Future pages 10-16	
	【予習】 Read pages 10-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: The Battle Against Malaria (Reading skill: Finding the main idea) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Searching for New Medicines pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2.	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: They Know What You Want (Reading skill: Scanning) pages 34-41	
	【予習】 Read pages 34-41, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: What 's in a Name? pages 42-48	
	【予習】 Read pages 42-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Who Are You? (Reading skill: Identifying examples) pages 50-57	
	【予習】 Read pages 50-57, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Symbolic Clothing pages 58-64	
	【予習】 Read pages 58-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: What is Success? (Reading skill: Identifying definitions) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: I Love Me pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	中国語 Aクラス			科目コード	G6101P03
英文名	Chinese I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	湯 麗敏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	中国語の初歩的な発音と声調から始め、基礎文法を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、ヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。中国文化も授業の中の一貫として行います。一年間で基礎的な中国語を応用できる力を身に付けること、異文化理解ができるようになることを目指します。				
キーワード	発音	文法	会話	応用練習	身につける
到達目標	中国語のピンインに基づいて、正しく発音ができること。				
	基礎文法を正しく応用ができること。聞いてわかるようになり、簡単な日常会話ができることを目指す。				
	中国文化が知った上での異文化理解ができること。				
	目標到達を目指して 1．課題完成度（予習、復習、宿題）50%、 2．テストの成績50%で評価する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国語について 発音編 声調・単母音 挨拶言葉	
	【予習】CDを聴きながら、声調と母音を練習する	30分
	【復習】声調と母音を覚えるようにする・挨拶言葉の応用練習	30分
第2回	発音編 複母音・挨拶言葉	
	【予習】複母音の練習	30分
	【復習】挨拶言を覚え、単母音・複母音が書けるようにする	30分
第3回	発音編 子音 挨拶言葉	
	【予習】母音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、子音が書けるようにする	30分
第4回	第4課 鼻母音 挨拶言葉	
	【予習】母音・複母音・鼻母音を聞く	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、母音・子音が書けるようにする	30分
第5回	発音ルール 発音総合練習 発音段階のテスト	
	【予習】発音ルールを身につける・漢詩を聞く	30分
	【復習】発音ができ、ピンインが書けるようにする	30分
第6回	第1課 断定文「～是～」の使い方、人称代名詞	
	【予習】CDを聴きながら、読む練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第7回	場所を表す代名詞、疑問詞を使った疑問文	
	【予習】代名詞、疑問詞の使い方	30分
	【復習】第1課 ポイント	30分
第8回	第1課 本文と単語	
	【予習】第1課 練習問題	30分
	【復習】本文と練習問題	30分
第9回	第2課の本文と単語	
	【予習】第2課の本文と単語	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分

第10回	文法： 形容詞述語文、動詞述語文	
	【予習】助詞「的」の使い方、疑問文	30分
	【復習】介詞「在」の使い方、数詞、有の使い方	30分
第11回	本文と単語、ポイント部分	
	【予習】会話練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	年齢の尋ね方、十二干支の表現	
	【予習】第3課 ポイント の内容	30分
	【復習】ポイントにある作文練習	30分
第13回	第3課 接続詞の「和」、省略疑問文の表現	
	【予習】年月日の表現、文法と会話	30分
	【復習】名詞述語文と練習	30分
第14回	本文、会話、練習	
	【予習】第3課の単語、本文、文法	30分
	【復習】第3課のポイントと練習部分	30分
第15回	第4課 本文と単語	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】練習問題	30分
第16回	形容詞の連体修飾表現、方位詞	
	【予習】第4課のポイント の内容	60分
	【復習】第4課の文法、会話	60分
第17回	「有」存在の表現、動詞「去」を使った連動文	
	【予習】第4課の練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第18回	中間テストための勉強	
	【予習】第1課、第2課、第3課、第4課の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分

第19回	中間テストの実施	
	【予習】テスト準備	30分
	【復習】テスト点検	30分
第20回	第5課 本文と単語	
	【予習】単語、本文、会話、文法	30分
	【復習】ポイント の内容	30分
第21回	第5課 曜日の表現、助詞「了」の使い方	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】第5課 本文と単語を覚えるようにする	30分
第22回	第5課 会話と応用練習	
	【予習】仮定の表現、月日の表現	30分
	【復習】練習問題	30分
第23回	第6課の単語と本文	
	【予習】依頼の表現、選択疑問文の使い方	30分
	【復習】第6課の文法と単語	30分
第24回	授受の表現、感嘆の表現	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】作文と会話	30分
第25回	「太...了」の表現、数量詞の使い方	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】練習問題	30分
第26回	中国の文化について	
	【予習】各自に調べてもらう	30分
	【復習】プレゼンができるように準備する	30分
第27回	第7課 単語と本文	
	【予習】単語と本文を読めるようにする	30分
	【復習】構文を使って作文ができるように	30分

第28回	第7課 ポイント の内容	
	【予習】会話練習（第7課）	30分
	【復習】作文練習（第7課）	30分
第29回	動詞「喜欢」 副詞「有时」の使い方	
	【予習】第7課の本文と会話	30分
	【復習】練習問題	30分
第30回	助動詞「想」、「既～又」の使い方	
	【予習】第7課のポイント の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分
第31回	期末テスト前の復習	
	【予習】第5課、第6課、第7課を中心に	60分
	【復習】テスト範囲	60分
第32回	期末テスト	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1．授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ））、課題完成度（予習、復習、宿題）50％ 2．テストの成績50％ 3．ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って、評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	應廣建・湯麗敏著 「スタート中国語」 白帝社	使用資料 ＜参考図書＞	小学館「中日辞典・日中辞典」
授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」 にしましょう。		
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（湯研究室424研究室）		
オフィス・アワー	火曜日2限		

授業科目名	中国語 Bクラス			科目コード	G6101P03
英文名	Chinese I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	非常勤講師		担当教員名	銭 輝	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 木曜日		時限	3限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	中国語の初歩的な発音と声調から始め、基礎文法を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、ヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。中国文化も授業の中の一貫として行います。一年間で基礎的な中国語を応用できる力を身に付けること、異文化理解ができるようになることを目指します。				
キーワード	発音	文法	会話	応用練習	身につける
到達目標	中国語のピンインに基づいて、正しく発音ができること。				
	基礎文法を正しく応用ができること。聞いてわかるようになり、簡単な日常会話ができることを目指す。				
	中国文化が知った上での異文化理解ができること。				
	目標到達を目指して 1．課題完成度（予習、復習、宿題）50%、 2．テストの成績50%で評価する。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国語について 発音編 声調・単母音 挨拶言葉	
	【予習】CDを聴きながら、声調と母音を練習する	30分
	【復習】声調と母音を覚えるようにする・挨拶言葉の応用練習	30分
第2回	発音編 複母音・挨拶言葉	
	【予習】複母音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、単母音・複母音が書けるようにする	30分
第3回	発音編 子音 挨拶言葉	
	【予習】母音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、子音が書けるようにする	30分
第4回	第4課 鼻母音 挨拶言葉	
	【予習】母音・複母音・鼻母音を聞く	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、母音・子音が書けるようにする	30分
第5回	発音ルール 発音総合練習 発音段階のテスト	
	【予習】発音ルールを身につける・漢詩を聞く	30分
	【復習】発音ができ、ピンインが書けるようにする	30分
第6回	第1課 断定文「～是～」の使い方、人称代名詞	
	【予習】CDを聴きながら、読む練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第7回	場所を表す代名詞、疑問詞を使った疑問文	
	【予習】代名詞、疑問詞の使い方	30分
	【復習】第1課 ポイント	30分
第8回	第1課 本文と単語	
	【予習】第1課 練習問題	30分
	【復習】本文と練習問題	30分
第9回	第2課の本文と単語	
	【予習】第2課の本文と単語	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分

第10回	文法： 形容詞述語文、動詞述語文	
	【予習】助詞「的」の使い方、疑問文	30分
	【復習】介詞「在」の使い方、数詞、有の使い方	30分
第11回	本文と単語、ポイント部分	
	【予習】会話練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	年齢の尋ね方、十二干支の表現	
	【予習】第3課 ポイント の内容	30分
	【復習】ポイントにある作文練習	30分
第13回	第3課 接続詞の「和」、省略疑問文の表現	
	【予習】年月日の表現、文法と会話	30分
	【復習】名詞述語文と練習	30分
第14回	本文、会話、練習	
	【予習】第3課の単語、本文、文法	30分
	【復習】第3課のポイントと練習部分	30分
第15回	第4課 本文と単語	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】練習問題	30分
第16回	形容詞の連体修飾表現、方位詞	
	【予習】第4課のポイント の内容	60分
	【復習】第4課の文法、会話	60分
第17回	「有」存在の表現、動詞「去」を使った連動文	
	【予習】第4課の練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第18回	中間テストための勉強	
	【予習】第1課、第2課、第3課、第4課の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分

第19回	中間テストの実施	
	【予習】テスト準備	30分
	【復習】テスト点検	30分
第20回	第5課 本文と単語	
	【予習】単語、本文、会話、文法	30分
	【復習】ポイント の内容	30分
第21回	第5課 曜日の表現、助詞「了」の使い方	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】第5課 本文と単語を覚えるようにする	30分
第22回	第5課 会話と応用練習	
	【予習】仮定の表現、月日の表現	30分
	【復習】練習問題	30分
第23回	第6課の単語と本文	
	【予習】依頼の表現、選択疑問文の使い方	30分
	【復習】第6課の文法と単語	30分
第24回	授受の表現、感嘆の表現	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】作文と会話	30分
第25回	「太...了」の表現、数量詞の使い方	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】練習問題	30分
第26回	中国の文化について	
	【予習】各自に調べてもらう	30分
	【復習】プレゼンができるように準備する	30分
第27回	第7課 単語と本文	
	【予習】単語と本文を読めるようにする	30分
	【復習】構文を使って作文ができるように	30分

第28回	第7課 ポイント の内容	
	【予習】会話練習（第7課）	30分
	【復習】作文練習（第7課）	30分
第29回	動詞「喜欢」、副詞「有时」の使い方	
	【予習】第7課の本文と会話	30分
	【復習】練習問題	30分
第30回	助動詞「想」、「既～又」の使い方	
	【予習】第7課のポイント の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分
第31回	期末テスト前の復習	
	【予習】第5課、第6課、第7課を中心に	60分
	【復習】テスト範囲	60分
第32回	期末テスト	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1．授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2．テストの成績50% 3．ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って、評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	應廣建・湯麗敏著 「スタート中国語」 白帝社	使用資料 ＜参考図書＞	小学館「中日辞典・日中辞典」
授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。		
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（湯研究室424研究室）		
オフィス・アワー	火曜日2限		

授業科目名	韓国語			科目コード	G6101P05
英文名	Korean				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	韓国語の初歩を学習する。ハングルと発音の習得をめざす。 最初に韓国語で使用される文字、ハングルを学習する。 続いて、会話練習を織り込みながら初級文法の習得を目指す。				
キーワード	ハングル（文字）	発音	初級文法		
到達目標	ハングルの仕組みを覚え、読み書きでき、簡単な自己紹介ができるレベルを目指す。(70%)				
	初級文法の習得とともに、韓国文化への知識を広げることを目指す。(30%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	韓国語学習方法の説明。成績評価方法について。 ハングルの仕組みおよび文章構造。母音の学習。		
	【予習】シラバスを読んで、疑問点がないか確認する。		10分
	【復習】ハングルの復習問題仕組みを復習する。		30分
第2回	母音（１）基本母音10個の学習		
	【予習】基本母音を覚える。		30分
	【復習】基本母音を覚える。		30分
第3回	子音（１）ㄱ, ㄷ, ㅂ		
	【予習】母音と子音の「組み合わせ」方法を予習する。		30分
	【復習】子音（１）ㄱ, ㄷ, ㅂを母音と組み合わせで復習する。		30分
第4回	子音（２）ㄴ, ㅌ, ㅋ		
	【予習】母音と子音の「組み合わせ」方法を予習する。		30分
	【復習】子音（２）ㄴ, ㅌ, ㅋを母音と組み合わせで復習する。		30分
第5回	子音（３）ㄷ, ㄹ, ㄱ, ㅇ		
	【予習】母音と子音の「組み合わせ」方法を予習する。		30分
	【復習】子音（３）ㄷ, ㄹ, ㄱ, ㅇを母音と組み合わせで復習する。		30分
第6回	子音（４）激音と濃音		
	【予習】これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分
	【復習】子音の激音と濃音を教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分
第7回	母音（２）複合母音の学習		
	【予習】これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分
	【復習】複合母音を教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。 これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分
第8回	終声（パッチム）		
	【予習】これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分
	【復習】終声（パッチム）を教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。 これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。		30分

第9回	終声（バッチム）	
	【予習】これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。	30分
	【復習】終声（バッチム）を教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。 これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。	30分
第10回	単語の調べ方および日本語のハングル表記方法	
	【予習】これまで学習した韓国語の発音を、教科書付属のＣＤで発声しながら覚える。	30分
	【復習】自分の名前をハングルで書いてみる。	30分
第11回	会話と文法（１）～です。～ですか？	
	【予習】自分の名前をハングルで書いてみる。 教科書の予習（会話と文法（１）～です。～ですか？）	30分
	【復習】教科書の復習（会話と文法（１）～です。～ですか？）	30分
第12回	会話と文法（２）～ではありません。～ではありませんか？	
	【予習】教科書の予習（会話と文法（２）～ではありません。～ではありませんか？）	30分
	【復習】教科書の復習（会話と文法（２）～ではありません。～ではありませんか？）	30分
第13回	会話と文法（３）動詞＋ます（か？）、形容詞＋です（か？）	
	【予習】教科書の予習（会話と文法（３）動詞＋ます（か？）、形容詞＋です（か？））	30分
	【復習】教科書の復習（会話と文法（３）動詞＋ます（か？）、形容詞＋です（か？））	30分
第14回	まとめ（１）	
	【予習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
	【復習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
第15回	まとめ（２）	
	【予習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
	【復習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
第16回	中間試験	
	【予習】これまでの学習範囲の総復習。 試験勉強。	60分
	【復習】試験でわからなかった問題の解答を教科書で確認する。	30分
第17回	中間試験結果の返却。解答。 ハングルの復習問題	
	【予習】教科書の予習（これまでの学習範囲）	30分
	【復習】教科書の復習（これまでの学習範囲）	30分

第18回	文法の復習	
	【予習】教科書の予習（これまでの学習範囲）	30分
	【復習】教科書の復習（これまでの学習範囲）	30分
第19回	数詞のまとめ	
	【予習】教科書の予習（数詞のまとめ）	30分
	【復習】教科書の復習（数詞のまとめ）	30分
第20回	助詞のまとめ	
	【予習】教科書の予習（助詞のまとめ）	30分
	【復習】教科書の復習（助詞のまとめ）	30分
第21回	用言の否定表現	
	【予習】教科書の予習（用言の否定表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の否定表現）	30分
第22回	用言の過去・完了表現	
	【予習】教科書の予習（用言の過去・完了表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の過去・完了表現）	30分
第23回	用言の意志・推量・婉曲表現	
	【予習】教科書の予習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の意志・推量・婉曲表現）	30分
第24回	動詞の不可能表現	
	【予習】教科書の予習（動詞の不可能表現）	30分
	【復習】教科書の復習（動詞の不可能表現）	30分
第25回	用言の並列・先行・様態表現	
	【予習】教科書の予習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の並列・先行・様態表現）	30分
第26回	用言の逆接表現	
	【予習】教科書の予習（用言の逆接表現）	30分
	【復習】教科書の復習（用言の逆接表現）	30分

第27回	動詞の不可能表現	
	【予習】教科書の予習（動詞の不可能表現）	30分
	【復習】教科書の復習（動詞の不可能表現）	30分
第28回	敬語表現	
	【予習】教科書の予習（敬語表現）	30分
	【復習】教科書の復習（敬語表現）	30分
第29回	尊敬表現	
	【予習】教科書の予習（尊敬表現）	30分
	【復習】教科書の復習（尊敬表現）	30分
第30回	まとめ。期末試験の概要と範囲の説明	
	【予習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
	【復習】これまでの学習範囲で理解できなかったところ、発音が難しいところを確認する。	30分
第31回	期末試験	
	【予習】試験範囲の総復習。 試験勉強。	180分
	【復習】期末試験でわからなかった問題の解答を教科書で確認する。	30分
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	中間試験および期末試験(50%)、小テスト・受講意欲(50%)により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：80%、社会性20%		
使用資料 <テキスト>	金順玉・阪堂千津子『最新チャレンジ韓国語』白水社	使用資料 <参考図書>	講義中に随時紹介する。
授業外学修等	出席は毎回とる。3分の1以上欠席した者は単位を取得できない。 自宅での予習・復習が肝要である。		
授業外質問方法	オフィス・アワーの他、随時応じる。		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限、130研究室		

授業科目名	ロシア語			科目コード	G6101P07
英文名	Russian I				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	ロシア語を初めて学ぶ学生を対象に、やさしく、楽しい授業を展開する。週2回という制約で、基本的なことを繰り返すことによって、ロシア語の文字、発音、基本的な会話表現、文法を学ぶ。個別単語よりも実用的な表現を覚えることを優先する。ロシア社会の初歩的な知識も学ぶ。				
キーワード	Reading	Writing	Listening	Speaking	Vocabulary
到達目標	ロシア語の単語を音読できる。				
	ロシア語のアルファベット33文字を覚え、簡単な文を書くことができる。				
	基本的な挨拶などの実用的な表現を覚え、使うことができる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ロシア語について 発音（１）	
	【予習】発音を練習する	30分
	【復習】文字の発音を覚えるようにする	30分
第2回	発音（２） 挨拶言葉	
	【予習】発音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、文字が書けるようにする	30分
第3回	発音（３） 挨拶言葉	
	【予習】発音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、文字が書けるようにする	30分
第4回	発音（４）発音のルール 発音総合練習	
	【予習】発音を身につける	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、文字が書けるようにする	30分
第5回	発音総合練習	
	【予習】母音、子音正しく発音ができるようにする	30分
	【復習】発音ができ、文字が書けるようにする	30分
第6回	第1課。大学の中を案内しています。	
	【予習】発音	30分
	【復習】発音、挨拶言葉	30分
第7回	AはBです。「...はどこですか」の表現。	
	【予習】第1課を聴き、読む練習	30分
	【復習】発音、挨拶言葉	30分
第8回	人名のしくみ。名前のたずねかたと答えかた。	
	【予習】自己紹介準備	30分
	【復習】自己紹介の発表練習	30分
第9回	応用練習・グループワーク	
	【予習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
	【復習】自己紹介の発表練習	30分

第10回	名詞の性。形容詞の性。	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第11回	疑問詞（１）	
	【予習】疑問文の練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	疑問詞（２）	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】疑問詞（１）	30分
第13回	名詞の複数形。名詞類の格。	
	【予習】第2課の予習。	30分
	【復習】応用練習	30分
第14回	第2課。図書館でサーシャを見かけました。	
	【予習】数字を覚えよう	30分
	【復習】第1課の復習	30分
第15回	数字。	
	【予習】人称代名詞。否定文の作り方。疑問文の作り方。	30分
	【復習】数字を覚えよう覚えよう。	30分
第16回	人称代名詞。否定文の作り方。疑問文の作り方。	
	【予習】動詞の変化。	30分
	【復習】疑問文の練習	30分
第17回	第1課～第2課の復習。動詞の変化。	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】文法と会話	30分
第18回	疑問詞（３）接続詞 ЧТО	
	【予習】疑問詞	30分
	【復習】疑問文の練習	30分

第19回	疑問詞（４）。話してみよう。タスク中心活動。	
	【予習】単語と本文の朗読	30分
	【復習】疑問文、会話練習	30分
第20回	第1変化動詞と第2変化動詞。	
	【予習】前置格	30分
	【復習】作文練習	30分
第21回	ロシア語を使い、話してみよう。タスク中心活動。前置格(1)	
	【予習】第3課を読む。	30分
	【復習】疑問文の作り方を覚えよう	30分
第22回	第3課。文夫が家族のアルバムを見せています。	
	【予習】月日、曜日の言い方を身につけるようにする	30分
	【復習】応用練習と会話練習	30分
第23回	疑問詞 ч е й と所有代名詞。形容詞の性数変化。	
	【予習】単語と本文を正しく朗読する	30分
	【復習】単語と本文ををおぼえるようにする	30分
第24回	生格	
	【予習】単語と本文を熟読	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第25回	対格	
	【予習】第4課を読む。	30分
	【復習】主格・生格・前置格	30分
第26回	第4課。アーニヤとユーラが話しています。	
	【予習】例文を理解、作文練習	30分
	【復習】第4課を覚えよう。	30分
第27回	与格・造格	
	【予習】単語と本文を熟読	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分

第28回	不規則動詞 хотеть。ロシア語の語順。	
	【予習】単語と本文を熟読	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第29回	主格・生格・与格・対各・造格・前置格の使い分け。	
	【予習】前置詞の役割り・使い方。	30分
	【復習】主格・生格・与格・対各・造格・前置格を正しく使えるように練習する	30分
第30回	в / н а の前置詞の正しい使い方。	
	【予習】主格・生格・与格・対各・造格・前置格	30分
	【復習】応用練習、会話練習	30分
第31回	第3課～第4課の復習	
	【予習】テスト勉強。単語と本文を覚えるようにする	30分
	【復習】作文練習、会話練習	30分
第32回	期末テスト	
	【予習】	
	【復習】テストまとめ	

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(30%) 到達目標 2 については、宿題や課題(30%)、期末筆記テスト(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末筆記テストで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%		
使用資料 <テキスト>	佐藤純一 『NHK新ロシア語入門』（NHK出版）	使用資料 <参考図書>	古賀義顕・鴻野わか菜 『ロシア語の教科書』（ナウカ出版）
授業外学修等	富山県ロシア語スピーチコンテストに参加することを高く評価します。		
授業外質問方法	426研究室に相談に来てください		
オフィス・アワー	月曜日1時限		

授業科目名	フランス語			科目コード	G6101P09
英文名	French				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目 1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像教材を見ながらフランス各地を旅して、広くフランス文化を学びます。				
キーワード	発音	初級文法	初級会話	フランス文化	
到達目標	フランス語の綴りを発音できる。				
	フランス語の簡単な文章の構造を理解でき、簡単な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。				
	フランス各地の特色（観光名所、歴史的建築物、郷土料理など）を学び、他者に説明することができる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。		
	【予習】		
	【復習】 アルファベを暗唱できるようにしておく。		30分
第2回	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつを試してみる。		
	【予習】		
	【復習】 簡単なあいさつ表現の暗唱。		30分
第3回	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。数詞の1～10まで。		
	【予習】		
	【復習】 男性形と女性形についての復習。		30分
第4回	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】 名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。		30分
第5回	会話「切符を買う」。動詞être と強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】 動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。		30分
第6回	動詞être と強勢人称代名詞 動詞être と強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】 強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。		30分
第7回	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞（er動詞）について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。		
	【予習】		
	【復習】 第1群規則動詞（er動詞）の活用を暗唱し、書けるようにしておく。		30分

第8回	会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoirについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第9回	指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。avoirを使った様々な表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】指示形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第10回	会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】否定文の作り方についての復習。	30分
第11回	会話「小銭を持っていません」 否定文に使われるde。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】否定文に使われるdeについての復習。	30分
第12回	所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】所有形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第13回	基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】基本数詞の暗唱。	30分
第14回	総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第15回	総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分

第16回	中間試験	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	会話「会場に入りましょう」。命令法 相手に合わせた命令文の作り方。	
	【予習】	
	【復習】命令文の作り方についての復習。	30分
第18回	会話「会場に入りましょう」 形容詞の性数変化について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】形容詞の性数変化についての復習。	30分
第19回	命令文と形容詞 様々な命令文の作り方と形容詞を使った表現。bonを使った慣用句について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】bonを使った慣用句について暗唱。	30分
第20回	会話「これは何ですか?」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第21回	会話「これは何ですか?」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】疑問副詞を使った文章を暗唱。	30分
第22回	前置詞のde、àと定冠詞le、lesの縮約。 C'est ~で感想を言う。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】前置詞と定冠詞の縮約についての復習。	30分
第23回	会話「ここで写真は撮れません」 pouvoir「～できる」、vouloir「～したい」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】動詞pouvoir、vouloirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第24回	会話「この絵の中ではどれが好きですか？」 疑問代名詞「どれ?」「どちら?」 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第25回	会話（様々な依頼文） pouvoirとvouloirを使って様々な依頼文を作る。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】依頼文、許可を求める文の暗唱。	30分
第26回	パリ散策(1) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第27回	パリ散策(2) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第28回	パリ散策(3) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第29回	総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第30回	総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第31回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、期末筆記テストで評価します。(20%) 到達目標 2 については、期末筆記テスト(80%)で評価します。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%		
使用資料 ＜テキスト＞	田村弘行『フランス語で＜ようこそ＞』三修社。	使用資料 ＜参考図書＞	授業中に随時紹介します。
授業外学修等	毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。		
授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。		
オフィス・アワー	月曜日 3 限、324研究室。		

授業科目名	Intensive English			科目コード	G6101P11
英文名	Intensive English				
科目区分	教養科目 - 外国語科目				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択必修	単位数	4単位		
授業の概要	This class focuses on the four skills of English with an emphasis on cultivating academic English skills for university work and study abroad. Through reading, discussion, and short writing assignments, students will gain confidence in using English while increading their fluency. Students will compile what they have learned into four presentation projects about global and cultural topics.				
キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Discussion
到達目標	1 Improve listening, speaking, reading, and writing skills.				
	2 Gain confidence in English conversation and discussion.				
	3 Develop English presentation skills using visual aids.				
	4 Become an " international person " with flexible communication skills.				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction; rules and policies. Student introduction and the power of English; getting to know each other.	
	【予習】	
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	
第2回	Project 1: A Person I Respect	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第3回	Reading and talking about "respect"	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第4回	Writing about "A Person I Respect." Introduction to 5 paragraph essay format in English.	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第5回	Revision workshop: Person I Respect essay	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第6回	PowerPoint workshop: how to present about "A Person I Respect"	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第7回	PowerPoint workshop and evaluation	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第8回	Presentation day 1 and activities	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第9回	Presentation day 2 and activities	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第10回	Presentation day 3 and activities	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第11回	Presentation day 4 and activities	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第12回	Project 2: Introducing a Japanese thing	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第13回	Writing about "A Japanese thing." Descriptive essay style introduction.	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第14回	Talking about Japanese things to non-Japanese: cross-cultural workshop	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Bring any questions or concerns about the presentation to the next class	30分
第15回	How to make a video about a Japanese thing: storyboarding, scripting.	
	【予習】Practice presentation alone and with group	60分
	【復習】Evaluate presentation result: how could it be improved?	30分
第16回	Video making and evaluation workshop	
	【予習】Prepare for the mid-term using materials provided by the teacher	60分
	【復習】Reflect on the term: write a self-evaluation	30分
第17回	Video presentation and activities (1)	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第18回	Video presentation and activities (2)	
	【予習】Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第19回	Video presentation and activities (3)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第20回	Video presentation and activities (4)	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第21回	Project 3: Talking about a place	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第22回	Writing about a place: workshop	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第23回	Place essay revision workshop	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第24回	Introduction to PechaKucha presentation style: Doing a timed presentation with no script	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第25回	Practice presentations and talk about places	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第26回	Practice presentations and talk about places	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第27回	PechaKucha presentations about place: Day 1	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分

第28回	PechaKucha presentations about place: Day 2	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content from class; bring any questions to the next class	30分
第29回	PechaKucha presentations about place: Day 3	
	【予習】 Read and prepare materials provided by the teacher	60分
	【復習】 Pre-write: review and summary of the semester	30分
第30回	Semester review	
	【予習】 Practice for presentation alone and with group	60分
	【復習】 Identify strengths and weaknesses of presentation	30分
第31回	Final presentation: free topic	
	【予習】 Review for test	60分
	【復習】	30分
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Three presentation projects 60% Homework and assignments 20% Final examination 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日 1限目 Wednesday first period		

授業科目名	初級日本語II			科目コード	G6201L02
英文名	Beginning Japanese II				
科目区分	教養科目 - 日本語科目				
職名	非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	高畠 智美 要門 美規	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	水曜日 金曜日		時限	4限目 3限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	初級前半の日本語表現の理解、定着を確認しながら、関連のある初級後半の表現を整理して話す練習をします。また、日本人チューターを招いて社会的な話題について意見を述べ合い、その内容を作文にまとめる練習をします。最後に、専門分野に関わるテーマについてスピーチを行います。				
キーワード	話す練習	日本人チューター	意見を述べ合う	作文をまとめる	スピーチ
到達目標	日本語の基礎的な構造、表現を整理し運用することができる。(60%)				
	周りの日本人とコミュニケーションができるようになる。(20%)				
	専門に関するテーマで、ある程度まとまった文章が書ける、説明ができる等の力を身につける。(20%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	文法 使役表現	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第2回	機能会話 許可を求める表現	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第3回	文法 敬語表現	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第4回	機能会話 依頼する表現	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第5回	読解 < 食生活 >	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第6回	対話 < 食生活 >	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分

第7回	読解 < 自然災害 >	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第8回	対話 < 自然災害 >	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第9回	読解 < 教育 >	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第10回	対話 < 教育 >	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第11回	読解 < インターネットの利用 >	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第12回	対話 < インターネットの利用 >	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第13回	読解 < 健康 >	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分

第14回	対話 <健康>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第15回	復習	
	【予習】今までに学習した内容について復習	30分
	【復習】授業で復習した項目の確認問題のプリント	30分
第16回	中間テスト	
	【予習】授業で復習した項目の確認問題のプリント	60分
	【復習】	
第17回	読解 <日本人の発明>	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第18回	対話 <日本人の発明>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第19回	読解 <環境>	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第20回	対話 <環境>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第21回	読解 <コミュニケーション>	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分

第22回	対話 <コミュニケーション>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第23回	読解 <ジェンダー>	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	30分
第24回	対話 <ジェンダー>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第25回	読解 <ことばの使い方>	
	【予習】・新出語彙を覚える ・文法解説を読む	30分
	【復習】 ・授業で学習した項目の確認問題のプリント	60分
第26回	対話 <ことばの使い方>	
	【予習】・テーマについて自分の意見をまとめる	30分
	【復習】・作文：授業で話した内容についてまとめる	60分
第27回	スピーチ テーマ決定	
	【予習】テーマについて考える	60分
	【復習】資料収集	60分
第28回	スピーチ アウトライン作成	
	【予習】資料収集	30分
	【復習】アウトライン修正、完成	30分
第29回	スピーチ 原稿作成	
	【予習】原稿作成	60分
	【復習】原稿修正	30分

第30回	スピーチ 発表練習	
	【予習】・原稿修正 ・読み練習	30分
	【復習】・原稿修正 ・読み練習	30分
第31回	スピーチ発表	
	【予習】・発表練習	30分
	【復習】	
第32回	テスト	
	【予習】テストの準備	60分
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 及び 2 については中間・期末テスト（会話テスト含む）（60％）、授業への参加度（20％）で評価する。 到達目標 3 については原稿の内容、発表の仕方 で評価する（20％） なお評価する基準は富山国際大学の成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	授業の中で指定します。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	宿題として課した問題のプリントを提出すること		
授業外質問方法	メールで連絡（アドレスは履修学生に授業の際に連絡します）		
オフィス・アワー	授業後、AL室で対応。時間がない場合はメールで対応。		

授業科目名	中級日本語II			科目コード	G6201L04
英文名	Intermediate Japanese II				
科目区分	教養科目 - 日本語科目				
職名	教授 教授		担当教員名	湯 麗敏 福島 美枝子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 木曜日		時限	4限目 1限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	前期に引き続き、 1年生のみなさんが大学での勉強や日本での生活において実際に使える日本語力を伸ばしていきます。週2回の授業はいずれも聞き、話し、読み、書くの4技能と中級の文法・語法・語彙を扱って総合的な日本語力の強化に努めますが、火曜の授業（湯担当）で特に重点を置くのは読解と作文、木曜の授業（福島担当）では主に聴解と口頭のやりとりに焦点を置きます。参加者は、予習と復習を欠かさず、上級への前進に向けて熱心に勉強を続けてください。				
キーワード	日本語	使える	技能	伸ばす	
到達目標	中級前期のレベルの語彙・文法・表現を 4 技能において使いこなせることができる、次のステップへの出発点とする。				
	コミュニケーション能力の伸長（読み物の内容を理解し自分の経験や考えを述べる力、場面に応じた会話力）ができる。				
	授業で扱われる内容を通して、日本の文化や習慣を理解する態度と力を身につけることができる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	火 4課 自然との共生		
	【予習】単語と本文		30分
	【復習】学習項目の内容		30分
第2回	木 夏休みについて話そう, 前期の振り返り		
	【予習】会話準備		30分
	【復習】前期の内容を振り返る		30分
第3回	火 4課 トピック1 里山自然と人間が共生する場所		
	【予習】単語と本文を覚える		30分
	【復習】作文練習		30分
第4回	木 5課 ミステリー— Step 1: 殺人事件現場 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)		
	【予習】最近関心を持った事件について話す準備 ・ 語彙の予習		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第5回	火 4課 読んでみよう、話し合ってみよう		
	【予習】自身にとって、自然と人間の関係図を考えてくる		30分
	【復習】内容確認と作文練習		30分
第6回	木 5課 ミステリー— Step 2: 目撃者の証言 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)		
	【予習】あなたの推理について話す準備		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第7回	火 4課 トピックス2 自然と共生する町 ~松代~		
	【予習】読解に必要な言葉		30分
	【復習】読解、文法、語彙の習得チェック		30分
第8回	木 5課 ミステリー— Step 3: 三億円事件		
	【予習】三億円事件が起きた頃の日本について調べる		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第9回	火 4課 タスク3 地域の名所を紹介する		
	【予習】学習項目の内容		30分
	【復習】全体の応用練習		30分

第10回	木 6課 ベストパートナー Step 1: 理想の結婚	
	【予習】あなたの理想の結婚について語る準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第11回	火 5課 「食」に見る世界	
	【予習】読解作文の練習	30分
	【復習】読解に必要な言葉	30分
第12回	木 6課 ベストパートナー Step 2: ひとこと言ってあげる	
	【予習】ジェンダーについて感じていることを話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第13回	火 5課 トピック1 1杯のコーヒーから世界を考える	
	【予習】内容確認のための質問準備	60分
	【復習】読解、文法、語彙の習得チェック	60分
第14回	木 6課 ベストパートナー Step 3: 国際結婚	
	【予習】国際結婚についてのあなたの考えを話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第15回	火 5課 トピック2 フードマイレージ ―「食」から環境を考える―	
	【予習】本文の内容を調べる	30分
	【復習】聴解、作文の練習	30分
第16回	木 5～6課 応用課題発表会 ・ 復習テスト	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】応用練習	30分
第17回	火 5課 聞いてみよう、話し合ってみよう	
	【予習】項目、応用練習	30分
	【復習】構文で文を作る	30分
第18回	木 7課 食と健康 Step 1: スターの健康法	
	【予習】あなたが健康を保つために気を付けていることについて話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分

第19回	火 5課 グループでメモの内容、情報を整理しながら、交流する	
	【予習】読解、作文の練習	30分
	【復習】会話練習	30分
第20回	木 7課 食と健康 Step 2: アロマセラピー	
	【予習】あなたのリラックス方法について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第21回	火 6課 子供と教育	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】学習項目、応用練習	30分
第22回	木 7課 食と健康 Step 3: 病気の告知	
	【予習】病気の告知について考えるところを述べる準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第23回	火 6課 トピック 1 教室のお客様	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】読解、文法、語彙の習得チェック	30分
第24回	木 8課 教育 Step 1: 日本の大学	
	【予習】日本とあなたの国の教育制度について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第25回	火 6課 読んでみよう、話し合ってみよう	
	【予習】単語を調べ、本文を理解	30分
	【復習】読解、文法、語彙の習得チェック	30分
第26回	木 8課 教育 Step 2: 親の立場, 子の立場	
	【予習】親子の関係について経験や考えを話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第27回	火 6課 トピック 2 子供たちに本を読む喜びをあげたい	
	【予習】読解に必要な言葉	30分
	【復習】聴解、作文の練習	30分

第28回	木 8課 教育 Step 3: 学校へ行かない子供たち	
	【予習】日本とあなたの国の学校教育に関する社会的問題について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第29回	火 6課 タスク4 私のボランティア経験	
	【予習】発表の準備	60分
	【復習】原稿を作り	60分
第30回	木 7～8課 応用課題発表会・復習テスト	
	【予習】課題発表準備	60分
	【復習】応用練習	60分
第31回	火 期末テスト	
	【予習】テスト勉強	60分
	【復習】大まとめ	60分
第32回	木 期末テスト	
	【予習】総復習	60分
	【復習】まとめ	60分

評価方法	(1) 平常の教室での活動・課題・宿題 (50%) (2) 中間テスト・期末試験 (50%) で連続的、総合的に評価する。 (3) ディプロマ・ポリシーに関しては、人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価します。到達目標については富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	火曜日：日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い 本冊 テーマ学習・	使用資料 <参考図書>	・辞書とノートを用意してください。
授業外学修等	1．参加学生は、各授業時間に扱われる教科書の内容を必ず予習し、授業後は弱点を克服するために必ず復習すること。 2．それぞれの授業で扱われる語彙・表現・文法の全体的な把握のために折々に教科書の巻末の索引を参考にしてください。		
授業外質問方法	質問があったら、聞いてください。いつでも結構です。（424湯研究室）		
オフィス・アワー	湯：火曜日2限（研究室） 福島：木3・4限（メディアコーナー）		

授業科目名	中級日本語I			科目コード	G6201P03
英文名	Intermediate Japanese I				
科目区分	教養科目 - 日本語科目				
職名	教授 教授		担当教員名	湯 麗敏 福島 美枝子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日 木曜日		時限	5限目 1限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択必修		単位数	4単位	
授業の概要	この科目では、新入生のみなさんが大学での勉強や日本での生活で実際に使える日本語力を養います。週2回の授業はいずれも聞き、話し、読み、書くの4技能と中級の文法・語法・語彙を扱い、総合的に日本語力を伸ばしていきます。火曜の授業（湯担当）で特に重点を置くのは読解と作文、木曜の授業（福島担当）では主に聴解と口頭のやりとりに焦点を置きます。参加者は、予習と復習を欠かさず、上級への前進に向けて熱心に勉強を続けてください。				
キーワード	日本語	能力	使える	技能	伸ばす
到達目標	中級前期のレベルの語彙・文法・表現を4技能において使いこなせることができる、次のステップへの出発点とする。				
	コミュニケーション能力の伸長（読み物の内容を理解し自分の経験や考えを述べる力、場面に応じた会話力）ができる。				
	授業で扱われる内容を通して、日本の文化や習慣を理解する態度と力を身につけることができる。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	火 科目紹介（火曜日の授業）、履修上の注意、作文		
	【予習】教科書の購入、第一課の予習		30分
	【復習】今まで習った表現を覚えよう		30分
第2回	木 科目紹介（木曜日の授業）、自己表現力診断		
	【予習】自己表現力診断の準備		30分
	【復習】自己表現力の確認		30分
第3回	火 1課 トピック1 留学することの意義		
	【予習】 1、考えてみよう 2、読んでみよう		30分
	【復習】 読解に必要な言葉、内容確認ための質問、文法応用練習!		30分
第4回	木 1課 紹介する Step1: 同窓会の写真 （ペアワーク、読解、文法、語彙、作文）		
	【予習】友だちや家族を紹介する準備		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第5回	火 1課 トピック2 街で見つけたおもしろいもの		
	【予習】聴解に必要な言葉、発表準備		30分
	【復習】発表練習		30分
第6回	木 1課 紹介する Step 2: あのころ、そのころ		
	【予習】子どもの頃の思い出を話す準備		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第7回	火 1課の発表		
	【予習】発表の準備 内容を考える		30分
	【復習】発表の練習		30分
第8回	木 1課 紹介する Step 3: あなたはどんな性格? （ペアワーク、読解、文法、語彙、作文）		
	【予習】あなた自身の性格について話す準備		30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用		30分
第9回	火 1課 発表を聞いて考えたことを話し合う		
	【予習】本文と単語の熟読		30分
	【復習】学習項目の練習、聴解、作文への応用		30分

第10回	木 2 課 旅行する Step1: ベトナムに行こう (ベアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】一番印象に残っている旅行先について紹介する準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第11回	火 1 課 タスクを振り返る	
	【予習】街で見つけた面白いものを書く	30分
	【復習】口頭で話せるようにする	30分
第12回	木 2 課 旅行する Step2: ベトナムに行く前に (ベアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】外国旅行についてアドバイスを準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第13回	火 2 課 人生とキャリア	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】熟読できるようにする	30分
第14回	木 2 課 旅行する Step3: 日本の観光地 長崎 (ベアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】長崎、神戸、横浜についての調べ学習	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第15回	火 2 課 トピックス1「就活」を考える	
	【予習】考えてみよう、読んでみよう	60分
	【復習】読解に必要なことば	60分
第16回	1～2課 応用課題発表会 ・ 復習テスト	
	【予習】発表会の準備	60分
	【復習】テストまとめ	60分
第17回	火 2 課 留学生の先輩に聞く「日本の職場」	
	【予習】読解に必要な言葉	30分
	【復習】学習項目の練習、聴解、作文の練習	30分
第18回	木 3 課 異文化に触れる Step1: フィリピンでの留学生活 (ベアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】日本に来たばかりの頃の経験について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分

第19回	火 2課 私のキャリアアップ	
	【予習】作文練習	30分
	【復習】発表のスライドと原稿を作る練習	30分
第20回	木 3課 異文化に触れる Step 2:フィリピンの国民性 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】日本人の国民性とあなたの国の人々の国民性について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第21回	火 2課 発表を聞いて考えたことを話しあう	
	【予習】読解作文ができるようにする	30分
	【復習】関係文法、語彙の応用練習	30分
第22回	木 3課 異文化に触れる Step 3:帰国前の大失敗 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】日本とあなたの国でプレゼントしてはいけないものについて話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第23回	火 3課 地域とともに生きる	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】学習項目の練習、聴解、作文の練習	30分
第24回	木 4課 未来を考える Step1:それぞれの夢 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】あなたの夢や将来の計画について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第25回	火 3課 トピックス1 商店街でみんな元気に	
	【予習】単語と本文の熟読	30分
	【復習】商店街の様子を話せるようにする	30分
第26回	木 4課 未来を考える Step 2 30年後の世界 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】30年後についてどうなっていると思うかを話す準備～日本語、食生活、世界経済、医学、環境問題について	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第27回	火 3課 読んでみよう、話し合ってみよう	
	【予習】構文練習	30分
	【復習】聴解、作文練習	30分

第28回	木 4課 未来を考える Step 3 未来の新製品 (ペアワーク、読解、文法、語彙、作文)	
	【予習】今こんなものがあるといいなと思うような新製品について話す準備	30分
	【復習】文法と語彙の復習、作文への応用	30分
第29回	火 3課 豆腐で地域を元気にしたい	
	【予習】読解に必要なことばを勉強	30分
	【復習】聞いて分かる、考えて話せるようにする	30分
第30回	木 3～4課 応用課題発表会・復習テスト	
	【予習】発表会の準備	30分
	【復習】総復習	30分
第31回	火 期末テスト	
	【予習】発表練習	30分
	【復習】テストまとめ	30分
第32回	木 期末テスト	
	【予習】総復習	60分
	【復習】テストまとめ	60分

評価方法	(1) 平常の教室での活動・課題・宿題 (50%) (2) 中間テスト・期末試験 (50%) で連続的、総合的に評価する (3) ディプロマ・ポリシーにおいては、人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価します。到達目標については富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	火曜日：日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い 本冊 テーマ学習・	使用資料 <参考図書>	・辞書とノートを用意してください。
授業外学修等	1．参加学生は、各授業時間に扱われる教科書の内容を必ず予習し、授業後は弱点を克服するために必ず復習すること。 2．それぞれの授業で扱われる語彙・表現・文法の全体的な把握のために折々に教科書の巻末の索引を参考にしてください。		
授業外質問方法	質問があったら、聞いてください。いつでも結構です。(424湯研究室)		
オフィス・アワー	湯～火曜日2限(424研究室)、福島～木曜日3・4限(メディアコーナー)		

授業科目名	中級日本語演習Ⅱ			科目コード	G6206L06
英文名	Intermediate Japanese Seminar				
科目区分	教養科目 - 日本語科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	高畠 智美		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	3限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	選択必修	単位数	2単位		
授業の概要	大学の講義を聞いたり、発表したりできるように読む、聞く、話す、書くの四技能をバランスよく伸ばすための練習をします。また、3年のゼミに向けて、レジュメの書き方を学び、論旨が明快な文章のレジュメが作成できるように練習し、最後に発表します。				
キーワード	四技能	レジュメ	発表		
到達目標	読解力、聴解力、口頭表現力、作文力を伸ばし大学での活動に役立てることができる。(70%)				
	レジュメの作成ができるようになる。(20%)				
	レジュメを使ってまとめた文章の内容を伝えることができるようになる。(10%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(全回四技能の練習を含みます) 文の構造を学ぶ ・段落内の構造	
	【予習】	
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第2回	文の構造を学ぶ ・中心文、支持文	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べる	30分
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第3回	アウトラインを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べる	30分
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第4回	定義の表現を学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第5回	時間の経過の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第6回	比較・対照の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第7回	原因・結果の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第8回	位置を示す表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分

第9回	列挙・順序の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第10回	理由・根拠の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第11回	筆者の意見を表す表現を学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第12回	【レジュメの作り方】 レジュメの特徴、分類の構成	
	【予習】	
	【復習】・レジュメの作成	60分
第13回	【レジュメの作り方】 対比的構成	
	【予習】・レジュメの作成	30分
	【復習】・レジュメの修正	60分
第14回	【レジュメの作り方】 時間的構成	
	【予習】・レジュメの作成	30分
	【復習】・レジュメの修正、発表準備	60分
第15回	【レジュメの作り方】 作ったレジュメの発表	
	【予習】・発表練習	60分
	【復習】・発表の振り返り	15分
第16回	テスト	
	【予習】全体の復習	60分
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 は期末筆記テスト（50％）、授業への参加度（15％）、課題提出（5％）で評価する。 到達目標 2 はレジュメの内容で評価する。（20％） 到達目標 3 はレジュメの発表で評価する。（10％） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリントを配ります	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	・読解文を読んでくること ・作文の課題を課すので書いてくること		
授業外質問方法	メールで連絡（アドレスは履修学生に授業の際に連絡します）		
オフィス・アワー	授業前、AL室で対応。時間がない場合はメールで対応。		

授業科目名	ビジネス情報演習 Aクラス			科目コード	G6301L02
英文名	Business Information Practicum				
科目区分	教養科目 - 情報基礎科目				
職名	准教授	担当教員名	河野 信		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	データ管理に不可欠な表計算ソフトの原理と機能・操作方法などについて総合的に学ぶ。現在、会社をはじめとする一般社会では経理事務や様々なデータ管理に表計算ソフトが幅広く利用されており、就職活動においても表計算ソフトの操作技能が求められている。本授業では表計算ソフトとしてEXCELを用いて、その機能と操作を学んでいく。 （担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	表計算	数式	関数	グラフ	統計
到達目標	表計算ソフトウェアを用いて、表作成および基本的計算および初歩的関数操作ができる。（40％）				
	表計算ソフトウェアを用いて、関数操作による複雑なデータ処理ができる。（30％）				
	グラフや統計関数などによるデータ分析ができる。（30％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	表計算の基礎、データ入力と編集、表の作成 表計算ソフトとしてExcelを用い、基本的なデータ入力と表編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第2回	表の編集、フォントや配置の設定、行削除と挿入などの表操作 表計算ソフトを使った表作成・文字列編集、レイアウト編集、表編集などの操作を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第3回	簡単な計算と関数、数式の取扱い 表計算ソフトを使った基本的計算のための操作を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第4回	セルの表示形式・フォント・列幅列高・条件付き書式などの表操作および表の印刷調整 表計算ソフトを使った参照方法の違いについて確実に理解する。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、電子メールで教員に提出する。 【送信先】2020g000@tuins.ac.jp 【件名】 課題○○の提出	20分
第5回	セルの表示形式、絶対参照と相対参照 表計算ソフトを使った参照方法の違いについて確実に理解する。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第6回	関数の基本 関数名・引数・返却値などの基本概念を理解して、様々なタイプの関数の利用にチャレンジする	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、電子メールで教員に提出する。 【送信先】2020g000@tuins.ac.jp 【件名】 課題○○の提出	20分
第7回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分

第8回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第9回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第10回	アンケート集計とデータ分析 アンケート集計に基づくデータの統計的取り扱いを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第11回	アンケート集計とデータ分析 クロス集計をはじめとするデータ分析手法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第12回	アンケート集計とデータ分析 総合的な分析方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第13回	グラフの取扱い 表計算ソフトを使った数値のグラフ化、WORDなどとのアプリケーション連携、さらにデータベースとしての扱い方を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第14回	データ操作とデータベース機能 表計算ソフトを使ったデータ操作機能およびデータベースとしての扱い方を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第15回	実践演習 C S 検定を想定した実践的問題演習	
	【予習】授業中に提示するCS検定の模擬問題を解いておく	20分
	【復習】次週の期末試験に備えて、模擬問題の苦手な部分をやり直しておく	20分

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（70％）、期途中での課題提出状況等（30％）にもとづいて総合的に判定する。 ただし10回以上の出席がない場合は評価しない。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60		
使用資料 <テキスト>	30時間アカデミックOffice2019（実教出版）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	適宜課題を課すので授業外に演習すること。提出された課題にフィードバックが必要なものは、フィードバックを行う。		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 2020g000@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	ビジネス情報演習 Bクラス			科目コード	G6301L02
英文名	Business Information Practicum				
科目区分	教養科目 - 情報基礎科目				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	データ管理に不可欠な表計算ソフトの原理と機能・操作方法などについて総合的に学ぶ。現在、会社をはじめとする一般社会では経理事務や様々なデータ管理に表計算ソフトが幅広く利用されており、就職活動においても表計算ソフトの操作技能が求められている。本授業では表計算ソフトとしてEXCELを用いて、その機能と操作を学んでいく。 （ 担当教員：企業での実務経験あり ）				
キーワード	表計算	数式	関数	グラフ	統計
到達目標	表計算ソフトウェアを用いて、表作成および基本的計算および初歩的関数操作ができる。（ 40% ）				
	表計算ソフトウェアを用いて、関数操作による複雑なデータ処理ができる。（ 30% ）				
	グラフや統計関数などによるデータ分析ができる。（ 30% ）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	表計算の基礎、データ入力と編集、表の作成 表計算ソフトとしてExcelを用い、基本的なデータ入力と表編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第2回	表の編集、フォントや配置の設定、行削除と挿入などの表操作 表計算ソフトを使った表作成・文字列編集、レイアウト編集、表編集などの操作を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第3回	簡単な計算と関数、数式の取扱い 表計算ソフトを使った基本的計算のための操作を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第4回	セルの表示形式・フォント・列幅列高・条件付き書式などの表操作および表の印刷調整 表計算ソフトを使った参照方法の違いについて確実に理解する。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第5回	セルの表示形式、絶対参照と相対参照 表計算ソフトを使った参照方法の違いについて確実に理解する。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第6回	関数の基本 関数名・引数・返却値などの基本概念を理解して、様々なタイプの関数の利用にチャレンジする	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第7回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分

第8回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第9回	いろいろな関数 表計算ソフトを使った関数の利用方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第10回	アンケート集計とデータ分析 アンケート集計に基づくデータの統計的取り扱いを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第11回	アンケート集計とデータ分析 クロス集計をはじめとするデータ分析手法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第12回	アンケート集計とデータ分析 総合的な分析方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第13回	グラフの取扱い 表計算ソフトを使った数値のグラフ化、WORDなどとのアプリケーション連携、さらにデータベースとしての扱い方を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第14回	データ操作とデータベース機能 表計算ソフトを使ったデータ操作機能およびデータベースとしての扱い方を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	20分
第15回	実践演習 C S 検定を想定した実践的問題演習	
	【予習】授業中に提示するCS検定の模擬問題を解いておく	20分
	【復習】次週の期末試験に備えて、模擬問題の苦手な部分をやり直しておく	20分

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（70％）、期途中での課題提出状況等（30％）にもとづいて総合的に判定する。 ただし10回以上の出席がない場合は評価しない。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60		
使用資料 ＜テキスト＞	30時間アカデミックOffice2019（実教出版）	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	適宜課題を課すので授業外に演習すること。提出された課題にフィードバックが必要なものは、フィードバックを行う。		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける shinmori@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	ビジネス情報演習 Aクラス			科目コード	G6301P01
英文名	Business Information Practicum I				
科目区分	教養科目 - 情報基礎科目				
職名	准教授	担当教員名	河野 信		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	会社業務や社会生活において必要不可欠となる、コンピュータを用いた文書作成能力に関する知識を習得することを目的とする。併せて、画像・表などを用いた表現力のある文書の構成方法と、パワーポイントを用いたプレゼン資料作成方法についても学ぶ。 なお、本授業の前半では、大学で各自のノートパソコンを利用するための基礎事項について解説し設定も行う。 （担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	文書作成	文字編集	書式設定	表作成	画像編集
到達目標	大学でノートパソコンを使用するための基礎事項について理解し設定ができる。（30％）				
	文書作成ソフトを用いた文字編集・文書作成・レイアウト編集・印刷などの一連の基礎技能を習得する。（40％）				
	表や図形などを用いた表現力豊かな文書作成技能およびパワーポイントの操作方法を習得する。（30％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	基本設定(1)：学習の目標，個人用パソコンの起動と終了，Windowsの初期設定 本授業のガイダンスと授業の目標を明らかにし、授業で使用するパソコンの基本的設定を行う Windows10 の初期設定を行い、パソコンならびにWindowsの利用に関する基本的事項を説明する	
	【予習】パソコンの充電が十分になされていることを確認する、不足の場合は充電しておく パソコンが正常に起動し、動作することを確認する。 パソコンのウイルス対策が正常に機能していることを確認する。	20分
	【復習】大学において必応となる基本設定を確認する。 インターネット、ファイアウォール、プロキシなどの基本用語を復習し、理解する。 自宅と大学でインターネットを用いた操作を行い、双方で正常に機能することを確認する。	30分
第2回	基本設定(2)：メール環境の説明と設定、各種ユーティリティソフト等の導入 大学生活で必要となるメール環境の設定と利用方法の確認およびスマホでの利用方法の説明。 パソコンへのソフトウェアのインストールとアンインストールの基本的操作を学ぶ	
	【予習】パソコンの充電が十分になされていることを確認する、不足の場合は充電しておく パソコンが正常に起動し、動作することを確認する。 パソコンのウイルス対策が正常に機能していることを確認する。	20分
	【復習】大学からのメールが受信できるかを確認して、指示された返信をする。 インターネットからPDFドキュメントをダウンロードして、正常に表示されることを確認する。 インターネットから興味あるフリーウェアをダウンロードしてインストールする	30分
第3回	基本設定(3)：MS-Officeのインストール，プリンターの利用、各種ユーティリティの導入 文書処理・表計算・プレゼンテーションをはじめとする、就学のために必要なソフトウェアをインストールする 印刷環境の説明と設定、並びに授業で利用する可能性のある各種ユーティリティをインストールする。	
	【予習】【自由課題】大学で学んで行きたい事、大学で力を入れたい活動、大学時代にやっておきたい事について、A4版 1 枚程度のレポートを作成せよ。形式は問わない	20分
	【復習】自由課題をWORDで作成してMicrosoft Teamsで提出する。 また同じファイルをプリンターで印刷して、次回の授業で提出する。 これによってプリンターの設定が正しく行われているかを確認する。	30分
第4回	タイピング：タイピング練習ソフトウェアの導入，タイピングレッスンの実施 コンピュータ取扱いの上で最も重要なスキルであるタイピングをマスターするために、必要なソフトウェアをインストールし、かつそれを使ったタイピングレッスンの実践を行う。	
	【予習】キーボード上のキー配列を覚えてくる	20分
	【復習】タイピング練習のための自分なりの計画を立てる。 最低でも1日に10分のタイピング練習ができる練習計画を立てること	30分
第5回	文書作成(1)：Wordの起動，日本語入力，保存，印刷プレビュー，文書の印刷 文書処理ソフトとしてWordを利用するための初期レッスンを行う。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第6回	文書作成(2)：文字サイズ・フォント・文字飾り，文字位置の指定 文書処理ソフトを使った基本的な文書編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分

第7回	文書作成(3)：箇条書き・段落番号・文書レイアウト 文書処理ソフトを使った箇条書きの作成と自動的番号割り付け方法、および文書のレイアウト編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第8回	文書作成(4)：長文編集（見出し項目と目次作成） 文書処理ソフトを使った見出しの作成と、目次生成方法について学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第9回	文書作成(5)：表の作成 文書処理ソフトを使った表の作成と取り扱い方法を学ぶ	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第10回	文書作成(6)：図形描画・イメージの取り扱い 文書処理ソフトを使った図形の取り扱いを学ぶ	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第11回	文書作成(7)：図形描画・イメージの取り扱い 文書処理ソフトを使った図形の取り扱いを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第12回	文書作成(8)：アプリケーション連携とデータ操作 文書処理ソフトと他のアプリケーションとの連携による文書作成方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第13回	文書作成(9)：総合的な文書作成 事例に基づく総合的な文書作成能力を確かめる。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分

第14回	プレゼンテーション(1)：PowerPointの起動，資料作成の基本操作 プレゼンテーションソフトとしてPowerpointを用いた資料作成までの基本設定を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第15回	プレゼンテーション(2)：図形の作成，画像の取り込み，表示効果の設定など プレゼンテーションソフトを使った図形描画、他のアプリケーションとの連携、表示効果の接待などを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第16回	期末試験として、CS検定3級程度の実技試験を実施する。CS検定の合格点は70点であるが、大学独自の基準として60点以上の学生には単位を付与する。ただし、試験環境を整え、試験問題をダウンロードし、答案を提出するまでの一連の操作が試験対象である。また成績査定にあたっては授業中に課した課題の提出状況も考慮する。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（70％）、期途中での課題提出状況等（30％）にもとづいて総合的に判定する。 ただし10回以上の出席がない場合は評価しない。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60		
使用資料 <テキスト>	30時間アカデミックOffice2019（実教出版）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	適宜課題を課すので授業外に演習すること。提出された課題にフィードバックが必要なものは、フィードバックを行う。		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 2020g000@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	ビジネス情報演習 Bクラス			科目コード	G6301P01
英文名	Business Information Practicum I				
科目区分	教養科目 - 情報基礎科目				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	会社業務や社会生活において必要不可欠となる、コンピュータを用いた文書作成能力に関する知識を習得することを目的とする。併せて、画像・表などを用いた表現力のある文書の構成方法と、パワーポイントを用いたプレゼン資料作成方法についても学ぶ。 なお、本授業の前半では、大学で各自のノートパソコンを利用するための基礎事項について解説し設定も行う。 （担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	文書作成	文字編集	書式設定	表作成	画像編集
到達目標	大学でノートパソコンを使用するための基礎事項について理解し設定ができる。（30％）				
	文書作成ソフトを用いた文字編集・文書作成・レイアウト編集・印刷などの一連の基礎技能を習得する。（40％）				
	表や図形などを用いた表現力豊かな文書作成技能およびパワーポイントの操作方法を習得する。（30％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	基本設定(1)：学習の目標，個人用パソコンの起動と終了，Windowsの初期設定 本授業のガイダンスと授業の目標を明らかにし、授業で使用するパソコンの基本的設定を行う Windows10 の初期設定を行い、パソコンならびにWindowsの利用に関する基本的事項を説明する	
	【予習】パソコンの充電が十分になされていることを確認する、不足の場合は充電しておく パソコンが正常に起動し、動作することを確認する。 パソコンのウイルス対策が正常に機能していることを確認する。	20分
	【復習】大学において必応となる基本設定を確認する。 インターネット、ファイアウォール、プロキシなどの基本用語を復習し、理解する。 自宅と大学でインターネットを用いた操作を行い、双方で正常に機能することを確認する。	30分
第2回	基本設定(2)：メール環境の説明と設定、各種ユーティリティソフト等の導入 大学生活で必要となるメール環境の設定と利用方法の確認およびスマホでの利用方法の説明。 パソコンへのソフトウェアのインストールとアンインストールの基本的操作を学ぶ	
	【予習】パソコンの充電が十分になされていることを確認する、不足の場合は充電しておく パソコンが正常に起動し、動作することを確認する。 パソコンのウイルス対策が正常に機能していることを確認する。	20分
	【復習】大学からのメールが受信できるかを確認して、指示された返信をする。 インターネットからPDFドキュメントをダウンロードして、正常に表示されることを確認する。 インターネットから興味あるフリーウェアをダウンロードしてインストールする	30分
第3回	基本設定(3)：MS-Officeのインストール，プリンターの利用、各種ユーティリティの導入 文書処理・表計算・プレゼンテーションをはじめとする、就学のために必要なソフトウェアをインストールする 印刷環境の説明と設定、並びに授業で利用する可能性のある各種ユーティリティをインストールする。	
	【予習】【自由課題】大学で学んで行きたい事、大学で力を入れたい活動、大学時代にやっておきたい事について、A4版 1 枚程度のレポートを作成せよ。形式は問わない	20分
	【復習】自由課題をWORDで作成してMicrosoft Teamsで提出する。 また同じファイルをプリンターで印刷して、次回の授業で提出する。 これによってプリンターの設定が正しく行われているかを確認する。	30分
第4回	タイピング：タイピング練習ソフトウェアの導入，タイピングレッスンの実施 コンピュータ取扱いの上で最も重要なスキルであるタイピングをマスターするために、必要なソフトウェアをインストールし、かつそれを使ったタイピングレッスンの実践を行う。	
	【予習】キーボード上のキー配列を覚えてくる	20分
	【復習】タイピング練習のための自分なりの計画を立てる。 最低でも1日に10分のタイピング練習ができる練習計画を立てること	30分
第5回	文書作成(1)：Wordの起動，日本語入力，保存，印刷プレビュー，文書の印刷 文書処理ソフトとしてWordを利用するための初期レッスンを行う。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第6回	文書作成(2)：文字サイズ・フォント・文字飾り，文字位置の指定 文書処理ソフトを使った基本的な文書編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分

第7回	文書作成(3)：箇条書き・段落番号・文書レイアウト 文書処理ソフトを使った箇条書きの作成と自動的番号割り付け方法、および文書のレイアウト編集を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第8回	文書作成(4)：長文編集（見出し項目と目次作成） 文書処理ソフトを使った見出しの作成と、目次生成方法について学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第9回	文書作成(5)：表の作成 文書処理ソフトを使った表の作成と取り扱い方法を学ぶ	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、電子メールで教員に提出する。 【送信先】2020g000@tuins.ac.jp 【件名】 課題○○の提出	30分
第10回	文書作成(6)：図形描画・イメージの取り扱い 文書処理ソフトを使った図形の取り扱いを学ぶ	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第11回	文書作成(7)：図形描画・イメージの取り扱い 文書処理ソフトを使った図形の取り扱いを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、電子メールで教員に提出する。 【送信先】2020g000@tuins.ac.jp 【件名】 課題○○の提出	30分
第12回	文書作成(8)：アプリケーション連携とデータ操作 文書処理ソフトと他のアプリケーションとの連携による文書作成方法を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第13回	文書作成(9)：総合的な文書作成 事例に基づく総合的な文書作成能力を確かめる。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分

第14回	プレゼンテーション(1)：PowerPointの起動，資料作成の基本操作 プレゼンテーションソフトとしてPowerpointを用いた資料作成までの基本設定を学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第15回	プレゼンテーション(2)：図形の作成，画像の取り込み，表示効果の設定など プレゼンテーションソフトを使った図形描画、他のアプリケーションとの連携、表示効果の接待などを学ぶ。	
	【予習】教科書の、授業予定となっている章立てを読んでおく。 パソコン操作に不慣れな人や自信の無い人は、自分なりに教科書にそってやってみると良い	20分
	【復習】授業中に提示された課題を作成して、Microsoft Teamsで提出する。	30分
第16回	期末試験として、CS検定3級程度の実技試験を実施する。CS検定の合格点は70点であるが、大学独自の基準として60点以上の学生には単位を付与する。ただし、試験環境を整え、試験問題をダウンロードし、答案を提出するまでの一連の操作が試験対象である。また成績査定にあたっては授業中に課した課題の提出状況も考慮する。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（70％）、期途中での課題提出状況等（30％）にもとづいて総合的に判定する。 ただし10回以上の出席がない場合は評価しない。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60		
使用資料 <テキスト>	30時間アカデミックOffice2019（実教出版）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	適宜課題を課すので授業外に演習すること。提出された課題にフィードバックが必要なものは、フィードバックを行う。		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 2020g000@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	キャリア・デザイン講座b			科目コード	G6401L02
英文名	Career Design b				
科目区分	教養科目 - キャリア・実務科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	三賀 孝治		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	1単位		
授業の概要	日々のニュースを題材に、その意味や背景を探り、ニュースを読み解くように努める。				
キーワード	活字メディア	社会の窓	コメント力		
到達目標	ニュースに明るくなることによって、個々のニュースについての的確なコメントができるようにする。その成果を就活の際に生かし、採用担当者にアピールできるようにしたい。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日本の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	日本の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	日本の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	郷土の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	郷土の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	郷土の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	郷土の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	郷土の課題を読み解く	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	社会的弱者について考える	
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート評価（６０％）、出席状況・課題評価（４０％）の比率で判断。		
使用資料 <テキスト>	特にありません	使用資料 <参考図書>	日々の新聞など
授業外学修等			
授業外質問方法	メールでお答えします。 tsang1950@yahoo.co.jp		
オフィス・アワー	講義終了後、随時、教室で受け付けます。		

授業科目名	会計基礎演習			科目コード	G6401L09
英文名	Training in Basics of Accounting				
科目区分	教養科目 - キャリア・実務科目				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	財務諸表はビジネスにおける重要なコミュニケーション・ツールであり、その基礎となるのが簿記です。本講義は「会計基礎演習I」に続き簿記の基礎について学ぶものです。連続して学ぶことで日商簿記検定3級の内容をほぼ網羅することが出来ます。（担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	簿記	会計			
到達目標	主要勘定および基礎的な仕訳（日商簿記3級レベル）について理解することができる。(50%)				
	伝票について理解することができる。(10%)				
	決算手続きについて理解することができる。(40%)				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	その他の債権と債務(1)貸付金・借入金、未収入金・未払金		
	【予習】テキストの第8章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第8章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第2回	その他の債権と債務(2)立替金・預り金、仮払金・仮受金、受取商品券、差入保証金		
	【予習】テキストの第8章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第8章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第3回	受取手形と支払手形		
	【予習】テキストの第9章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第9章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第4回	有形固定資産		
	【予習】テキストの第10章を読んでおくこと		
	【復習】テキスト第10章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		
第5回	貸倒損失と貸倒引当金(1)		
	【予習】テキストの第11章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第11章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第6回	貸倒損失と貸倒引当金(2)		
	【予習】テキストの第11章を読んでおくこと		
	【復習】テキスト第11章の例題および練習問題をよく復習しておくこと		
第7回	資本		
	【予習】テキストの第12章を読んでおくこと		
	【復習】テキスト第12章の例題および練習問題をよく復習しておくこと		
第8回	収益と費用(1)		
	【予習】テキストの第13章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第13章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第9回	収益と費用(2)		
	【予習】テキストの第13章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第13章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分

第10回	税金	
	【予習】テキストの第14章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第14章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第11回	伝票	
	【予習】テキストの第15章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第15章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第12回	財務諸表（1）決算整理事項と精算表の作成	
	【予習】テキストの第16章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第16章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第13回	財務諸表(2)財務諸表の作成	
	【予習】テキストの第16章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第16章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第14回	総括と演習問題（1）	
	【予習】前回のプリントをよく復習しておくこと	30分
	【復習】別途配付問題を繰り返し行うこと	30分
第15回	総括と演習問題（2）	
	【予習】前回のプリントをよく復習しておくこと	30分
	【復習】別途配付問題を繰り返し行うこと	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度およびミニテスト（70％）、期末試験（30％） なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	渡部裕亘、片山覚、北村敬子編著『検定簿記講義<2021年度版> [3 級/商業簿記]	使用資料 ＜参考図書＞	大塚宗春・佐藤紘光・奥山修二著『現代簿記会計』（中央経済社）
授業外学修等	簿記の学習は積み重ねによるものなので、欠席をするとその後の授業に影響します。日商簿記3級等の資格取得を目指す場合は、授業後により多くの演習問題に取り組むことが重要です。		
授業外質問方法	疑問、質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	キャリア・デザイン講座a			科目コード	G6401P01
英文名	Career Design a				
科目区分	教養科目 - キャリア・実務科目				
職名	教授 教授		担当教員名	高橋 哲郎 佐藤 綾子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	月曜日		時限	2限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	学部必修		単位数	1単位	
授業の概要	本講座 a（前期）大学生活を有意義に過ごすために、入学から卒業までの4年間の大学生活を考える。 正課科目だけでなく、部活動やサークル等の学内での活動やボランティア等の学外の正課外活動も含めて検討する。 大学での学び・活動、そして就職活動や大学院入試等を経て、卒業後にどうなりたいかを学生一人ひとりが考え、自身のキャリアモデルを形成する。				
キーワード	キャリアモデル	大学生活	学内活動	学外活動	自己分析
到達目標	：大学を有意義に過ごすために 4 年間の大学生活の予定表を作成する。(50%)				
	：自己分析を深め、自身の強みや適性を知る。(50%)				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション		
	【予習】		
	【復習】授業内容の振り返り		30分
第2回	卒業後の進路について考える 就職活動、就職に向けての資格取得、留学等		
	【予習】		
	【復習】授業内容の振り返り		30分
第3回	SPI対策講座		
	【予習】Tuins e ラーニングを利用した予習		
	【復習】Tuins e ラーニングを利用した復習		30分
第4回	SPI対策講座 筆記による対策		
	【予習】Tuins e ラーニングを利用した予習		30分
	【復習】Tuins e ラーニングを利用した復習		30分
第5回	自己分析 外部ツールを利用し、自身の能力や特性を知る		
	【予習】		
	【復習】授業内容の振り返り		30分
第6回	働くための知識 アルバイトや労働法について		
	【予習】		
	【復習】授業内容の振り返り		30分
第7回	社会に目を向ける 最新のニュースや時事問題について		
	【予習】新聞を読み時事問題のトピックスを把握する		30分
	【復習】授業内容の振り返り		30分
第8回	自己分析 キャリアモデルの考察 大学でどのようなことを学び、どのような活動をして、「なりたい自分」になるかを考える		
	【予習】「なりたい自分」について考える		60分
	【復習】大学生活の予定表作成		120分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への参加態度および各回課題への対応状況（50％）、Tuins eラーニングを含む期末課題への対応状況（50％）		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて授業内で資料を配布する。 Tuins eラーニングを使用する。	使用資料 <参考図書>	特に無し
授業外学修等	Tuins e ラーニングを利用し、学習を進める。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	会計基礎演習			科目コード	G6401P08
英文名	Trainig in Basics of Accounting I				
科目区分	教養科目 - キャリア・実務科目				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	財務諸表はビジネスにおける重要なコミュニケーション・ツールであり、その基礎となるのが簿記です。本講義では、複式簿記の基本につき学びます。本講義と「会計基礎演習II」を連続して履修することで、日商簿記検定3級の内容をほぼ網羅することが出来ます。（担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	簿記	会計			
到達目標	財務諸表の構成及び主要勘定につき理解することができる。(40%)				
	初歩的な仕訳を理解することができる。(40%)				
	決算手続きの流れについて理解することができる。(20%)				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	講義資料 オリエンテーション		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	講義資料 複式簿記と財務諸表		
	【予習】テキストの第1章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第1章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第3回	講義資料 貸借対照表と損益計算書（主要勘定）		
	【予習】テキストの第1章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第1章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第4回	講義資料 仕訳と転記（1）取引の8要素		
	【予習】テキストの第2章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第2章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第5回	講義資料 仕訳と転記(2)仕訳と転記		
	【予習】テキストの第2章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第2章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第6回	講義資料 仕訳と転記(3)仕訳帳と元帳		
	【予習】テキストの第3章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第3章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第7回	第7回資料仕訳帳と元帳		
	【予習】テキストを読んでおくこと		30分
	【復習】テキストの練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第8回	第8回資料決算(1)試算表		
	【予習】テキストの第4章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第4章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分
第9回	決算(3)決算手続きと精算表		
	【予習】テキストの第4章を読んでおくこと		30分
	【復習】テキスト第4章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと		30分

第10回	現金(1)現金過不足、小口現金	
	【予習】テキストの第5章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第5章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第11回	現金(2)当座預金と当座借越	
	【予習】テキストの第5章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第5章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第12回	商品(1)3分法、諸掛・値引・返品	
	【予習】テキストの第6章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第6章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第13回	商品(2)仕入帳と売上帳	
	【予習】テキストの第6章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第6章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第14回	商品(3)商品有高帳	
	【予習】テキストの第6章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第6章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第15回	売掛金と買掛金	
	【予習】テキストの第7章を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト第7章の練習問題及び別途配付問題で復習しておくこと	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度およびミニテスト（70％）、期末試験（30％） なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	渡部裕亘、片山覚、北村敬子編著『検定簿記講義<2021年度版> [3 級/商業簿記]	使用資料 ＜参考図書＞	大塚宗春・佐藤紘光・奥山修二著『現代簿記会計』（中央経済社）
授業外学修等	簿記の学習は積み重ねによるものなので、欠席をするとその後の授業に影響します。日商簿記3級等の資格取得を目指す場合は、授業後により多くの演習問題に取り組むことが重要です。		
授業外質問方法	疑問、質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	インターンシップ			科目コード	G6411P06
英文名	Internship				
科目区分	教養科目 - キャリア・実務科目				
職名	教授 教授		担当教員名	大谷 孝行 佐藤 綾子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日			時限		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	1単位	
授業の概要	本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき 企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材 育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。				
キーワード	インターンシップ	企業研究			
到達目標	高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。				
	学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。				
	自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習			キャリア・実務能力の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】	
	【復習】 富山県インターンシップ推進センター『インターンシップナビとやま』をよく読んでおくこと	30分
第2回	事前研修（１）自己分析とエントリーシートの作成	
	【予習】	
	【復習】 エントリーシートの作成	60分
第3回	事前研修（２）企業研究	
	【予習】 インターンシップ参加希望企業について考えておくこと	30分
	【復習】 企業研究シートの作成	120分
第4回	事前研修（３）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会等）	
	【予習】 参加企業についての予習	60分
	【復習】 説明会参加企業の企業研究シートの作成	60分
第5回	事前研修（４）マナー講座	
	【予習】	
	【復習】 富山県インターンシップ推進協議会『ビジネスマナー講座』で復習すること	
第6回	事前研修（５）マナー講座	
	【予習】	
	【復習】 富山県インターンシップ推進協議会『ビジネスマナー講座』で復習すること	
第7回	事前研修（６）インターンシップ参加の心得、ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（７）インターンシップのテーマ発表会	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	60分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスにもとづき修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第9回	事前研修（８）インターンシップ参加の事前準備	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	企業研修（１）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（２）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（３）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（４）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	企業研修（５）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第15回	事後研修（１） 報告書の作成	
	【予習】	
	【復習】	150分
第16回	事後研修（２）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修への参加態度（20％）、研修先での実習・研修に対する評価（50％）、事後レポート等課題への対応状況（30％）を総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期についてはは変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習　・b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	准教授	担当教員名	繁宮　悠介		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習　は「１年ゼミ」とも呼ばれます。１年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期についてはは変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授		担当教員名	助重 雄久	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日		時限	1限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	演習	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	湯 麗敏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習　・b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	堀川　真理子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習　は「１年ゼミ」とも呼ばれます。１年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習　・b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman Seminar I b				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	渡部　恵子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習　は「１年ゼミ」とも呼ばれます。１年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック 2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	上坂 博亨		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習Ⅰa			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	准教授	担当教員名	繁宮 悠介		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習Ⅰは「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	助重 雄久		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	湯 麗敏		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	堀川 真理子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉強面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	教養演習 ・ a			科目コード	G6501P01
英文名	Freshman Seminar I a				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	渡部 恵子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習 は「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	ゼミナール	アカデミック・スキ	アカデミック・アド	ゼミ報告・発表	ゼミ討論
到達目標	新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30％）				
	発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40％）				
	他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期教養演習（ゼミ）のガイダンス ・ゼミの運営方法についてのガイダンスなど。 ・指導教員（アカデミック・アドバイザー）による履修指導。ゼミ生個々人の「時間割表」の作成。	
	【予習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	ゼミとは何か、何を行うのかの説明等 ・ゼミで行うことの説明や大学生生活を送る上での注意事項の確認等。 ・アカデミック・スキルとは。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	合同教養演習 ・ツールブックの利用について ・健康教育（Xクラス） ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習 ・図書館の利用法 ・eラーニングの利用法（Xクラス） ・ツールブックの利用について ・健康教育（Yクラス）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ ・期末試験に向けて ・夏休みの「過ごし方」、等	
	【予習】	
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	ゼミへの参加姿勢（60％）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40％）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員に尋ねてください。		

授業科目名	現代社会概論			科目コード	G6601P01
英文名	Introduction to Contemporary Society				
科目区分	基盤科目 - 現代社会基礎科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	本授業は、日本および世界における現代社会の諸問題を、観光・環境デザイン・経営情報・国際という学問的ベースをもとに「過去・現在・未来」という時間の流れの中で捉え、これから私たちはどのような生き方をすべきかを考えることを目的とします。授業は現代社会学部の教員がオムニバス形式で行います。皆さんは現代社会の諸問題を理解しその解決の考え方を理解するように努めてください。				
キーワード	国際化	社会現象	地域課題	ICT	環境
到達目標	現代社会の諸問題を理解するとともに、それらの根底にある原因と解決の基本的方向を理解する。				
	大学の建学の精神を理解し、今後自分が大学で学び、成長していくうえで不可欠な基本的な考え方を修得する。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	現代社会学部では何を学ぶのか。(大谷孝行) ・現代とは、どの時期を指すのでしょうか。現代社会で起きている、起きている様々な問題とは、どのようなことがあるのでしょうか。また、私たちにどのような影響があるのでしょうか。本学での学び、大学の創設の経緯などについて紹介します。 学生便覧を持参してください。	
	【予習】2020年度現代社会概論	30分
	【復習】	
第2回	大学で学ぶとは(学長 高木利久) 学生便覧を持参してください。 パワーポイント資料	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	国際化と現代社会(堀川真理子)	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	外国人から見る日本の社会(M.フランク)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	日本の財政 ― 国民、住民の意思はどのように反映されているのか―(佐藤綾子)	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	環境からみる国際社会の課題(高橋ゆかり)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	旅を支える富山のものづくり(助重雄久)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文化遺産の保全と人々の暮らし(佐藤悦夫)	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	環境問題と現代社会1（繁宮悠介）	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	観光と地域創生（大谷友男）	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	環境問題と現代社会2（上坂博亨）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展（新森昭宏） 配付資料	
	【予習】「デジタルトランスフォーメーション」という言葉について、新聞やWebで調べておく。	
	【復習】「デジタルトランスフォーメーション」についての講義内容を復習し、身の回りでデジタル技術によって革新できそうなものについて考察する。 課題：デジタルトランスフォーメーション（DX）の例を1つ挙げ、その概要を3文で記述する。さらに、それに対する自分の意見や感想を2文で記述する。	
第13回	現代社会とグローバル経営－韓国を事例として（高橋哲郎）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	地域の課題。総務省行政相談委員から見る地域課題。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現代社会概論についてまとめ（大谷孝行） 授業分担	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	現代社会学部での学び（意見交換）（大谷孝行）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席状況および授業中の課題・ミニレポート（50％）、課題レポート（50％）を総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	授業の時にレジメや資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	授業の中で指示します。学生便覧
授業外学修等	新聞を毎日読むこと、テレビのニュースを毎日見ること、図書館で本を借りて読むことが大切です。授業中に出される課題については授業ごとの教員の指示に従ってください。		
授業外質問方法	講義をしたそれぞれの教員へ直接質問してください。		
オフィス・アワー	木3限		

授業科目名	地域社会論			科目コード	G6701L02
英文名	Regional Society				
科目区分	基盤科目 - 地域づくり科目				
職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	少子高齢化や都市部への人口集中が進む日本において、地域社会は、様々な課題に直面している。本授業では、地域社会の概念を明らかにした上で、地域社会を構成する多様な主体がどのように地域課題の解決やに地域の活性化に取り組んでいるのかについて、地域マネジメントの視点から学ぶ。授業においては、行政、企業、NPO、地域コミュニティなどによる具体的な事例を取り上げながら、地域社会における現状と課題における理解を深めることを目指す。				
キーワード	地域社会	地域マネジメント	ソーシャルビジネス	地域ブランド	ソーシャルキャピタ
到達目標	地域社会とは何か、概念を理解する。（30％）				
	地域社会における課題について理解する。（30％）				
	地域社会を構成する多様な主体による取り組みをイメージできる。（40％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス シラバスの記載事項を中心に、授業内容、授業計画、成績評価、学習方法を説明します。		
	【予習】シラバスに目を通してください。		15分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第2回	地域社会とは 地域社会の概念や地域社会を形成する主体について説明します。		
	【予習】地域社会とは何かを事前に考えてきてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第3回	地域社会における行政 政府の失敗について議論しながら、行政が果たす役割と課題について説明します。		
	【予習】皆さんが生活している地域社会において、行政がどのような役割を担っているのか整理しておいてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第4回	地域社会における企業 企業の失敗について議論しながら、企業が果たす役割と課題について説明します。		
	【予習】皆さんが生活している地域社会において、企業がどのような役割を担っているのか整理しておいてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第5回	地域社会におけるNPO NPOの失敗について議論しながら、どうしてNPOが必要とされるのかについて考えます。		
	【予習】NPOが必要とされるようになった背景について整理してきてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第6回	地域コミュニティとは 地域社会における地域コミュニティの役割と課題について考えます。		
	【予習】自身が所属する地域コミュニティの現状を考えてきてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第7回	課題解決に向けた取り組み		
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分
第8回	課題解決に向けた取り組み		
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。		30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。		30分

第9回	課題解決に向けた取り組み	
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第10回	課題解決に向けた取り組み	
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第11回	課題解決に向けた取り組み	
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第12回	地域社会における連携 産官学民の様々な連携およびその課題について説明します。	
	【予習】地域社会において、どのような連携事業があるか調べてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第13回	地域社会における資本 地域の資産・資本、地域の知的資産、社会関係資本（ソーシャルキャピタル）などについて説明します。	
	【予習】地域社会における資本にはどのようなものがあるか考えてきてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第14回	地域社会におけるマネジメント 地域マネジメントの視点の必要性について考えます。	
	【予習】企業のマネジメントと地域のマネジメントの違いについて考えてきてください。	30分
	【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。	30分
第15回	総括	
	【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取り組み・発表（70％）、期末レポート（30％）とし、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	樽見弘紀・服部篤子（2020）『新・公共経営論』ミネルヴァ書房
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	地域政策論			科目コード	G6701L05
英文名	Regional Policy				
科目区分	基盤科目 - 地域づくり科目				
職名	准教授 准教授		担当教員名	伊藤 葵 大谷 友男	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日			時限		
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	本科目では、地域政策をはじめとする行政職に必要な知識について学ぶことを目的とする。行政職経験者を外部講師として招聘することで、実際の政策形成や実施の過程、行政職の職務内容等について学ぶ機会とする。また、行政職に就くために学習すべき、行政系科目（政治学、行政学、社会学など）についても、学習ポイントを理解することを目指す。行政職をはじめとする公務員志望の学生には受講を強く推奨する。 授業実施日：第1～7回：10/4,11,18,22,29,11/5,15の4限、第8～15回(集中)：2/8(3コマ),9(2コマ),10(2コマ)				
キーワード	地域政策	行政職	公務員試験		
到達目標	政策形成や実施の過程を理解する。（30％）				
	行政職の職務内容を理解できること。（30％）				
	公務員試験における行政科目について理解できること。（40％）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス シラバスの記載事項を中心に、授業内容、授業計画、成績評価、学習方法を説明します。		
	【予習】シラバスに目を通してください。		15分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第2回	地域政策とは 地域とは何か、地域における課題、地域政策の定義などについて説明します。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第3回	地域の仕組み 国家の機構と中央地方関係、地方自治の仕組みと変遷、国家財政と地方財政などについて説明します。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第4回	外部講師 行政職経験者を外部講師として招聘し、実際の政策形成や実施の過程、行政職の職務内容等について説明してもらいます。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第5回	外部講師 行政職経験者を外部講師として招聘し、実際の政策形成や実施の過程、行政職の職務内容等について説明してもらいます。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第6回	外部講師 行政職経験者を外部講師として招聘し、実際の政策形成や実施の過程、行政職の職務内容等について説明してもらいます。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分
第7回	振り返り（小レポート） 前半の授業内容について振り返り、中間レポートを提出してもらいます。		
	【予習】第2回～第6回の授業内容について、整理しておいてください。		30分
	【復習】中間レポートを提出してください。		30分
第8回	行政職に就くには 公務員の種類、公務員試験の内容やスケジュールについて説明します。		
	【予習】事前に予習する内容を指示します。		30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。		30分

第9回	政治学 外部講師より政治学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第10回	政治学 外部講師より政治学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第11回	行政学 外部講師より行政学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第12回	行政学 外部講師より行政学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第13回	社会学 外部講師より社会学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第14回	社会学 外部講師より社会学の学習ポイントと対策について説明してもらいます。	
	【予習】事前に予習する内容を指示します。	30分
	【復習】授業内で提示する課題を実施してください。	30分
第15回	総括	
	【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	
第16回	期末試験 政治学、行政学、社会学について、試験を行います。	
	【予習】第9回～第14回の授業内容を復習しておいてください。	120分
	【復習】	

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取り組み（40％）、中間レポート（30％）、期末テスト（30％）とし、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリントを配布します。	使用資料 <参考図書>	授業内で適宜指示します。
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	地域づくり実習			科目コード	G6701P01
英文名	Practical Training in Regional Advancement				
科目区分	基盤科目 - 地域づくり科目				
職名	教授 非常勤講師		担当教員名	上坂 博亨 定村 誠	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	月曜日		時限	3限目 4限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	実習	
必修・選択	学部必修		単位数	2単位	
授業の概要	現代社会学部の中心的課題ともいえる「地域づくり」の導入段階として、地域連携の基礎知識と基礎技能を身に付けることを目的とする。授業はP B L（問題解決型学習）形式で実施し、地域のさまざまな組織へのヒアリングや地元の方との討論などを通して問題を発見してそれを明確化し、その問題を解決するための手段や対策をグループワークを通して実践していく。【SDGs：目標11, 目標8】				
キーワード	P B L	グループワーク	プレゼン	地域連携	ワークショップ
到達目標	社会において地域の人々と円滑にコミュニケーションができる(50%)				
	地域の問題を発見し、それを分析して課題解決の方策を作成できること(30%)				
	問題解決方法を効果的にプレゼンテーションして実践できること(20%)				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上			専門分野に共通する基礎知識の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○			○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション：授業の全体像と社会人基礎力の紹介		
	【予習】実習対象地区となる富山市上滝地区について歴史や現状を調査しておく 特に地域の特色となる事項は重要なので、例えば「水の利用」などのように表題を定めて、3つ程度のトピックスを探しておく		10分
	【復習】予習で取りあげた3つのトピックスについて、A4用紙1枚（約1000文字）のレポートにまとめよ		30分
第2回	グループ活動体験： チームビルディング体験、ブレインストーミングやKJ法の体験と習得		
	【予習】チームビルディング、ブレインストーミング、KJ法についてインターネットなどで調べておく		20分
	【復習】グループ活動体験の実習を振り返って、グループ活動において重要なことを、グループごとに話合っておく		30分
第3回	実習先の紹介		
	【予習】実習先の地図上の位置をGoogle Mapなどを使って確認しておく		10分
	【復習】実習先の概要について理解したかどうかを友人などと一緒に確認しておく		20分
第4回	実習先決定、グループ編成、情報共有、グループ紹介作成など		
	【予習】いろいろな実習先の概要について理解したかどうかを友人などと一緒に確認しておく		10分
	【復習】決定した実習先について、グループで話あって理解しておく グループ紹介用のPPTを作成する。		30分
第5回	実習先に関する調査、ヒアリングシート作成、訪問アポイント		
	【予習】決定した実習先に関する資料を集めておく		10分
	【復習】グループで話合って実習先に関する情報収集を行う。 ヒアリングシートを作成し、次回の実習に持ってこれるように準備する 実習先へ訪問するためのアポイントを取っておく		30分
第6回	実習先訪問、ヒアリング		
	【予習】実習先に向いてヒアリングするための、質問シートを準備しておく ヒアリングに出かけるための移動手段や聞き手の分担などをあらかじめ定めておく		20分
	【復習】ヒアリング内容を取りまとめておく 特に次週先における課題についてはリストアップするなどして整理し、それぞれについて		30分
第7回	プランニングの基礎知識		
	【予習】スケジュール表の作成方法について、インターネットなどを利用して調べておく		10分
	【復習】プランニングについてグループ内で話合っておく		30分
第8回	実習先で取り組むべき課題と自分たちの方向性などのまとめ、全体発表準備		
	【予習】実習先の概要シートおよび、実習先の課題について話し合った結果を取りまとめておく		10分
	【復習】実習先の課題とグループで取り組む方向性や具体的な内容について発表するためのPPT資料を作成する。		30分

第9回	全体発表準備、全体発表（全体での情報共有）	
	【予習】発表資料を確定し、これに基づいて発表の分担をあらかじめ決めておく	10分
	【復習】それぞれ班ごとの実習先について課題を整理しておく 次回の訪問日について、実習先と連絡をとって約束をもらっておく	30分
第10回	アクションプラン作成	
	【予習】グループごとの実習先が抱えている課題について班内で相互に確認しておく	10分
	【復習】グループ毎に実習先で実施するプランについて話し合い、候補を3つに絞り込む。 それぞれの方法について、実習先で説明できるように、簡単な資料に取りまとめる	30分
第11回	実習先訪問（アクションプラン提案、意見交換）	
	【予習】実習先への訪問方法、訪問時の説明や聞き取りの役割分担を決めておく	10分
	【復習】意見交換してきた内容を整理し、班ごとのプランに実習先の意見を取り入れて修正する	30分
第12回	アクションプラン作成	
	【予習】意見交換してきた内容を整理し、班ごとのプランに実習先の意見を取り入れて修正する	10分
	【復習】修正したアクションプランについて、実習先に説明するための資料を作成する 次回意見交換訪問の日程を、実習先と連絡をとって調整しておく	30分
第13回	アクションプラン作成、実習先訪問など	
	【予習】実習先への訪問方法、訪問時の説明や聞き取りの役割分担を決めておく	10分
	【復習】実習先を訪問して、修正したアクションプランについて意見交換する 訪問先の意見を取り入れた最終的なアクションプランについて発表用のPPT資料として取りまとめる	30分
第14回	アクションプラン発表会	
	【予習】発表の役割分担を決め、手際よく分かりやすく発表するためのリハーサルを行っておく	10分
	【復習】発表の結果について振り返り、改善点などを話し合う	30分
第15回	実習に向けての心構え	
	【予習】夏季休業中に実施する実践活動にむけて準備を行う	10分
	【復習】実習に向けての心構えを学び、夏季休業中の実践活動における注意点を話し合っておく	30分
第16回	実践と評価 夏季休業中に実習先にてプランを実践する。 9月上旬に地域づくり実習発表会（個人レポート提出を含む）を実施する	
	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	実習課題（20%）、課題発表等（20%）、実習の実施（30点）、最終レポート点（30%）とし、授業参加態度などを参考として評価する。 ただし、実習や課題等を完遂しない場合は評価対象としない。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：50%、社会性：50%		
使用資料 ＜テキスト＞	（特に指定しない）	使用資料 ＜参考図書＞	パワーポイント資料を配布する
授業外学修等	授業中に終了できなかったグループワークなどは授業外に行っておくこと		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける		
オフィス・アワー	月曜日 2 限目～昼休み 436室		

授業科目名	英語音声学			科目コード	G6801L04
英文名	English Phonetics and Phonology				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	This course will introduce students to English pronunciation, particularly North American English pronunciation. The course will provide theoretical and practical training for mastering the English pronunciation system, including a focus on intonation, linking, and sentence stress. Students will gain an in-depth understanding of the sounds of English.				
キーワード	Pronunciation	Speaking	Listening	Phonetics	
到達目標	Understand English vowel and consonant systems, and basic phonetics terminology				
	Understand the system of English rhythm and intonation				
	Improve both speaking and listening through an understanding of the English pronunciation system				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction.		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	Introduction to the IPA (International Phonetic Alphabet)		
	【予習】 Read and review assigned materials (IPA)		60分
	【復習】 Review the IPA		60分
第3回	Practice assigned exercises.		
	【予習】 Read and review assigned materials		60分
	【復習】 Review the IPA and complete practice exercises		60分
第4回	Introduction to suprasegmentals		
	【予習】 Read and review assigned materials (suprasegmentals)		60分
	【復習】 Review assigned materials and exercises		60分
第5回	Suprasegmentals: rising and falling pitch. Stress in content and function words		
	【予習】 Read and review assigned materials (pitch and stress)		60分
	【復習】 Review assigned materials and exercises		60分
第6回	Stress in content and function words. Practice.		
	【予習】 Read and review assigned materials		60分
	【復習】 Review assigned materials and exercises		60分
第7回	Work on vowels, consonants, and word stress		
	【予習】 Read and review assigned materials (consonants)		60分
	【復習】 Self-evaluation: identify strengths and weaknesses in individual pronunciation		60分
第8回	Vowels, consonants, and word stress continued. Practice assigned exercises.		
	【予習】 Practice assigned exercises.		60分
	【復習】 Review assigned materials and exercises		60分
第9回	Rhythm and linking		
	【予習】 Read and review assigned materials (rhythm and linking)		60分
	【復習】 Complete individual practice exercises		60分

第10回	Rhythm and linking continued	
	【予習】 Read assigned materials	60分
	【復習】 Complete individual practice exercises	60分
第11回	Review and more practice of word stress	
	【予習】 Read assigned materials (word stress)	60分
	【復習】 Complete individual practice exercises	60分
第12回	Minimal pairs	
	【予習】 Read and review assigned materials (minimal pairs)	60分
	【復習】 Complete online review and additional exercises	60分
第13回	Integrated practice	
	【予習】 Review specific pronunciation points as assigned	60分
	【復習】 Review specific pronunciation points as assigned	60分
第14回	Integrated practice	
	【予習】 Review specific pronunciation points as assigned	60分
	【復習】 Review specific pronunciation points as assigned	60分
第15回	Review of course and reflection	
	【予習】 Review course portfolio	60分
	【復習】 Review materials and practice exercises for final evaluation	60分
第16回	Final test and recorded evaluation	
	【予習】 Practice assigned exercises for final evaluation	60分
	【復習】 Reflection: how has my pronunciation improved?	60分

評価方法	Final evaluation 40% In-class assignments 30% Homework 30% 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】 専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students are encouraged to utilize teacher-recommended online sites and materials for pronunciation improvement.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with questions.		
オフィス・アワー	月曜日1限		

授業科目名	TOEIC			科目コード	G6801L06
英文名	TOEIC				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	教授	担当教員名	堀川 真理子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	TOEIC スコア100～400得点者を対象に、国際的に通用する英語の基礎を、楽しく固めます。(企業での実務経験あり)				
キーワード	Listening	Reading	Vocabulary		
到達目標	日常会話をこなせるだけの語彙を増やす。(50%)				
	和訳というフィルターを通さずに、英語を読める。(20%)				
	期末のTOEIC スコアを初回のものから、最大30%上げる。(30%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の目的と進め方を説明し、皆さんの目標を聞きます。	
	【予習】英語を勉強する目的は何ですか？ 皆さんには、自分の目指すレベル（ただし、スコアではありません）を発表してもらいます。日本語で1分以内に話せるように、まとめておいてください。	
	【復習】コースが終わるまで、以降、毎日、英語で「2行日記」をつけてもらいます。	
第2回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題。	90分
	【復習】授業内容の復習	
第3回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第4回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第5回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第6回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第7回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第8回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第9回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	

第10回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第11回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第12回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第13回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第14回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第15回	TOEIC IPテスト（オンライン）を教室で実施、自分の成長を確認してください。コースのまとめをします。	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題の提出（４５％） 授業内活動（２５％） 期末TOEICテストのスコア（３０％）で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	" Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Introductory Course "	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	・ 出欠は毎回確認します。授業開始後の入室は不可。５回以上の欠席者は単位を取得できません。 ・ 毎授業時に、覚えてきた内容を確認するゲームやクイズをします。 ・ 毎授業時に、指名された人が、２行日記の発表をします。２行日記は、全員提出します。		
授業外質問方法	基本的にこの授業後、研究室（４２２）で対応します。その他の日は、相談に応じますので、予約をしてください。学習の内容に関して、メールやラインでのやりとりはしません。		
オフィス・アワー	火曜日２限、研究室（４２２）		

授業科目名	国際ボランティア論			科目コード	G6801P01
英文名	International Volunteering				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	非常勤講師	担当教員名	才田 春夫		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	4限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	発展途上国支援に関心をもち、主体的な学習活動を通して、積極的・主体的に学び合い、国際協力に関する知の共有化を目指す授業です。また、国際ボランティアや国際協力に対する自分なりの主張をもち、それを的確に発表する能力も習得します。さらに、発表や質疑応答を通じて日本語コミュニケーション能力を高めます。				
キーワード	ODA	青年海外協力隊	発展途上国	国際協力	
到達目標	発展途上国と先進国との格差と国際協力の必要性について説明できる。				
	国際ボランティアの役割について説明できる。				
	途上国問題について他の学生とディスカッションできる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、授業の進め方の説明 / 国際協力の概要	
	【予習】シラバスを読んでくる	10分
	【復習】国際協力についてまとめる	40分
第2回	発展途上国抱える問題	
	【予習】発展途上国に関する配布資料を読んでくること	30分
	【復習】途上国の中から一か国選び、その国の問題点を整理する	40分
第3回	政府開発援助（ODA）	
	【予習】配布資料を読んでくる	30分
	【復習】ODAについてまとめる	40分
第4回	技術支援	
	【予習】資料を読んでくる	30分
	【復習】発展途上国に対してどんな技術支援が行われているかについて調べてまとめ、第一回レポートとして提出	40分
第5回	国際ボランティアの歴史的背景	
	【予習】資料を読んでくる	30分
	【復習】国際ボランティアの歴史的背景についてまとめる	40分
第6回	国際ボランティアの役割	
	【予習】青年海外協力隊について調べてくる	30分
	【復習】青年海外協力隊についてまとめる	40分
第7回	青年海外協力隊OB体験談 第1回	
	【予習】前回のまとめを読んでくる	30分
	【復習】協力隊の役割についてまとめる	40分
第8回	青年海外協力隊OB体験談 第2回	
	【予習】前回のまとめを読んでくる	30分
	【復習】協力隊の役割についてまとめる	40分
第9回	JICAの仕事	
	【予習】JICAについて調べてくる	30分
	【復習】JICAについてまとめる	40分

第10回	学生としての国際協力の可能性 その1（サモア）	
	【予習】資料を読んでくる（報告書）	30分
	【復習】自分の意見をまとめる	40分
第11回	学生としての国際協力の可能性 その1（むらぶり）	
	【予習】資料を読んでくる	30分
	【復習】学生としての国際協力についてまとめる	40分
第12回	参加型国際協力	
	【予習】参加型について調べてくる	30分
	【復習】まとめる	40分
第13回	PCM ワークショップ 1	
	【予習】資料を読んでくる	30分
	【復習】事例を踏まえてプロジェクトについて考える	40分
第14回	PCM ワークショップ 2	
	【予習】資料を読んでくる	30分
	【復習】事例を踏まえてプロジェクトについて考える	40分
第15回	PCM3 プレゼンテーション	
	【予習】発表準備	90分
	【復習】	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	発表・質問・回答が30% ・レポート70% 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：30% 社会性：50% 専門性：20%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	世界を救う7人の日本人-国際貢献の教科書- 池上彰(著) 日経BP社(2010)、国際ボラン
授業外学修等	各自授業時間外に調べ、チームとしてのレジメをつくり、発表の1週間前に提出のこと。通常、発表資料を作るのに3週間程度の準備が必要。		
授業外質問方法	saida@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語学			科目コード	G6801P03
英文名	English Linguistics				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	准教授		担当教員名	Bogdan Pavliy	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	木曜日		時限	1限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	英語学・言語学・社会言語学の基礎を学ぶ。This course is provided in English. 英語のみで実施する。				
キーワード	英語	言語学	社会言語学		
到達目標	英語学について説明できる。				
	言語学や社会言語学の基礎について話ができる。				
	英語の世界的な役割（リンガ・フランカとしての英語）を理解できる。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）		4.社会人としての能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction. コース内容、授業の進め方を説明する。		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	Language change and time. History of English language.		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	Language change. Language and community.		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	World Englishes (1). Presentations and discussion.		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	World Englishes (2). Presentations and discussion.		
	【予習】 Prepare for presentation		
	【復習】		
第6回	World Englishes (3). Can we understand each other?		
	【予習】 Prepare for presentation		
	【復習】		
第7回	World Englishes (4). Presentations and discussion.		
	【予習】 Prepare for presentation		
	【復習】		
第8回	English in Japan (1). What is Japanglish?		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	English in Japan (2). Presentations and discussion.		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	Bilingualism (1)	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	Bilingualism (2)	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	Language and gender	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Research activities and presentations	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Research activities and presentations	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Research activities and presentations	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	まとめ	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(30%) 到達目標 2 については、(30%)Assignments (30%)、期末Presentation(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末Presentationで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%		
使用資料 <テキスト>	適宜配布します	使用資料 <参考図書>	授業の中で紹介します
授業外学修等			
授業外質問方法	適宜研究室に来てください。Please come to my office!		
オフィス・アワー	月曜日1時限		

授業科目名	TOEIC			科目コード	G6801P05
英文名	TOEIC				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	教授		担当教員名	堀川 真理子	
学部	現代社会学部		学科	現代社会学科	
曜日	金曜日		時限	1限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	TOEIC スコア100～400得点者を対象に、日常生活で通用する英語の基礎を、楽しく固めます。				
キーワード	Listening	Reading	Vocabulary		
到達目標	日常的に使える、「聞けて、話せる」英語の土台を作ります。				
	TOEIC 得点増（初回スコアから最大で30％増）をめざします。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上			専門分野に共通する基礎知識の向上	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の目的と進め方を説明し、皆さんの目標を聞きます。2回目を行うTOEICテストの説明をします。	
	【予習】英語を勉強する目的は何ですか？ 皆さんには、自分の目指すレベル（ただし、スコアではありません）を発表してもらいます。日本語で1分以内に話せるように、まとめておいてください。	
	【復習】コースが終わるまで、以降、毎日、英語で「2行日記」をつけてもらいます。	
第2回	TOEIC IPテスト（オンライン）を教室で受け、その場で自分の力を確認します。前回立てた目標とすり合わせた上で、自分の学習計画を立てます。指定したLongmanのテキストを持参してください。	
	【予習】授業内で出した課題。	90分
	【復習】	
第3回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第4回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第5回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第6回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第7回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第8回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第9回	Longman テキスト 指定箇所、" English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	

第10回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第11回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第12回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第13回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第14回	Longman テキスト 指定箇所、 " English is..."テキスト指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第15回	TOEIC IPテスト（オンライン）を教室で実施、自分の成長を確認してください。コースのまとめをします。	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席(授業開始後の入室は不可)と課題提出は必須です。 出席と課題(45%) 授業内活動(25%) 期末TOEICテストのスコア(30%)		
使用資料 <テキスト>	" Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Introductory Course "	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	基本的にこの授業後、研究室(422)で対応します。その他の日は、相談に応じますので、予約をしてください。		
オフィス・アワー			

授業科目名	異文化研修			科目コード	G6806F12
英文名	Intercultural Communication Training Program				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中	時限	集中		
開講時期	1年・2年前期・後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	韓国での研修を通して、異文化理解を深めることを目的とする。今年度の研修は、協定校である大邱大学学生との合同プログラムを実施する。両大学の専攻分野が近い学生が学びを深めるため、「地方創生ビジネスプラン」、「高齢者・障害者支援システム」、「農村観光」という共通の課題に取り組む予定である。 また、韓国の学生、一般の方に富山県および日本の紹介するプログラムを実施する。プレゼンテーション用資料は事前授業で準備作成する。大邱大学の学生との交流会も計画している。 帰国後、研修レポートを作成し報告してもらう。				
キーワード	学生交流	学術交流	プレゼン		
到達目標	韓国の学生との交流を通してコミュニケーション力の向上を図る。(50%)				
	韓国の学生との専攻分野でのディスカッションを通して、専門知識の充実・深化を図る。(50%)				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	今年度、韓国異文化研修の概要説明		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、グループ分け、国際交流準備講座		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、担当課題の決定、国際交流準備講座		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、国際交流準備講座		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、担当課題の決定、グループ分け、国際交流準備講座		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	現地実習（約2週間）： 大邱大学学生と本学学生の混成チームを結成（1チーム5名程度、4チーム）、交流会等		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	現地実習（約2週間）： 大邱大学及び本学教員による韓国・日本の地域問題に関する講義受講		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	現地実習（約2週間）： 現地調査		
	【予習】		
	【復習】		

第9回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地実習（約2週間）： 現地調査結果を踏まえて各チームで地域課題解決案作成	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地実習（約2週間）： 現地調査結果を踏まえて各チームで地域課題解決案作成	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地実習（約2週間）： 地域課題解決案のプレゼンテーション実施	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	事後研修： 報告書作成	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前研修への取り組み姿勢(25%)及び韓国での現地研修(60%)、研修報告レポート(15%)により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：30%、社会性40%、専門性：30%		
使用資料 ＜テキスト＞	テキストなし。これまでの研修内容をまとめた資料・プレゼンテーション等配布。	使用資料 ＜参考図書＞	随時紹介
授業外学修等	韓国での研修は夏休み中に実施（9月上旬～中旬、もしくは3月上旬～中旬、もしくは両方の約2週間を予定）。韓国語の初歩（ハングルが読める程度）を学習しておくことが望ましいが、事前授業でも簡単に教える予定である。自宅でもプレゼン資料作成が必要となる。		
授業外質問方法	授業後とオフィス・アワーにて対応する。メーリングリスト作成予定。		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	国際交流実習			科目コード	G6806L02
英文名	Practical Training in International Exchange				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中	時限	集中		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	実習		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	マレーシア・ボルネオ島は自然環境に恵まれ、広範囲に渡って国立公園又はそれに準じた自然保護区となっている。ドスン村の収入アップを図るための活動として、コーヒー農園のエコツーリズムを村人と一緒に開発・発展させていきます。【SDGs：目標8、1、15、】（担当教員：実務経験あり）				
キーワード	ドスン民族	国際協力	コミュニティ開発	エコツーリズム	自然保護と生活
到達目標	：エコツーリズムについて理解し、説明できる。				
	：ボランティアとしての国際協力を実践できる。				
	：現地の人々とコミュニケーションができる。				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）		2.国際人としての能力（専門性の向上）		
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション。ボルネオ島は自然環境に恵まれ、広範囲に渡って国立公園又はそれに準じた自然保護区となっている。ドスン民族がクラス山間の村は自然保護区にあるため農地開発が制限されているため、経済活動も制約されている。そうしたドスン村の収入アップを図るための活動として、コーヒー農園のエコツーリズムを村人と一緒に開発・発展させていきます。	
	【予習】シラバスに目を通す	10分
	【復習】実習内容の理解	30分
第2回	実習内容は以下の通り。事前準備（大学で10回行う） ○事前準備としてマレーシア・ボルネオ島の自然と文化、人々の営みと環境とのかかわりについて学ぶ	
	【予習】ボルネオ島の自然について調べる	30分
	【復習】自然のまとめ	60分
第3回	マレーシア・ボルネオ島の自然と文化、人々の営みと環境とのかかわりについて学ぶ	
	【予習】ボルネオ島に住む民族について調べる	30分
	【復習】人々の暮らしと環境の関係についてのまとめ	60分
第4回	現地で実習の準備（エコツーリズムについての学び）	
	【予習】エコツーリズムの事例を調べる。	30分
	【復習】エコツーリズムのまとめ。	60分
第5回	現地で実習の準備（ドスン村コーヒー農園のエコツーリズム化計画） 現状を知る。	
	【予習】エコツールズ成功の条件について調べる（例、品質管理、試飲、販売方法、宣伝方法、体験内容と方法など）	30分
	【復習】エコツールズ化計画案の整理とまとめ	60分
第6回	現地で実習の準備（コーヒー農園のエコツーリズム化計画） 新たなエコツールズサイト開発計画を立てる。	
	【予習】ドスン村コーヒー農園の現状	30分
	【復習】ドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の考える	60分
第7回	現地で実習の準備（コーヒー農園のエコツーリズム化計画） サイト開発計画の具体化。	
	【予習】コーヒーについて調べる	30分
	【復習】ドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の考える	60分
第8回	現地で実習の準備（コーヒー農園のエコツーリズム化計画） 計画の模擬実施	
	【予習】現地でやれることを考える	30分
	【復習】渡航前準備（エコツールズ化計画・現地でやることの準備）	60分
第9回	現地で実習の準備（コーヒー農園のエコツーリズム化計画） 計画の模擬実施 - 2	
	【予習】現地でやれることを考える	30分
	【復習】渡航前準備（エコツールズ化計画・現地でやることの準備）	60分

第10回	渡航準備（危機管理、現地生活や交流計画）	
	【予習】ドスン村の生活資料を読む	30分
	【復習】渡航に必要なものを整理	60分
第11回	現地でドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の実施	
	【予習】実施準備	30分
	【復習】その日の反省と翌日の準備	60分
第12回	現地でドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の実施	
	【予習】実施準備	30分
	【復習】その日の反省と翌日の準備	60分
第13回	現地でドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の実施	
	【予習】実施準備	30分
	【復習】その日の反省と翌日の準備	60分
第14回	現地でドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の実施	
	【予習】実施準備	30分
	【復習】その日の反省と翌日の準備	60分
第15回	現地でドスン村コーヒー農園エコツーリズム化計画の実施	
	【予習】実施準備	30分
	【復習】その日の反省と翌日の準備	60分
第16回	帰国後報告書のまとめ	
	【予習】報告書作成	90分
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢50%、レポート50% 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：50%、 専門性50%		
使用資料 <テキスト>	適宜配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	異文化体験をしたい人、この実習は青年海外協力隊のコミュニティ開発を模した内容になっているので、協力隊に興味がある人には特に参加を勧めます。ボルネオ島では英語でのコミュニケーションになります。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワーおよびEメール(y-takahasi@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	水曜日1時限、440研究室		

授業科目名	インターナショナルフﾟロクﾟラムスﾟ（長期）			科目コード	G6807F13
英文名	International Programs (long-term)				
科目区分	基盤科目・国際交流科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年前期・後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	0単位		
授業の概要	本プログラムは、原則として3カ月以上、1年以下の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。				
キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解			
到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。				
	ホームスティや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	インターナショナルプログラム（短期）			科目コード	G6807F14
英文名	International Programs (short-term)				
科目区分	基盤科目 - 国際交流科目				
職名	教授	担当教員名	大谷 孝行		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年・3年前期・後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	0単位		
授業の概要	本プログラムは、2週間～5週間の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。				
キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解			
到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。				
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。				
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、2 ～ 4 単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	データサイエンス基礎			科目コード	G6901L01
英文名	Fundamentals of Data Science I				
科目区分	基盤科目 - 情報科目				
職名	准教授	担当教員名	河野 信		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	「データサイエンス基礎I」では、データサイエンスを実践する上でどのような知識や技術が必要なのかを実際の事例を見ながら学ぶ。Excelやクラウドサービスを利用しながら、データの分析方法、分析結果の解釈や問題の解決方法について学ぶ。本講義はUdemyより提供されている動画を講義前に事前に視聴した上で、講義時間内では動画の内容について質疑や議論を行い、実際のデータを使いながら実習を行う。（担当教員：企業での実務経験あり）				
キーワード	データ分析	機械学習	数理統計	線形代数	微分
到達目標	データサイエンスの重要性や事例について説明できる（40％）				
	Excelを使ってデータ解析ができる（30％）				
	簡単な機械学習を実行できる（30％）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上		キャリア・実務能力の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス・授業の進め方・評価方法について データサイエンスと社会への応用、実社会のデータサイエンスの事例	
	【予習】シラバスを読んでおく	15分
	【復習】ガイダンス資料を確認し、受講する場合には受講登録をすること Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「01. マインドセット」、「01. データサイエンスと社会への応用」と「02. 実社会のデータサイエンスの事例」の動画を見て復習しておくこと	70分
第2回	データサイエンス入門	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「01. マインドセット」、「03. データサイエンス入門1」と「04. データサイエンス入門2」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	70分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	70分
第3回	機械学習の実装1	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「01. マインドセット」、「05. 機械学習の実装1」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	45分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	45分
第4回	機械学習の実装2	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「01. マインドセット」、「06. 機械学習の実装2」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	45分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	45分
第5回	微分1	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「07. 微分」の「01. 微分の役割と一次関数」、「02. 極限と導関数」、「03. 微分の公式」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	35分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	35分
第6回	微分2	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「07. 微分」の「04. 線形性」、「05. 合成関数の微分」、「06. 偏微分」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	30分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	30分
第7回	線形代数1	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「08. 線形代数」の「01. 線形代数の役割、スカラーとベクトル」、「02. 行列とテンソル」、「03. ベクトル・行列の演算」、「04. 練習問題」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	40分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	40分
第8回	線形代数2	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「08. 線形代数」の「05. 行列積によるベクトル・行列のサイズ変化」、「06. 主要な行列や演算」、「07. 線形結合と二次形式」、「08. ベクトルで微分」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	30分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	30分
第9回	数理統計1 - 1	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「09. 数理統計1」の「01. 数理統計の役割と基本統計量」、「02. 母集団と標本集団」、「03. データの標準化」、「04. 確率分布の特性」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	30分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	30分

第10回	数理統計2 - 2	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「09. 数理統計1」の「05. 代表的な確率分布1」、「06. 代表的な確率分布2」、「07. 無作為標本と確率変数の独立性」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	25分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	25分
第11回	数理統計2 - 1	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「10. 数理統計2」の「01. 期待値」、「02. 不偏推定量1」、「03. 不偏推定量2」、「04. 中心極限定理」、「05. 点推定と区間推定」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	35分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	35分
第12回	数理統計2 - 2	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「10. 数理統計2」の「06. 統計的仮説検定1」、「07. 統計的仮説検定2」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	30分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	30分
第13回	ベイズ統計	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「11. ベイズ統計」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	45分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	45分
第14回	単回帰分析	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「12. 単回帰分析」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	50分
	【復習】再度動画を視聴し、わからない部分について調べること	50分
第15回	重回帰分析	
	【予習】Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ～基礎・応用レベル～」の「02. 数理統計」、「13. 重回帰分析」の動画を見て、疑問点などを整理しておくこと	40分
	【復習】わからない部分については再度動画を視聴しつつ調べ、最終課題を完成させ提出すること	180分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	動画の視聴状況（30％）、講義への参加（質問や発言など）（20％）、期末レポート（30％）、各回の課題（20％)にて評価する なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	都度配布する	使用資料 ＜参考図書＞	Udemy「AI・データサイエンスコンテンツ ～基礎・応用レベル～」
授業外学修等			
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		

授業科目名	観光概論			科目コード	G7001L01
英文名	Introduction to Tourism				
科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎				
職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	本科目は、現代社会における観光の意義と仕組みを理解し、観光の近未来を展望することを目的とします。日本や世界における観光がたどった歴史を基礎にして、現代観光と社会や環境、産業との関わりを学んでいきます。また、この観光概論で取りあげたテーマは、２年次以降の観光の専攻科目に繋がります。				
キーワード	観光の歴史	観光の仕組み	観光ビジネス	世界の観光	観光の新しい組織
到達目標	観光の基礎的な知識を理解できるようになる（70％）（課題レポートで評価）				
	観光に関して自分の考えを主張できるようになる（30％）（課題レポートで評価）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	観光入門1：ガイドンス、今なぜ観光が注目されているのか（佐藤悦） 全体のガイドンスならびに観光がなぜ今注目されているのかについて説明する。		
	【予習】		
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。		30分
第2回	観光入門2：世界の観光の歴史（佐藤悦） 世界の観光の歴史、特に1860年以降50年単位で起こった観光革命について説明する。		
	【予習】		
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。		30分
第3回	観光入門3：日本の観光の歴史（佐藤悦） 江戸時代の観光インフラの整備・観光の実態を説明した後、明治時代以降のわが国の観光が、江戸時代のインフラを活用しながら発展してきたことを具体的に説明する。		
	【予習】		
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。		30分
第4回	観光の仕組み1：観光地のタイプと観光対象（助重） 観光地は立地特性や観光シーズン等によってさまざまなタイプ(形態)に分類できること、観光地のタイプによって観光対象が異なることを、事例を示しながら説明する。		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	観光の仕組み3：観光情報をめぐる新しい動き（助重） 観光情報のデジタル化と、そのメリット・デメリットについて、先輩の卒論研究の成果等も交えながら説明する。		
	【予習】		
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。		30分
第6回	観光の仕組み4：観光地・観光資源の維持および住民生活との両立（助重） 観光地・観光資源を持続的に維持し、住民生活や他産業との両立を図っていくためには、どんな注意を払うべきなのかを説明する。		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	観光ビジネス1：旅行業の新しい動き（一井） 少子高齢化が急速に進む中、それらの社会課題に対し、ユニバーサルツーリズムの視点から旅行業の果たす役割と新たな可能性について考える。		
	【予習】		
	【復習】		30分
第8回	観光ビジネス2：宿泊業の新しい動き（一井） 訪日外国人数の急増をはじめとする社会環境の変化により、日本の宿泊業界も大きく変わりつつある。宿泊業に関する概説の後、現在の宿泊業界が直面する現状や課題、最新の動向にも触れ、理解を深めてもらう。ユニバーサルサービスについても触れる。		
	【予習】		
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。		

第9回	観光ビジネス3：交通がもたらす観光への影響(大谷) 観光は人が移動することで成り立つものである以上、交通ビジネスと非常に強い関わりを有しています。交通ビジネスを行う事業者がどのように観光と関わっているか、さまざまな事例を通じて概観します。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第10回	観光ビジネス4：観光企画の新しい動き（大谷） 最近では価値観の多様化やインターネット・SNSの普及などにより、名所・旧跡を巡ったり温泉に泊まるだけではない観光のスタイルが広がっており、観光客を呼び込むための新たな工夫（企画）が展開されています。全国の事例から観光の新たな動きを学びます。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第11回	世界の観光1：アジアの観光事情（湯） アジアの観光資源と観光環境の特徴、現状を説明しながら、中国の観光潜在力及び今後の課題について考える。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第12回	世界の観光2：ラテンアメリカの観光事情（佐藤悦） ラテンアメリカの観光資源としてなぜ遺跡が多いのか？メキシコの歴史を紐解きながら説明する。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第13回	世界の観光3：ヨーロッパの観光事情（一井） ヨーロッパの観光資源は、宗教や歴史、地理的な条件とも深くかかわっている。観光資源を多角的な視点からとらえることで、観光資源そのものの見方や魅力について再考するきっかけにしよう。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第14回	観光地経営をめぐる新しい動き（大谷） 近年、観光ビジネスを通じた地域経済の活性化を図る主体として「DMO」が注目され、国もその支援を行っています。おそらく皆さんが初めて耳にする「DMO」について、何者なのか、どんな活動をして、地域経済にどう貢献しているのか説明します。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第15回	まとめ（佐藤悦） 授業全体の振り返りを行う。	
	【予習】	
	【復習】興味のあるキーワードを調べる。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回の課題レポート（100％）で総合的に評価します。 また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：15％、社会性：15％、専門性：70％で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	なし	使用資料 ＜参考図書＞	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	毎回課されるレポートを確実に提出してください。また、豊富にある観光関連の書籍を読んだり、各種のメディアを通して日頃から観光関連のニュースに接するように心がけることで幅広い知識が身につきます		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日 1 時限（9：30～）		

授業科目名	環境デザイン概論			科目コード	G7501L01
英文名	Introduction to Environmental Design				
科目区分	環境デザイン専攻科目 - 環境基礎				
職名	教授	担当教員名	川本 聖一		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	地球温暖化問題をはじめとして、さまざまな環境問題が私たちの暮らしに影響を及ぼすようになっている。この講義では、現代社会に必要な環境に関する一般的な知識を理解し、環境問題への理解を深めるための入門編として講義する。（オムニバス形式の為、各教員の指示をしっかりと理解する。また、教員の担当は変更になることがあり得る。）（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：すべての目標7）				
キーワード	地球環境	国際ルール	環境基本法	企業と環境	くらしと環境
到達目標	環境問題と人々の暮らしについて理解し、人との関わりについて自分なりに説明できる（30％）				
	持続可能な社会を構築するための要素について、環境・経済・社会の仕組みにふれて説明ができる（40％）				
	環境との共生について、地球環境・生態系・資源利用などの観点から説明ができる（30％）				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション（川本） 第1章：持続可能な社会に向けて		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第2回	第2章： 地球の基礎知識（上坂）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第3回	第2章： いま地球で起きていること（上坂）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第4回	第3章： 地球温暖化（上坂）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第5回	第3章： エネルギー（上坂）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第6回	第3章： 生物多様性・自然共生社会（繁宮）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第7回	第3章： 地球環境問題 循環型社会（高橋）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第8回	第3章： 地域環境問題（高橋）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分
第9回	第3章： 化学物質 震災関連・放射性物質（高橋）		
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく		20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）		20分

第10回	第4章：持続可能な社会に向けたアプローチ（繁宮）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第11回	第5章： 各種団体の役割・活動 パブリックセクター（繁宮）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第12回	第5章： 企業の環境への取組み 個人の行動（川本）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第13回	第5章： NGO・NPO、主体を越えた連携（川本）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第14回	第6章：まとめ（エコビープルへのメッセージ）（大谷）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第15回	全体のまとめ（大谷）	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく	20分
	【復習】問題集の該当部分について模擬問題を解いておく（教科書を見ながらでもよい）	20分
第16回	期末試験（川本、その他）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中に課す課題(50%)と、期末試験(50%)にて評価する		
使用資料 <テキスト>	東京商工会議所 ECO検定公式テキスト 改訂 7 版	使用資料 <参考図書>	適宜各教員が指示する。
授業外学修等	授業終了時に課題を出題するので予習・復習をしておくこと。		
授業外質問方法	主にメールで質問を受け付ける。オフィスアワーでの研究室来訪でもよい。		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて		

授業科目名	経営情報概論			科目コード	G8001L01
英文名	Introduction to Business Management & Information Science				
科目区分	経営情報専攻科目 - 経営情報基礎				
職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	経営情報専攻に所属する全教員が分担して講義します。 担当する経営情報専攻科目の内容を初学者にもわかりやすく講義します。 また、各教員の研究分野・内容について紹介し、学問することの楽しさ、奥深さをお話しします。				
キーワード	経営情報専攻	経営学	会計学	情報科学	データサイエンス
到達目標	経営情報専攻科目の全体の概要を知る。(評価比率50%)				
	経営情報専攻教員の専門分野と学問動向を知る。(評価比率50%)				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	はじめに：「経営情報専攻で学ぶこと」（新森） 履修上の注意、評価方法について テキスト入手方法説明 <注意> スマートフォン、またはタブレット端末、またはPCを利用して、小テストや課題を行いますので、いずれかを持参してください。 ZOOM視聴用のURL	
	【予習】テキスト「2021年度_第1回経営情報専攻で学ぶこと（新森）」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習、および講義資料復習	30分
第2回	経営学の広がり：「経営組織とは～その1」（伊藤）	
	【予習】テキスト「2021年度_第2回、3回経営組織とは（伊藤）」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第3回	経営学の広がり：「経営組織とは～その2」（伊藤）	
	【予習】テキスト（第2回の予習欄にあるもの）を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第4回	経営学の広がり：「経営戦略と会計情報（1）」（佐藤）	
	【予習】テキスト「2021年度_第4,5回会計（佐藤）」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第5回	経営学の広がり：「経営戦略と会計情報（2）」（佐藤）	
	【予習】テキスト（第4回の予習欄にあるもの）を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第6回	外部講師による特別講義（1）富山商工会議所会頭 高木 繁雄先生「グローバル経済の中の日本経済展望」	
	【予習】テキスト講義担当回復習	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第7回	経営学の広がり：「経営環境と企業1」（高橋）	
	【予習】テキスト「2021年度_第7回(高橋)」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第8回	経営学の広がり：「経営環境と企業2」（高橋）	
	【予習】テキスト「2021年度_第8回(高橋)」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分

第9回	外部講師による特別講義（２）日本銀行富山事務所長 小川 万里絵先生	
	【予習】テキスト講義担当回予習	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第10回	経営学の広がり：「マーケティング」（梁）	
	【予習】テキスト講義担当回予習	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第11回	情報と企業経営：「情報システムのツウになろう１」（高尾）	
	【予習】テキスト「2020年度_第11、12回_情報システムのツウになろう_高尾」を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第12回	情報と企業経営：「情報システムのツウになろう２」（高尾）	
	【予習】テキスト（第11回の予習欄にあるもの）を読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第13回	情報と企業経営：「データサイエンス」（河野）	
	【予習】テキスト講義担当回予習	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第14回	情報と企業経営：「ネットワーク分析」（河野）	
	【予習】テキスト講義担当回予習	30分
	【復習】テキスト講義担当回復習	30分
第15回	経営情報専攻をつかむ：「経営情報専攻—学びの広がり」（新森） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行います)	
	【予習】テキスト「2021年度_第15回経営情報専攻-学びの広がり（新森）」を読んでおくこと	30分
	【復習】これまでの授業内容を復習しておくこと	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回実施する課題（100％）。 ただし、欠席が多かったり受講態度に真剣さが見られない場合は減点する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20％ 社会性：20％ 専門性：60％		
使用資料 ＜テキスト＞	経営情報専攻教員が作成したテキストを使用。	使用資料 ＜参考図書＞	講義中に適宜指示
授業外学修等	テキストで予習復習を必ず行うこと。		
授業外質問方法	授業後とオフィス・アワーにて対応する。メールでの質問は授業中に指示する。		
オフィス・アワー	本学ホームページの現代社会学部教員紹介のところに各教員のオフィスアワーが掲載されているので、それを参照すること。		

授業科目名	国際キャリア概論			科目コード	G8701L01
英文名	Theory of International Career				
科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際・英語基礎				
職名	教授 教授 准教授 准教授	担当教員名	渡部 恵子 堀川 真理子 Bogdan Pavliy Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	金曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course intends for students to be highly educated to be successful internationally, while improving thier English ability.				
キーワード	English	globalization	career		
到達目標	Envision future goal on career path through studying a range of topics below. (100%)				
ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上		専門分野に共通する基礎知識の向上		
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction. Course outline. What does it mean for you to make the world your stage?	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第2回	Towards an understanding of the international community	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第3回	How to read English news	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第4回	English as a tool for cultural investigation	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第5回	English as a tool for cultural investigation	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第6回	English as a tool for cultural investigation	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第7回	Introduction to International Business Etiquette	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第8回	Introduction to Business English	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第9回	Introduction to International Negotiations	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分

第10回	Guest speaker's lecture	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第11回	Value of studying linguistics	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第12回	Value of studying linguistics	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第13回	Value of studying linguistics	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第14回	Working in developing countries	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第15回	Conclusion	
	【予習】 Read a newspaper's world and economy page.	60分
	【復習】 Review notes.	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	積極的な参加態度 (50%), 期末テスト (50%)。なお、評価は、「富山国際大学評価基準」に従って行います。DP配分比率は、人間性：60%、専門性：40%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Visit Watanabe's office or contact by e-mail (watanabe@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	10:40 ~ 12:10 on Tuesday and Thursday.		

授業科目名	Creative Writing			科目コード	G8801L01
英文名	Creative Writing				
科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語基礎				
職名	准教授	担当教員名	Mark Frank		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	This course will introduce students to creative writing in English. Through writing in various genres, students will improve their command of English vocabulary and expression. Students will also examine the connection between visual image and creative writing, as in manga. As a final project, students will produce a small class magazine of their creative writing. Throughout the course, students will be invited to think of their English writing as work (作品) rather than homework (課題). The course encourages students to take ownership of their English and use it as a means of understanding and changing the world, both locally and globally.				
キーワード	Creative writing	Critical thinking	Writing	Reading	Workshop
到達目標	1 Improve English skills (particularly reading and writing) through creative writing				
	2 Have experience to write in various genres of English				
	3 Increase vocabulary and range of expressions in written English				
	4 Gain critical thinking skills through the practice of creative writing in English				
	5 Produce a lasting document of the class in the form of a class magazine 6 Learn to revise and improve writing through drafting and peer workshops				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction: Why creative writing? Strategies for creative writing. Free write: self-introduction	
	【予習】	
	【復習】 Rewrite self-introduction based on class feedback	60分
第2回	Writing from experience: personal writing	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Revise personal writing as instructed	60分
第3回	Essential tools of creative writing: metaphor and analogy	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第4回	Writing from life: descriptive writing	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第5回	Descriptive writing workshop	
	【予習】 Prepare as instructed by the teacher	60分
	【復習】 Revise writing based on workshop feedback	60分
第6回	Writing from the imagination: fiction writing	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第7回	Fiction writing workshop	
	【予習】 Prepare as instructed by the teacher	60分
	【復習】 Revise writing based on workshop feedback	60分
第8回	Mid-term portfolio evaluation and test	
	【予習】 Prepare portfolio materials using teacher ' s guidelines	60分
	【復習】 Self-evaluation: what have I learned so far?	60分
第9回	Text and image in creative writing: manga	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分

第10回	Writing about characters: Dramatic dialogue	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第11回	Creative writing and critical thought: Changing the world with writing	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第12回	The music of language: poetry and song lyrics	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Review vocabulary and other content and bring questions to the next class	60分
第13回	Class magazine project introduction	
	【予習】 Read and complete materials from the teacher	60分
	【復習】 Revise writing based on workshop feedback	60分
第14回	Class magazine: Individual and group project work	
	【予習】 Prepare as instructed by the teacher	60分
	【復習】 Revise writing based on workshop feedback	60分
第15回	Class magazine: Individual and group project work (2)	
	【予習】 Work on class magazine, alone and in groups	60分
	【復習】 Evaluate magazine work: how could it be improved?	60分
第16回	Final presentation and creative writing exam	
	【予習】 Prepare portfolio materials using teacher ' s guidelines. Final portfolio presentation test.	60分
	【復習】 Self-evaluation: what have I learned?	60分

評価方法	Writing portfolio evaluation, 50% In-class work, 30% Final fiction collection project, 20%		
使用資料 < テキスト >	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 < 参考図書 >	
授業外学修等	Students will be required to collaborate with classmates for the final magazine project.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日 1限目 Wednesday first period		